

令和8年度
町民アンケート報告書

令和8年7月
みなかみ町

目 次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	2
2.	調査の方法	2
3.	回収状況	2
4.	調査項目	2
5.	報告書の見方	3
6.	標本誤差	3
II	調査回答者の属性	4
1.	性別	5
2.	年齢	5
3.	居住地区	5
4.	職業	5
5.	就学・勤務先	5
6.	居住年数（通算）	6
7.	結婚の有無	6
8.	同居の家族構成	6
9.	同居者の属性	6
III	調査結果	7
10.	あなたは日頃、地域で支え合う福祉活動を行っていますか。	8
11.	あなたは日頃、運動やスポーツなど、身体を動かすことに取り組んでいますか。	9
12.	あなたは日頃、意識的に健康づくりに取り組んでいますか。	10
13.	あなたは日頃、町内の公共交通(バス・新幹線・在来線・タクシーなど)を利用していますか。	11
14.	あなたは日頃、災害に対する備えをしていますか。	12
15.	あなたは日頃、省エネ・地球温暖化対策に取り組んでいますか。	13
16.	あなたは日頃、意識的にごみの減量に取り組んでいますか。	14
17.	あなたは日頃、どこで食料品を購入していますか。	15
18.	あなたは日頃、農林産物を購入する際に地産地消に取り組んでいますか。	20
19.	あなたは過去1年間に、町内の観光スポットを訪れましたか。	21
20.	あなたは過去1年間に、地域づくり活動を行ったことがありますか。	22
21.	あなたは日頃、美しい景観の保全・形成へ向けた取り組みを行っていますか。	23
22.	あなたは心の豊かさや自他の向上のために、講座（自治体や団体、民間会社が主催する教養講座）などを受講したり、自分で学習したりしていますか。	24
23.	あなたは、地域の歴史や伝統芸能に触れたり、関わったりしていますか。	25

24. ①過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。 ……………	26
②過去1年間に、差別や虐待、名誉毀損などの人権侵害を受けたことがありますか。 ……………	27
25. あなたは今住んでいる場所に、これからも住み続けたいと思いますか。 ……………	28
26. ①日常生活で生きがいを感じていますか。 ……………	29
②身近で犯罪にあう不安を感じていますか。 ……………	30
③町内の道路に不便を感じていますか。 ……………	31
④自分の住む地域が美しい景観であると感じていますか。 ……………	32
⑤自分のこどもが心身ともに健やかに育っていると感じますか。 ……………	33
27. あなたはSDGs（持続可能な開発目標）という名前や内容を知っていますか。 ……	34
28. あなたは町が「ユネスコエコパーク」へ登録されたことを知っていますか。 また、「ユネスコエコパーク」の趣旨についても知っていますか。 ……………	35
29. あなたは日頃、町内において自然と共生する取り組み（まもる・いかす・ひろめる） を行っていますか。 ① 里山などの森林整備や野生動物・植物の保全活動をしている。 ……………	36
② 自然を活用したりふれあいを楽しんだりしている。 ……………	37
30. あなたは日頃、「みなかみ町気象情報ライブカメラ」をどのような目的で活用していま すか。 ……………	38
31. ①納めた税金が、行政サービスとして十分に提供されていますか。 ……………	39
③ 町役場職員の応対や接遇に好感が持てますか。 ……………	40
32. 今後のまちづくりに対する提案(アイデア)や意見をお持ちでしたら、 どんなことでも結構ですので記入してください。 ……………	41
IV 調査票 ……………	48

I 調査概要

1. 調査の目的

町では、みなかみ町総合計画で定める将来像をめざして、まちづくりに取り組んでいます。町民アンケートは、町民のみなさんの生活習慣や日頃感じていることなどをお伺いすることで、総合計画で定めた施策の目的や目標の達成状況を把握するとともに、今後のまちづくりをより効果的に展開するために実施するものです。これまでも、平成 22 年 5 月、平成 24 年以降は毎年 4 月に行っています。

2. 調査の方法

- (1) 調査の地域 みなかみ町全域
- (2) 調査の対象者 みなかみ町在住の満 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 住民基本台帳より 1,600 人を無作為抽出（令和 8 年 3 月抽出）
- (4) 調査方法 郵送配布、郵送回収もしくはオンライン回収（返信用封筒同封）
- (5) 調査期間 令和 8 年 4 月 1 日（水）～4 月 13 日（月）

3. 回収状況

- (1) 配布数 1,600 件（うち有効配布数 1,600 件…A）
- (2) 回収数 817 件…B
- (3) 回収率 51.1%…B/A

■性別・年代別の回収状況

年代 性別	18～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70 歳 以上	不明	計	配布数	回収率 (%)
男性	28	29	26	42	78	94	1	298	710	42.0
女性	26	48	56	49	101	224	5	509	890	57.2
答えたくない	1	2	1	0	0	0	0	4	—	—
不明	0	0	0	0	0	1	5	6	—	—
計	55	79	83	91	179	319	11	817	1,600	51.1
配布数	181	204	197	217	317	483	—	1,599	—	—
回収率 (%)	30.4	38.7	42.1	41.9	56.5	66.0	—	51.1	—	—

4. 調査項目

調査テーマ	問番号
(1) 回答者の属性について	問 1 ～ 9
(2) 生活習慣について	問 10 ～ 23
(3) 身の回りの環境について	問 24 ～ 26
(4) 町政運営について	問 27 ～ 31

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数 (n) は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (5) 回答数が 30 未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

6. 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (p) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

N=母集団数 (町の 18 歳以上人口)、n=比率算出の基礎 (回答者数)、p=回答の比率 (%)

■今回の調査結果の標本誤差

回答比率(p) 基数(n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
817	±2.97%	±3.96%	±4.54%	±4.85%	±4.95%
600	±3.47%	±4.62%	±5.30%	±5.66%	±5.78%
400	±4.25%	±5.66%	±6.49%	±6.93%	±7.08%
200	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%
100	±8.49%	±11.32%	±12.97%	±13.86%	±14.15%
50	±12.00%	±16.00%	±18.34%	±19.60%	±20.00%

※上表は、 $\frac{N - n}{N - 1} \div 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は 95%である。

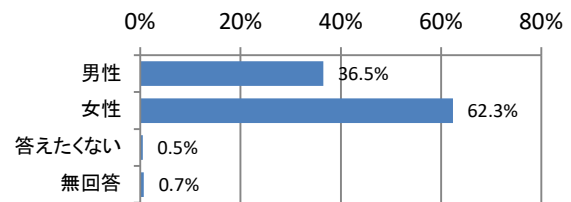
注／この表の見方

全体 (母集団) の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを標本誤差という。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、数学的に計算することができる。その計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。例えば、「ある設問の回答者数(n)が 1120 人であり、その設問中の選択肢の回答比率(p)が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±4.15%以内 (55.85～64.15%) である」といえる。

Ⅱ 調査回答者の属性

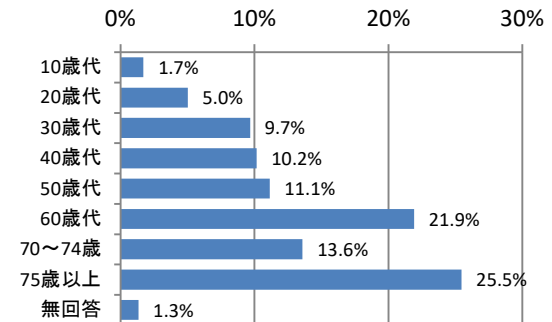
1. 性別

選択肢	人数	構成比
男性	298	36.5%
女性	509	62.3%
答えたくない	4	0.5%
無回答	6	0.7%
合計	817	100.0%



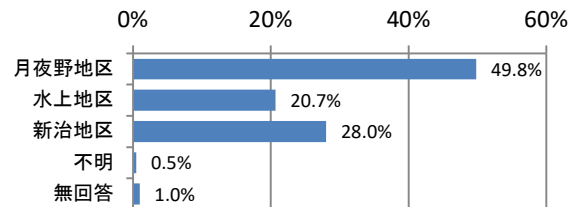
2. 年齢

選択肢	人数	構成比
10歳代	14	1.7%
20歳代	41	5.0%
30歳代	79	9.7%
40歳代	83	10.2%
50歳代	91	11.1%
60歳代	179	21.9%
70～74歳	111	13.6%
75歳以上	208	25.5%
無回答	11	1.3%
合計	817	100.0%



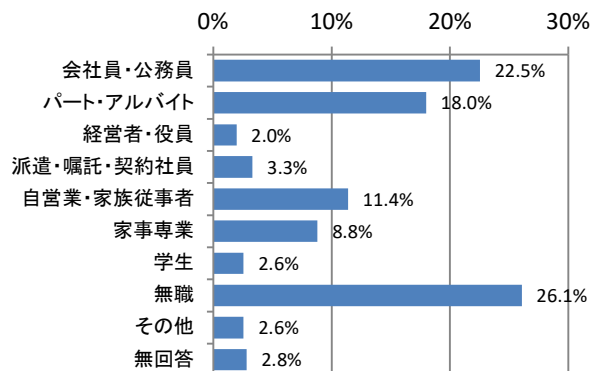
3. 居住地区

選択肢	人数	構成比
月夜野地区	407	49.8%
水上地区	169	20.7%
新治地区	229	28.0%
不明	4	0.5%
無回答	8	1.0%
合計	817	100.0%



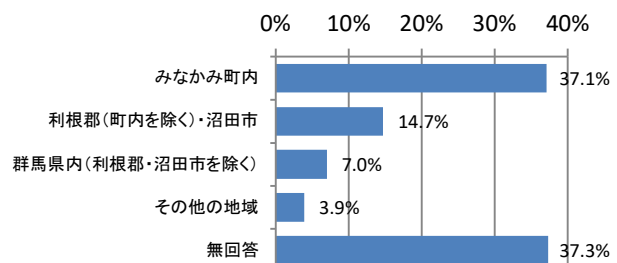
4. 職業

選択肢	人数	構成比
会社員・公務員	184	22.5%
パート・アルバイト	147	18.0%
経営者・役員	16	2.0%
派遣・嘱託・契約社員	27	3.3%
自営業・家族従事者	93	11.4%
家事専業	72	8.8%
学生	21	2.6%
無職	213	26.1%
その他	21	2.6%
無回答	23	2.8%
合計	817	100.0%



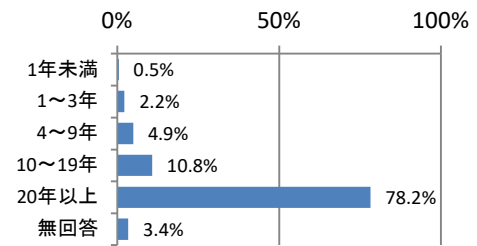
5. 就学・勤務先

選択肢	人数	構成比
みなかみ町内	303	37.1%
利根郡(町内を除く)・沼田市	120	14.7%
群馬県内(利根郡・沼田市を除く)	57	7.0%
その他の地域	32	3.9%
無回答	305	37.3%
合計	817	100.0%



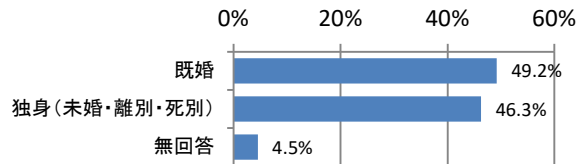
6. 居住年数(通算)

選択肢	人数	構成比
1年未満	4	0.5%
1～3年	18	2.2%
4～9年	40	4.9%
10～19年	88	10.8%
20年以上	639	78.2%
無回答	28	3.4%
合計	817	100.0%



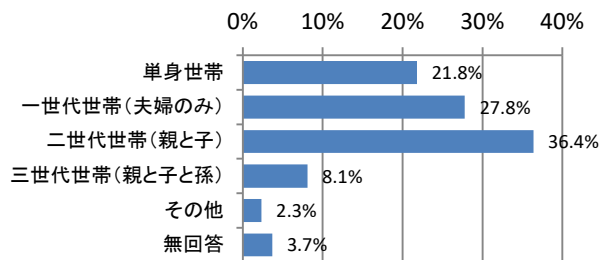
7. 結婚の有無

選択肢	人数	構成比
既婚	402	49.2%
独身(未婚・離別・死別)	378	46.3%
無回答	37	4.5%
合計	817	100.0%



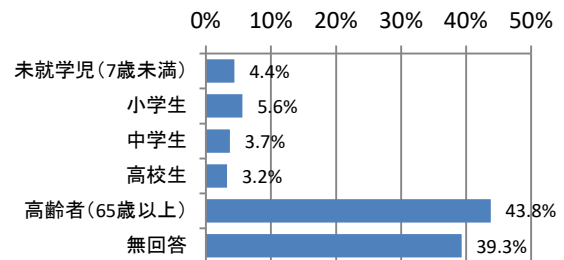
8. 同居の家族構成

選択肢	人数	構成比
単身世帯	178	21.8%
一世代世帯(夫婦のみ)	227	27.8%
二世世代世帯(親と子)	297	36.4%
三世世代世帯(親と子と孫)	66	8.1%
その他	19	2.3%
無回答	30	3.7%
合計	817	100.0%



9. 同居者の属性

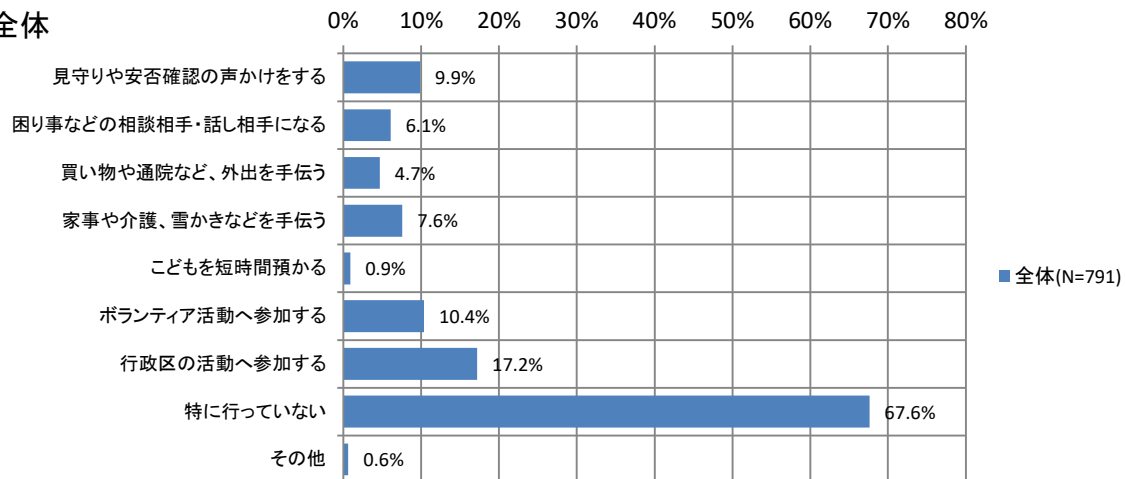
選択肢	人数	構成比
未就学児(7歳未満)	39	4.4%
小学生	50	5.6%
中学生	33	3.7%
高校生	29	3.2%
高齢者(65歳以上)	391	43.8%
無回答	351	39.3%
合計	893	100.0%



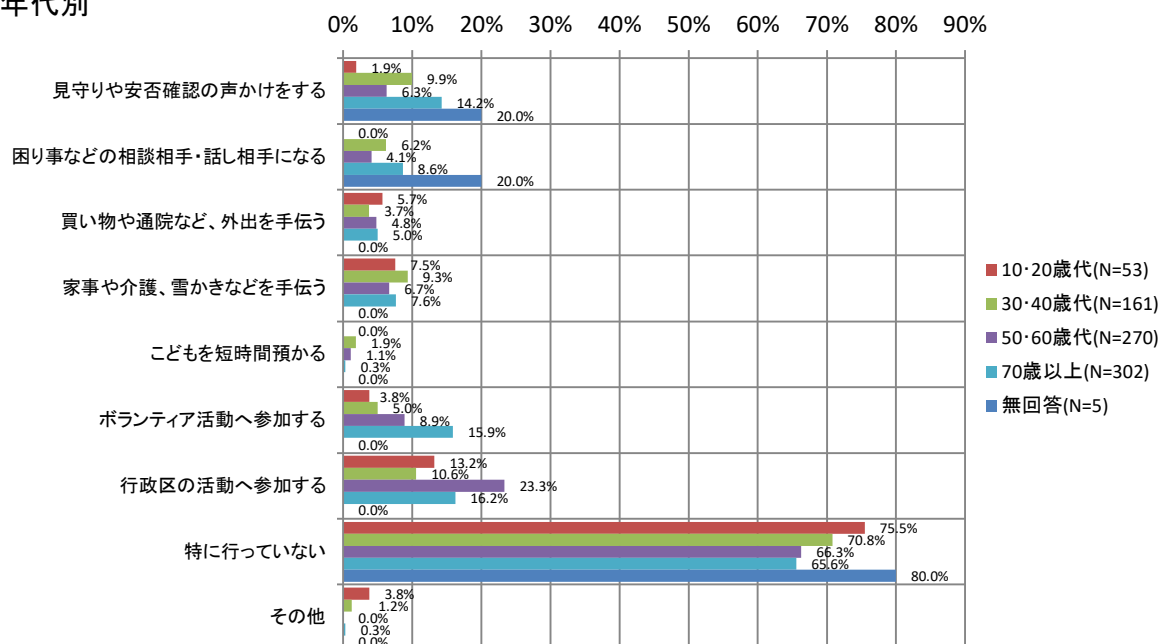
Ⅲ 調査結果

回答=791人、無回答=26人

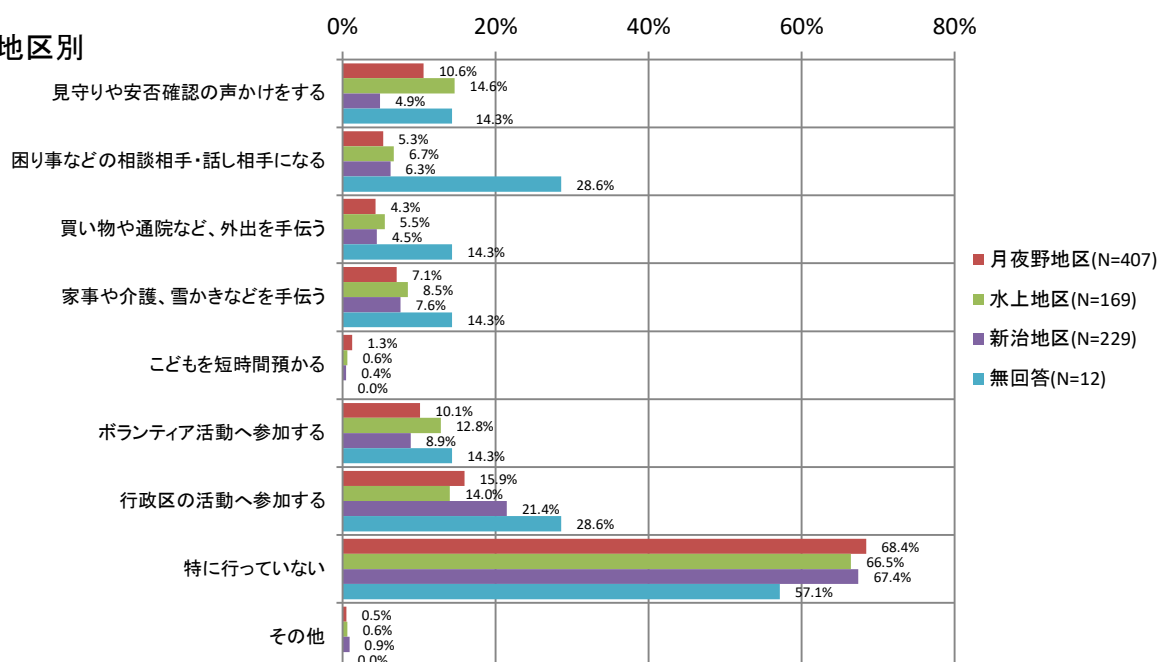
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別

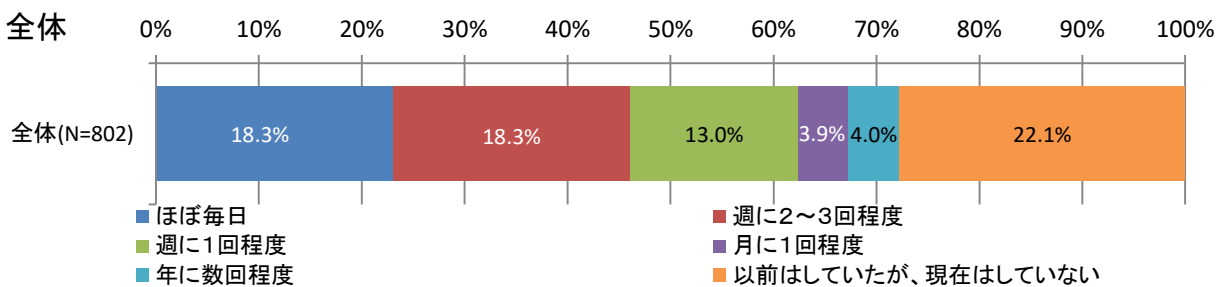


あなたは日頃、運動やスポーツなど、身体を動かすことに取り組んでいますか。

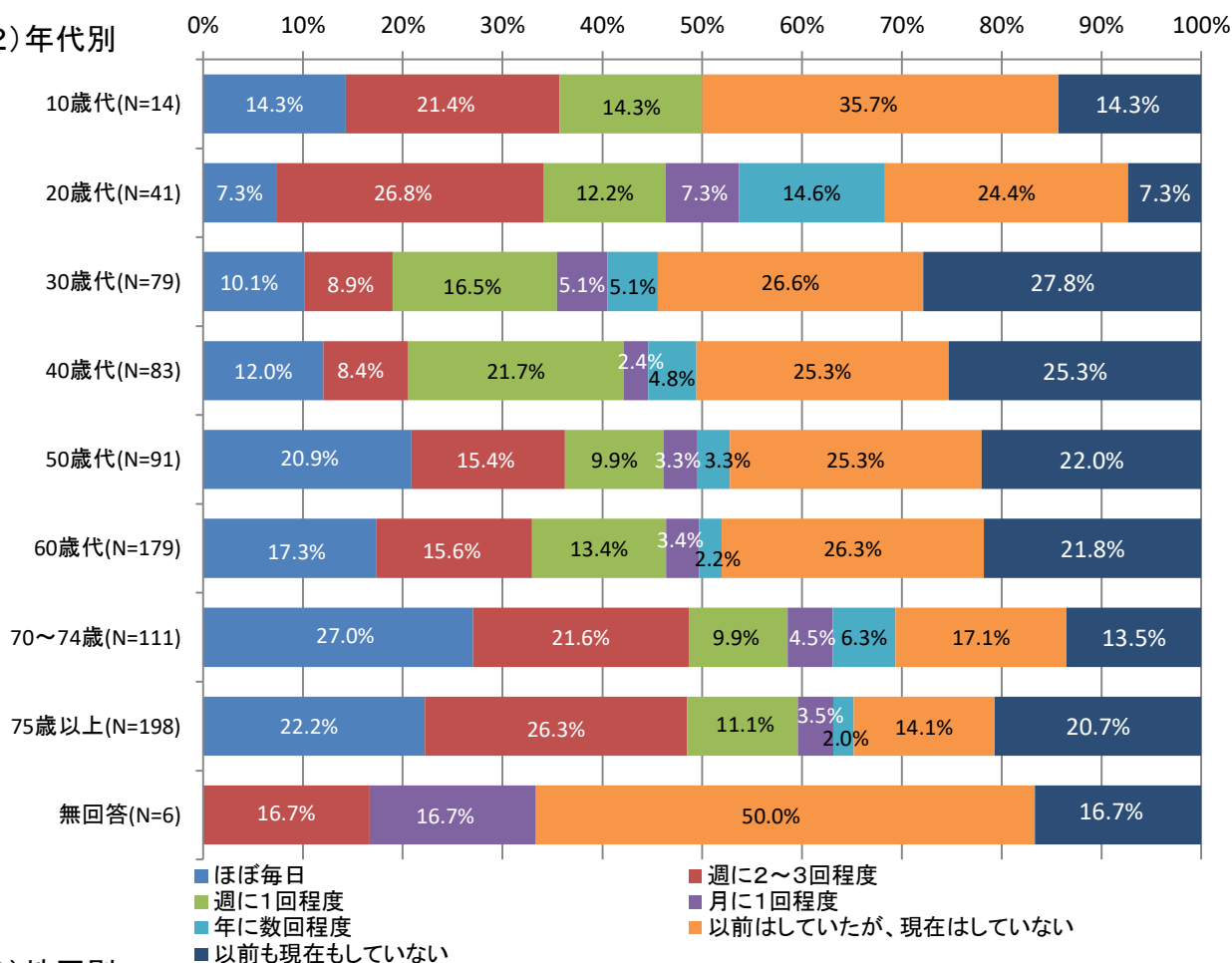
「運動やスポーツなど、身体を動かすこと」には、散歩や体操、レクリエーションスポーツなど、軽度の運動を含みます。

回答=802人、無回答・多重回答=15人

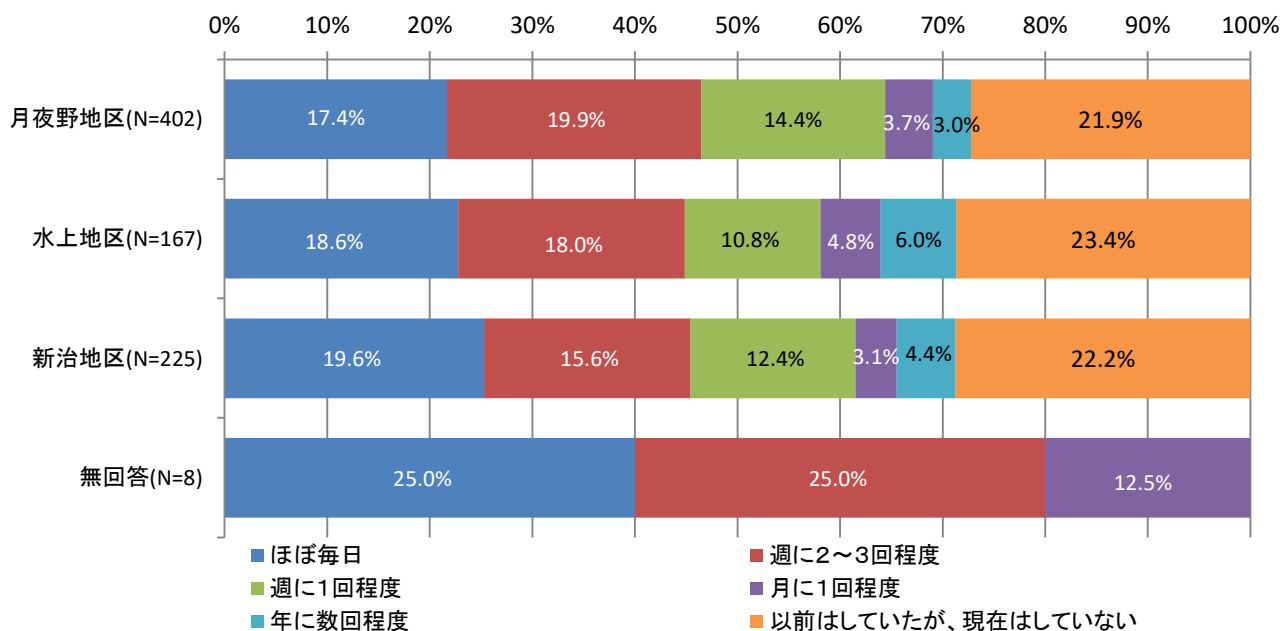
(1) 全体



(2) 年代別

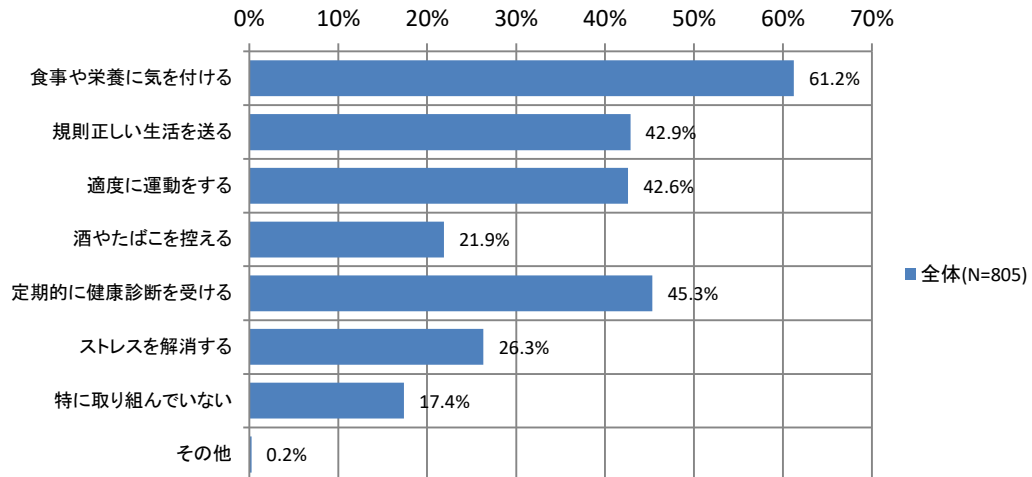


(3) 地区別

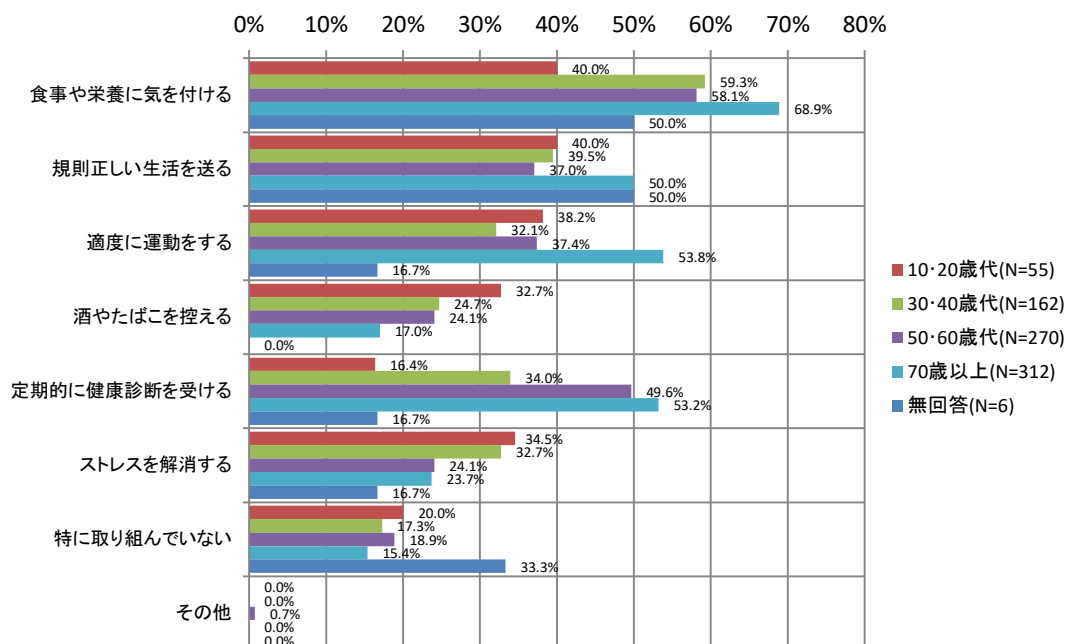


回答=805人、無回答=12人

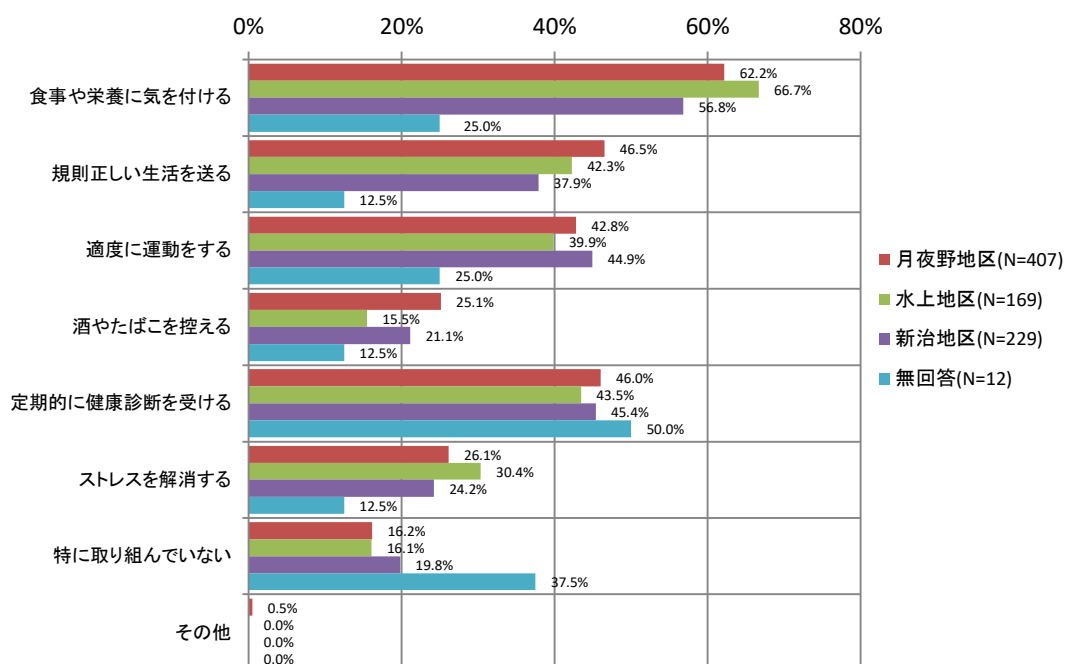
(1) 全体



(2) 年代別

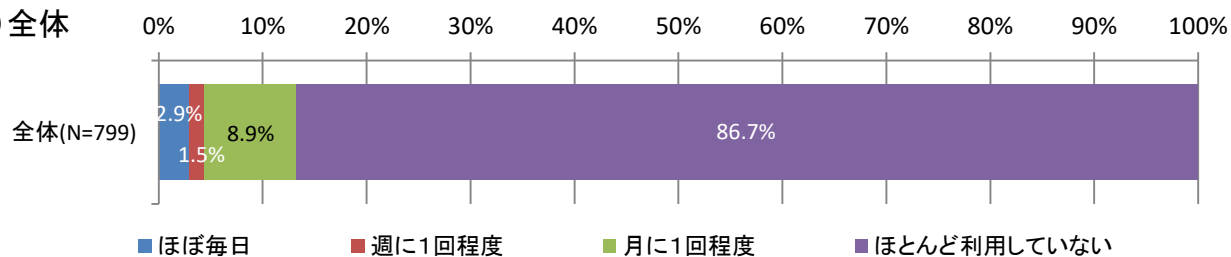


(3) 地区別

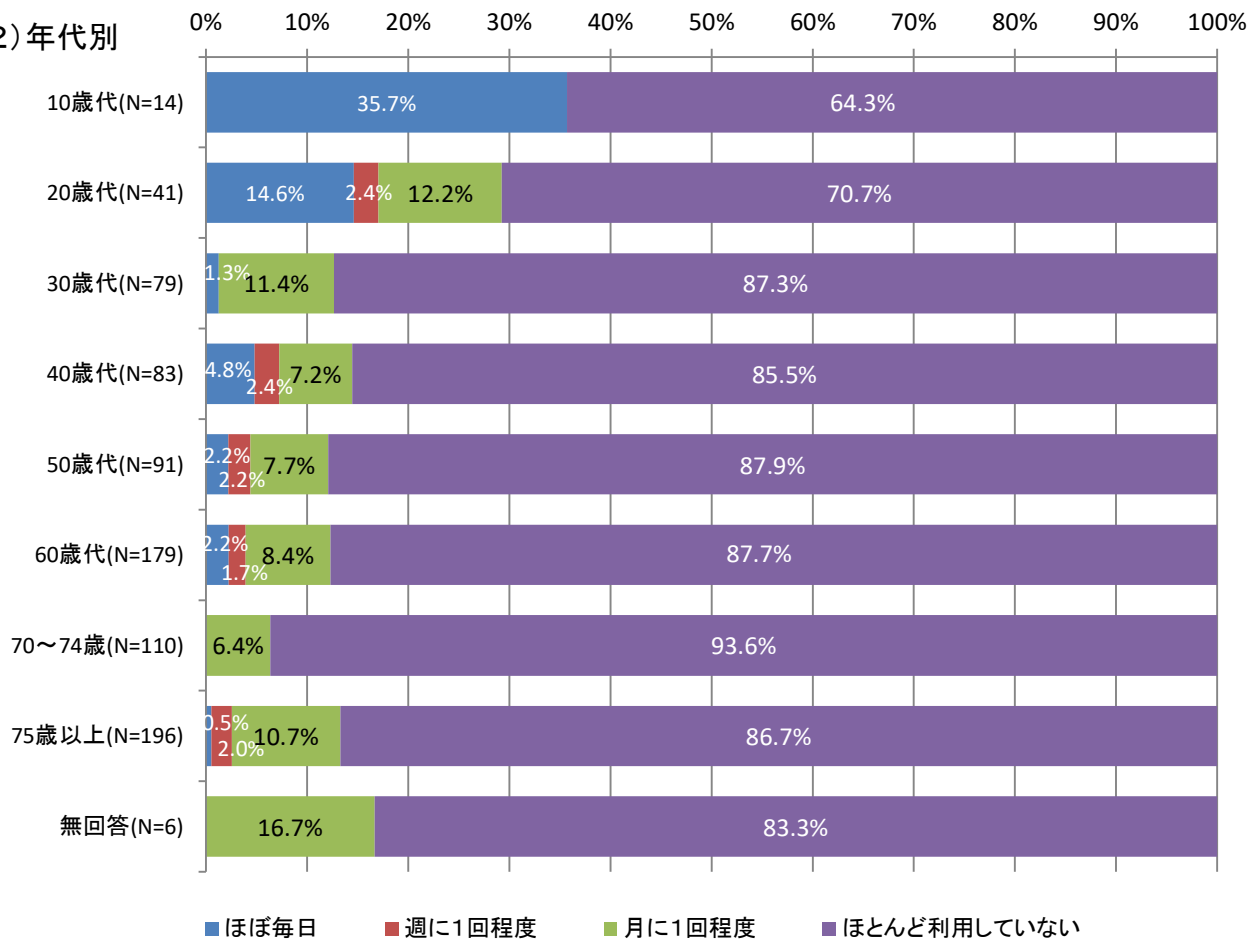


回答=799人、無回答・多重回答=18人

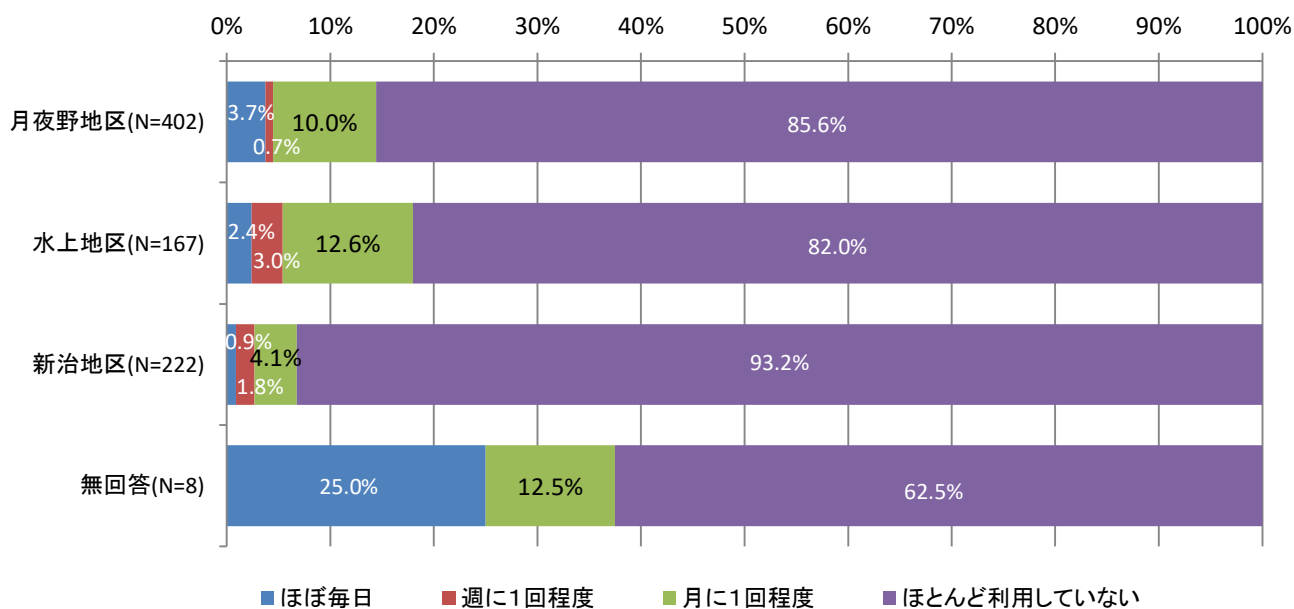
(1) 全体



(2) 年代別

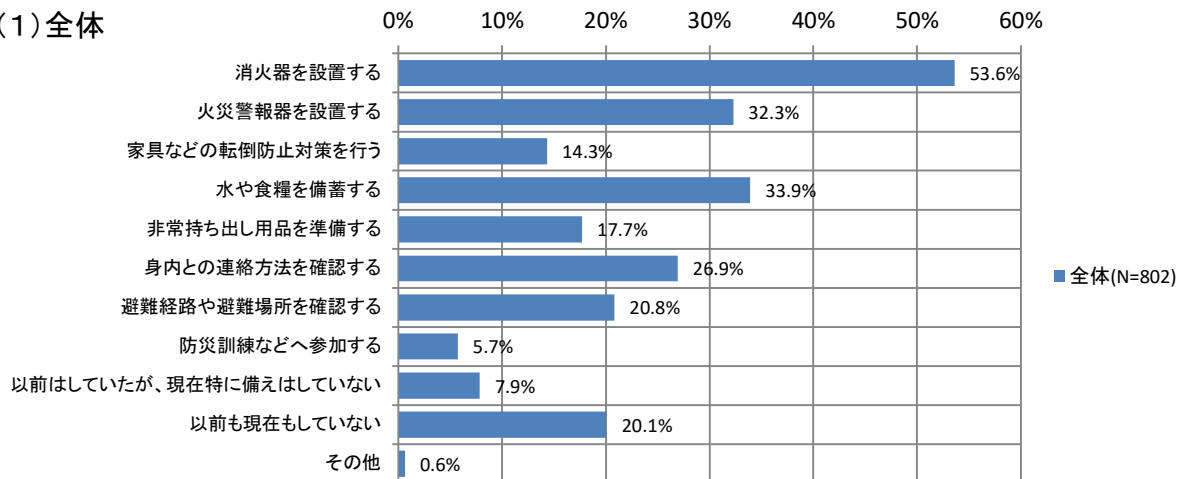


(3) 地区別

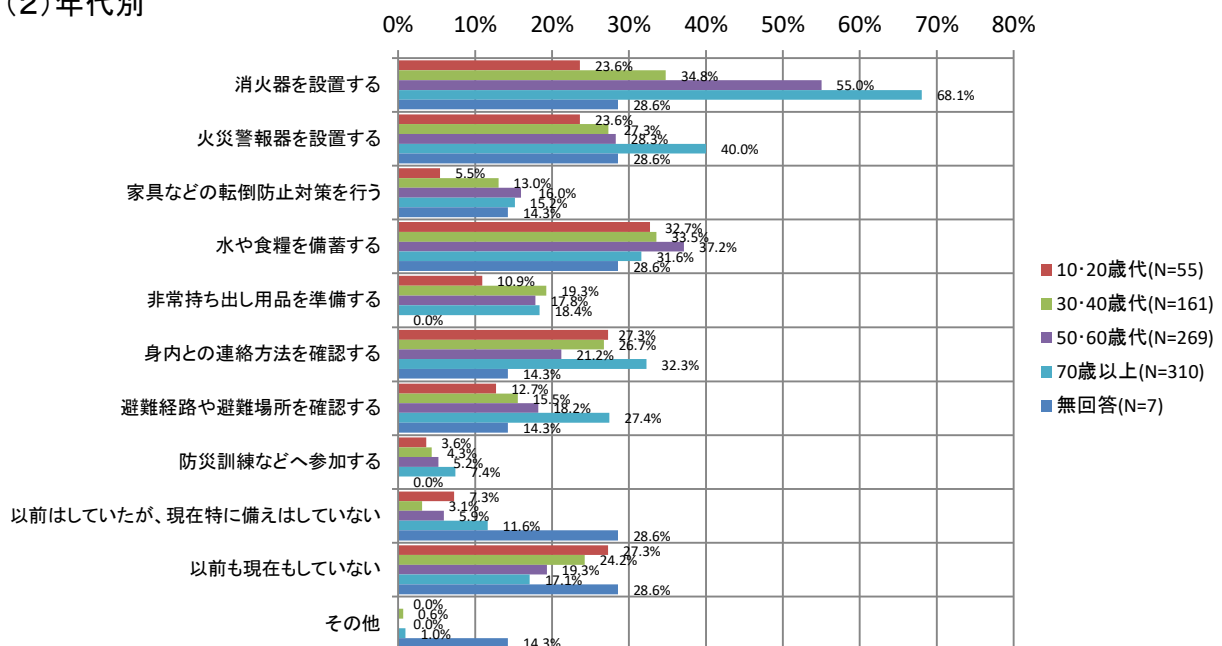


回答=802人、無回答=15人

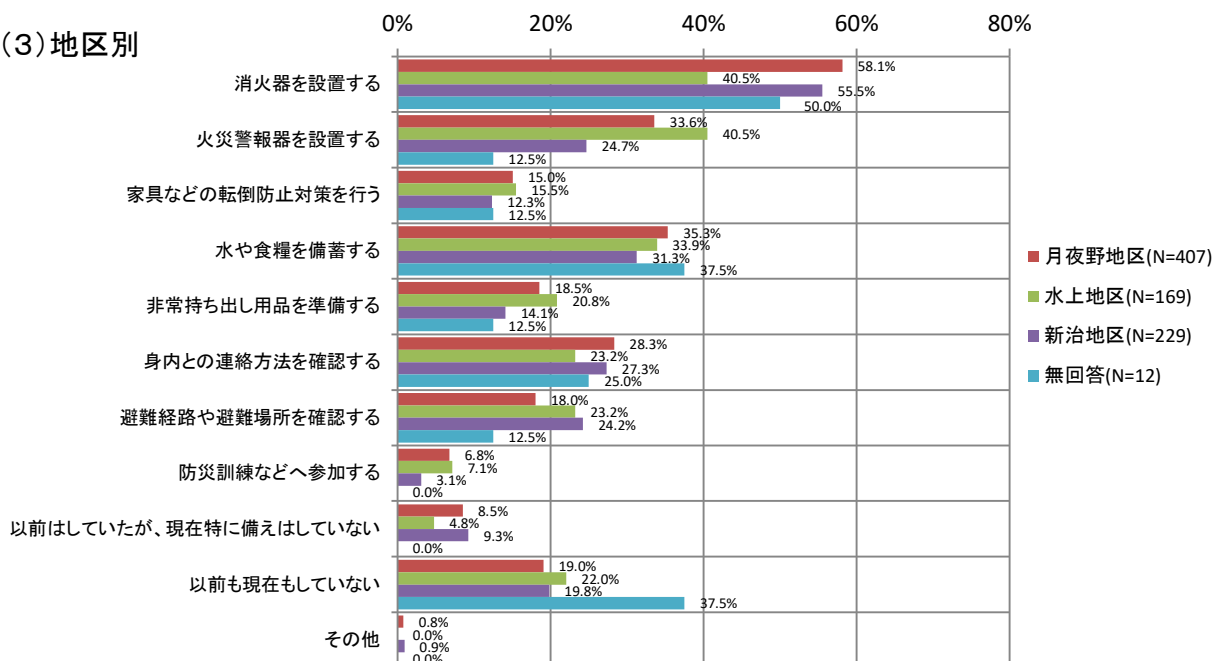
(1) 全体



(2) 年代別

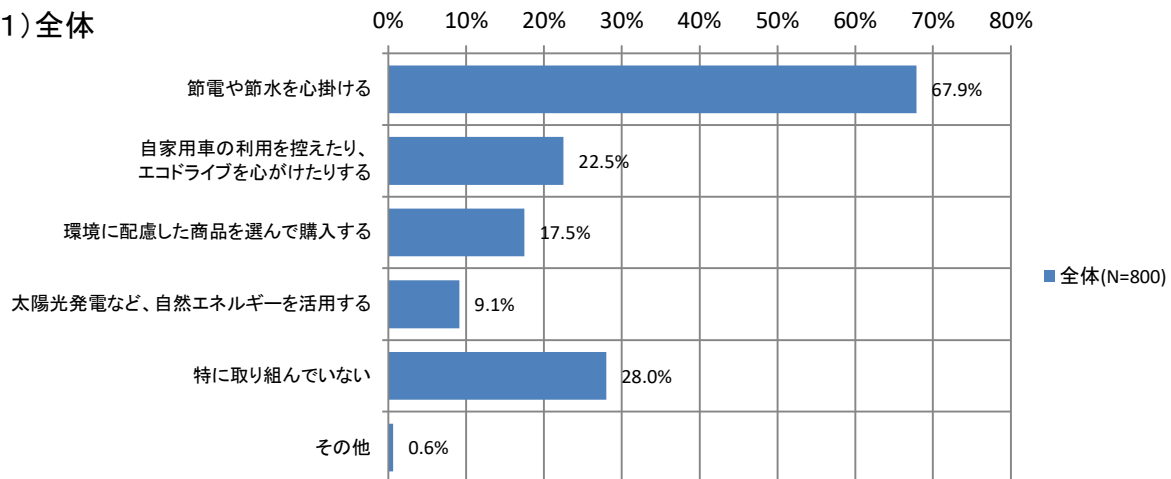


(3) 地区別

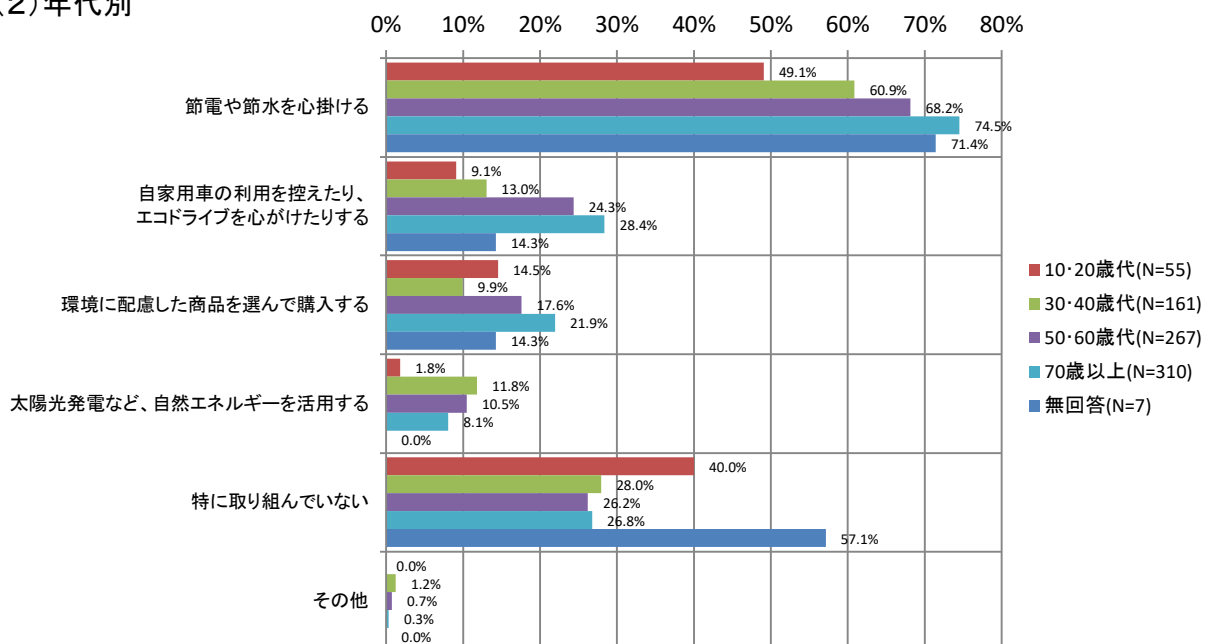


回答=800人、無回答=17人

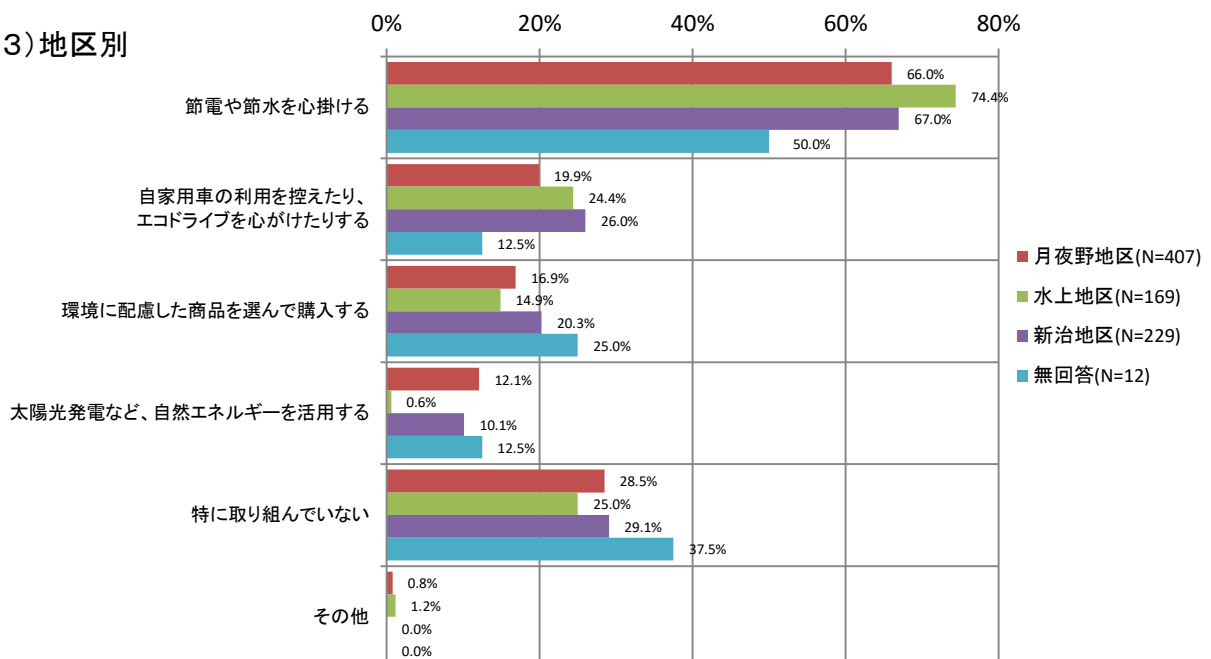
(1) 全体



(2) 年代別

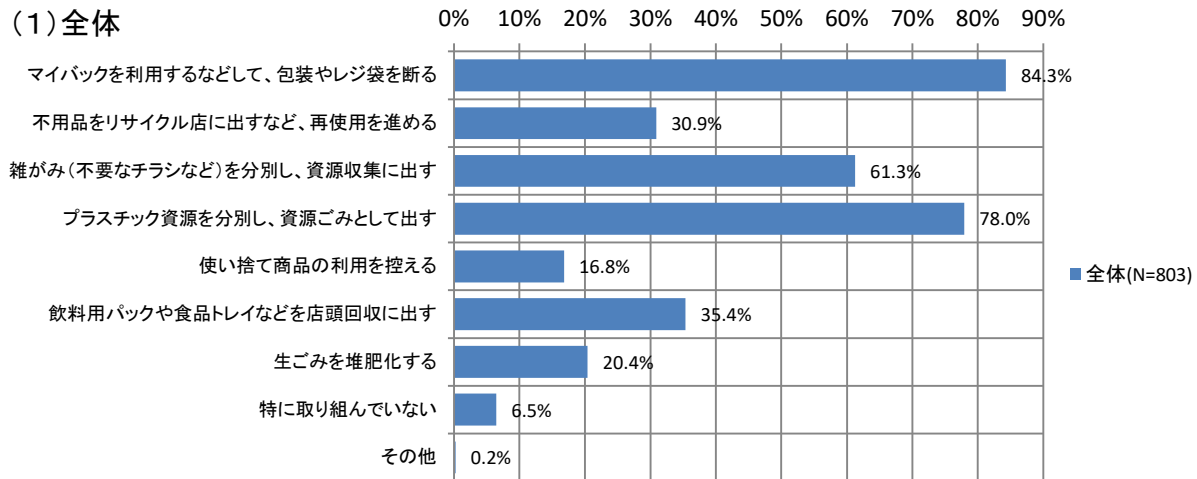


(3) 地区別

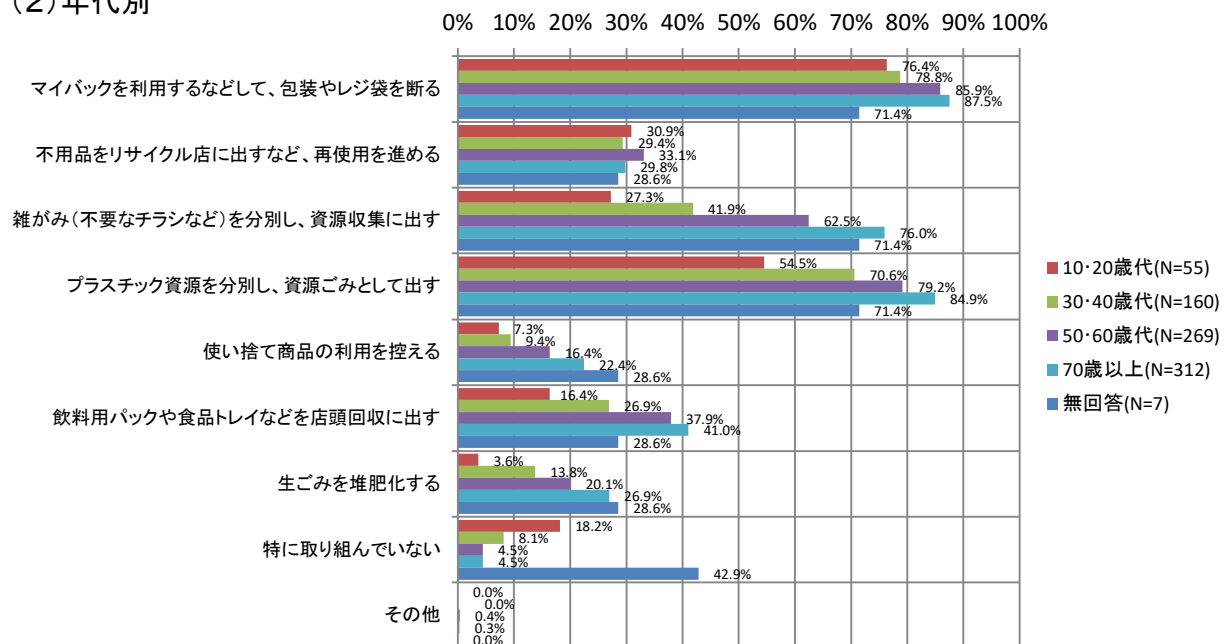


回答=803人、無回答=14人

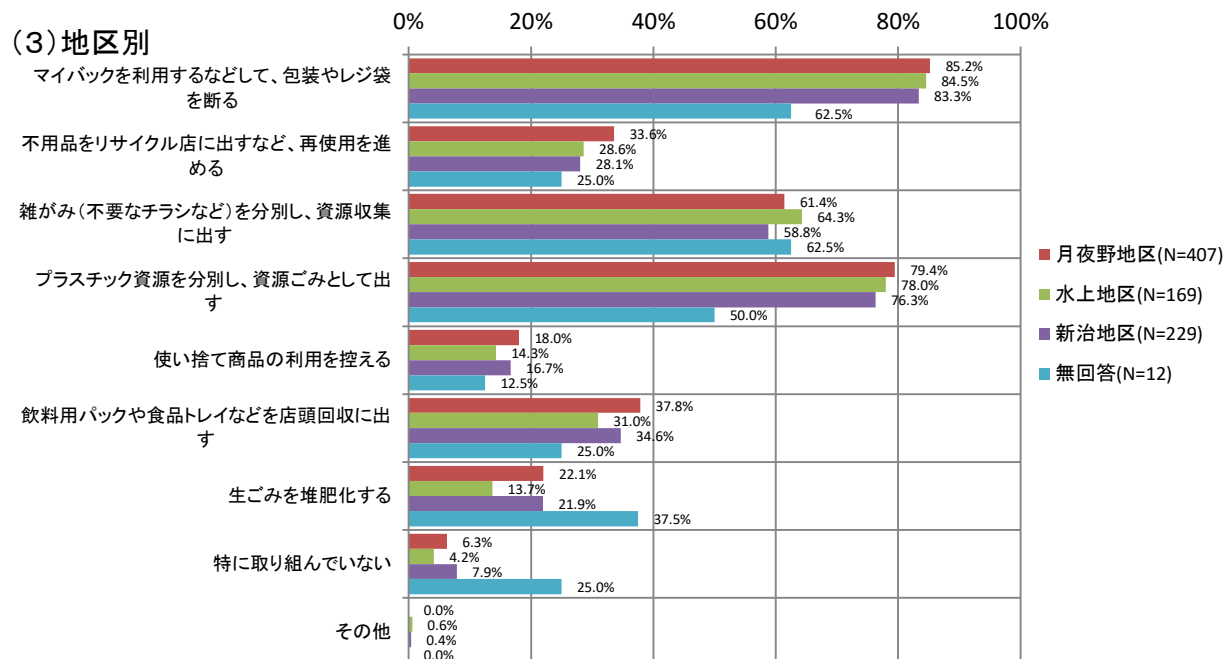
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別



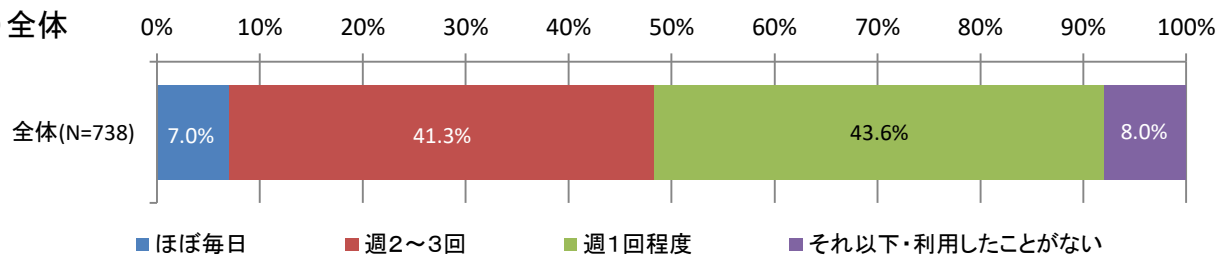
あなたは日頃、どこで食料品を購入していますか。

17-1

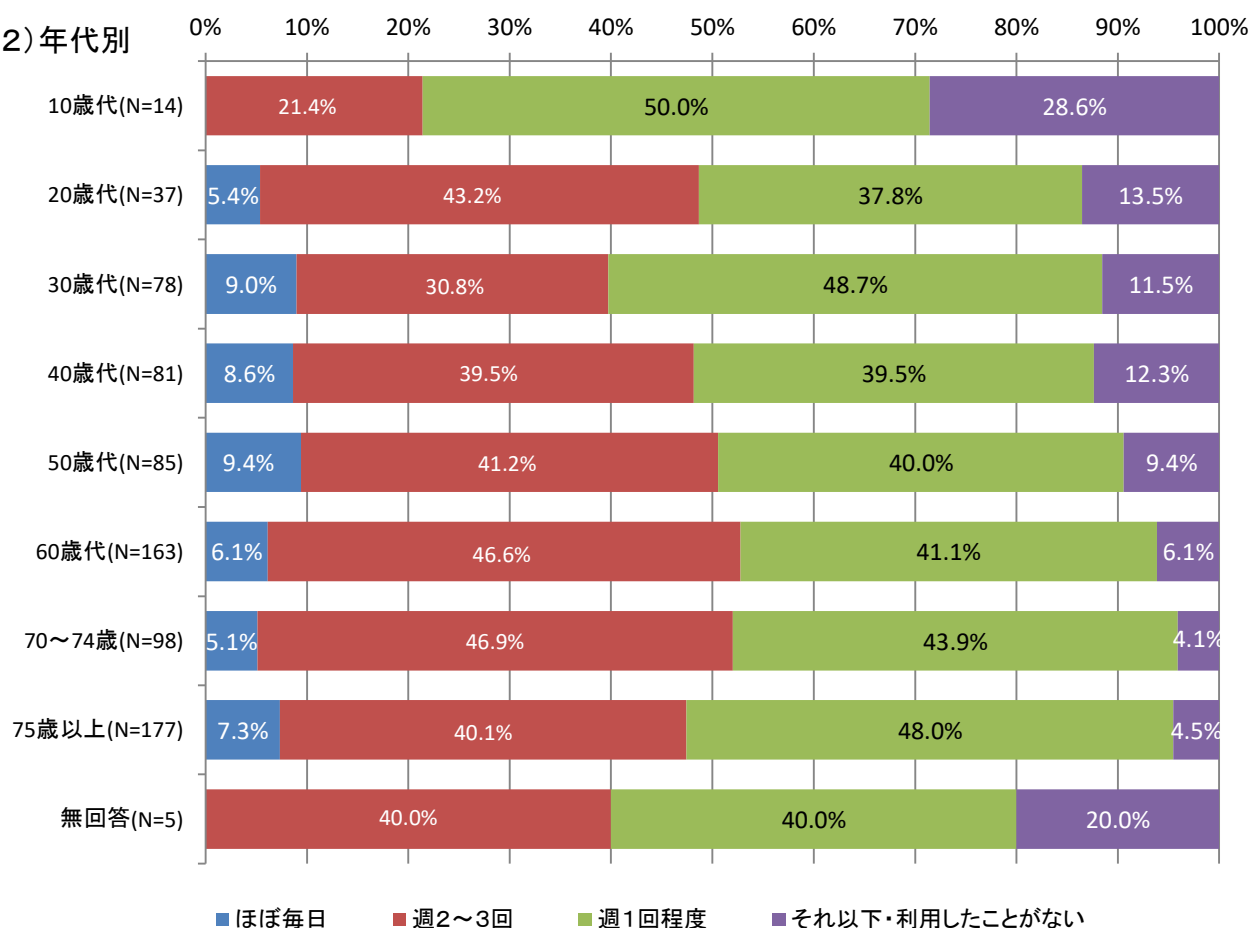
1. 町内の商店・スーパー・コンビニなど

回答=738人、無回答・多重回答=79人

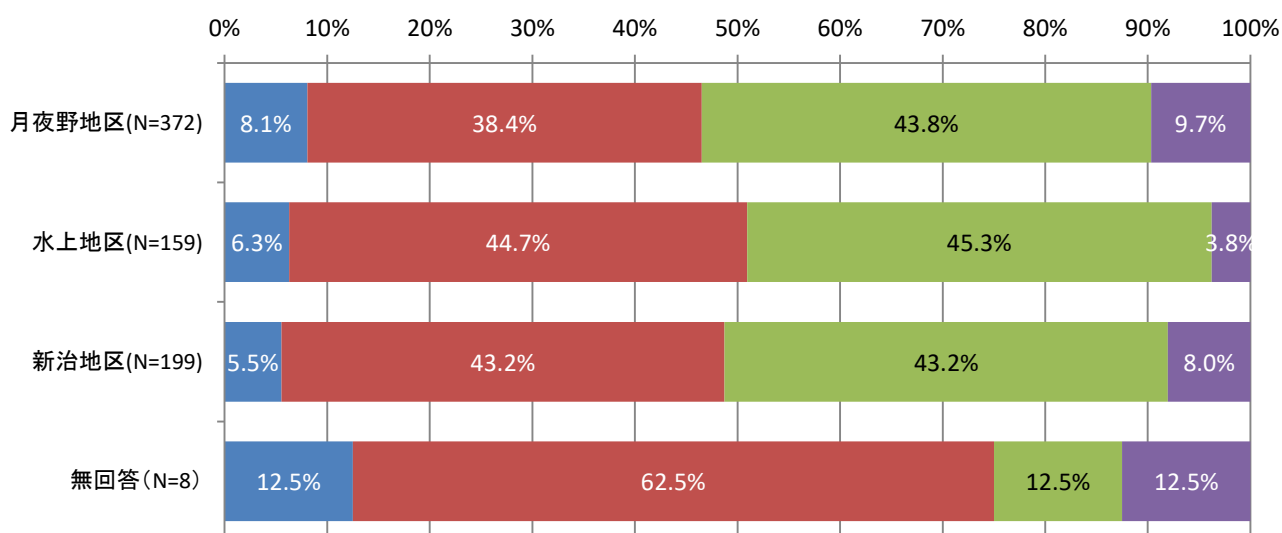
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別



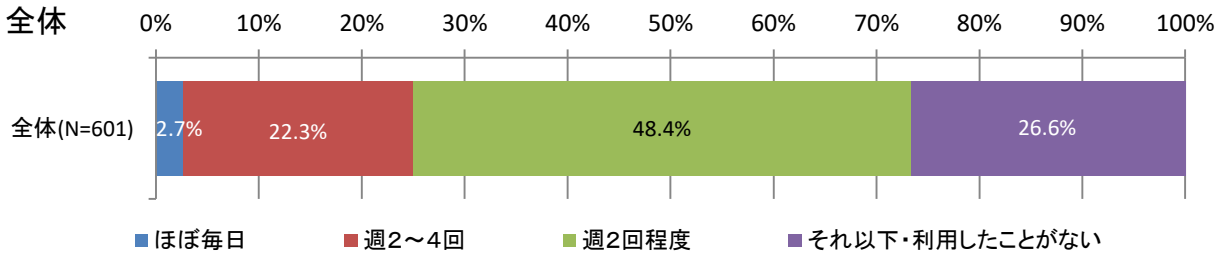
あなたは日頃、どこで食料品を購入していますか。

17-2

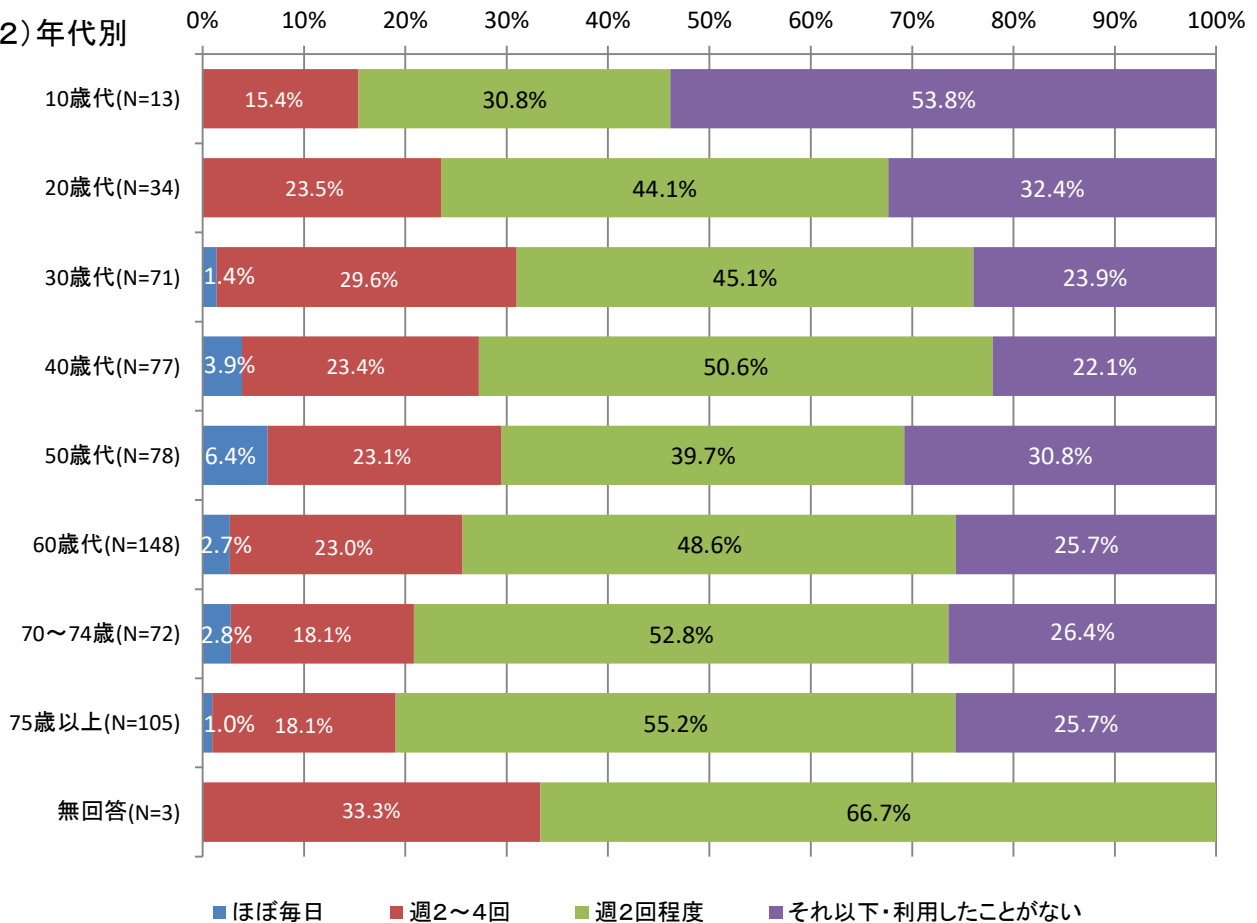
2.沼田市の商店・スーパー・コンビニなど

回答=601人、無回答・多重回答=216人

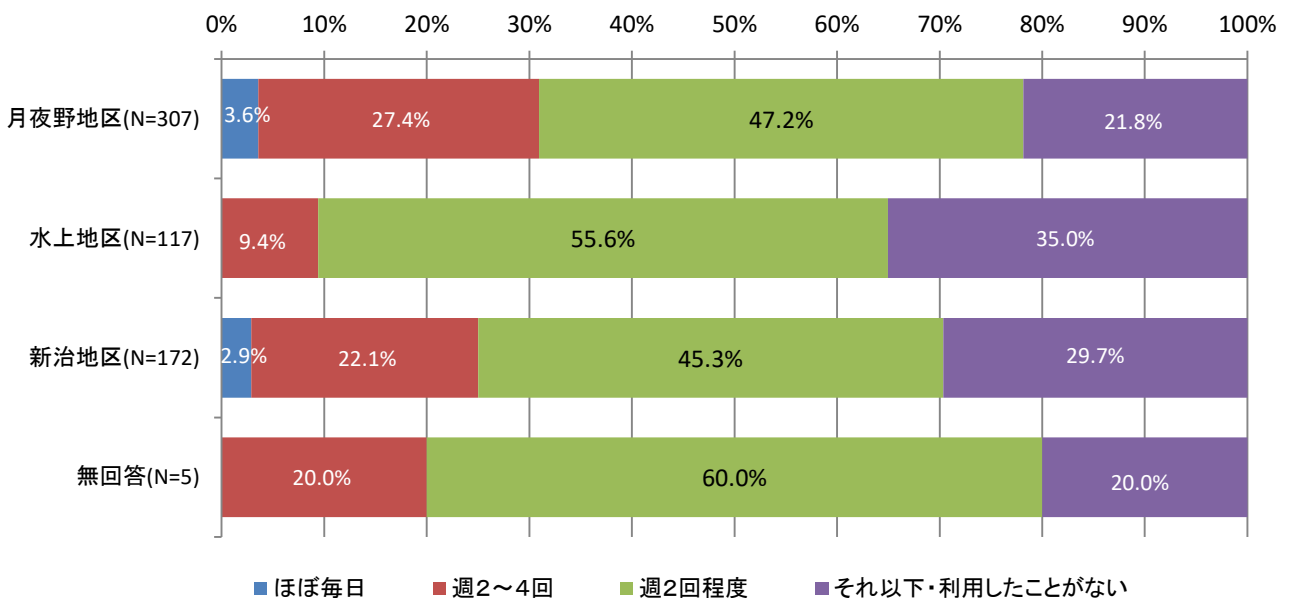
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別



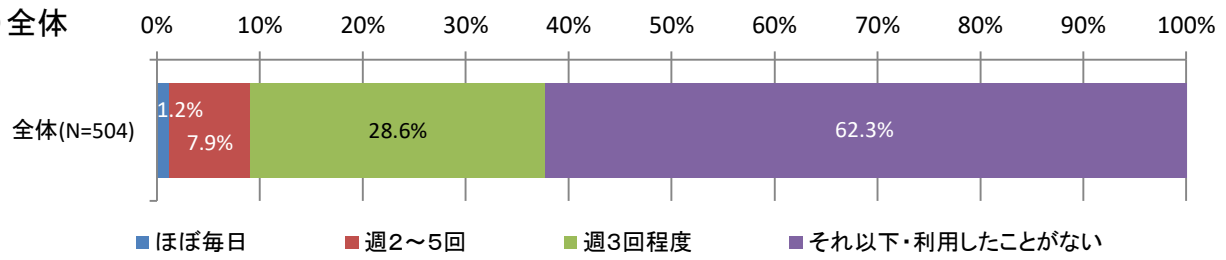
あなたは日頃、どこで食料品を購入していますか。

17-3

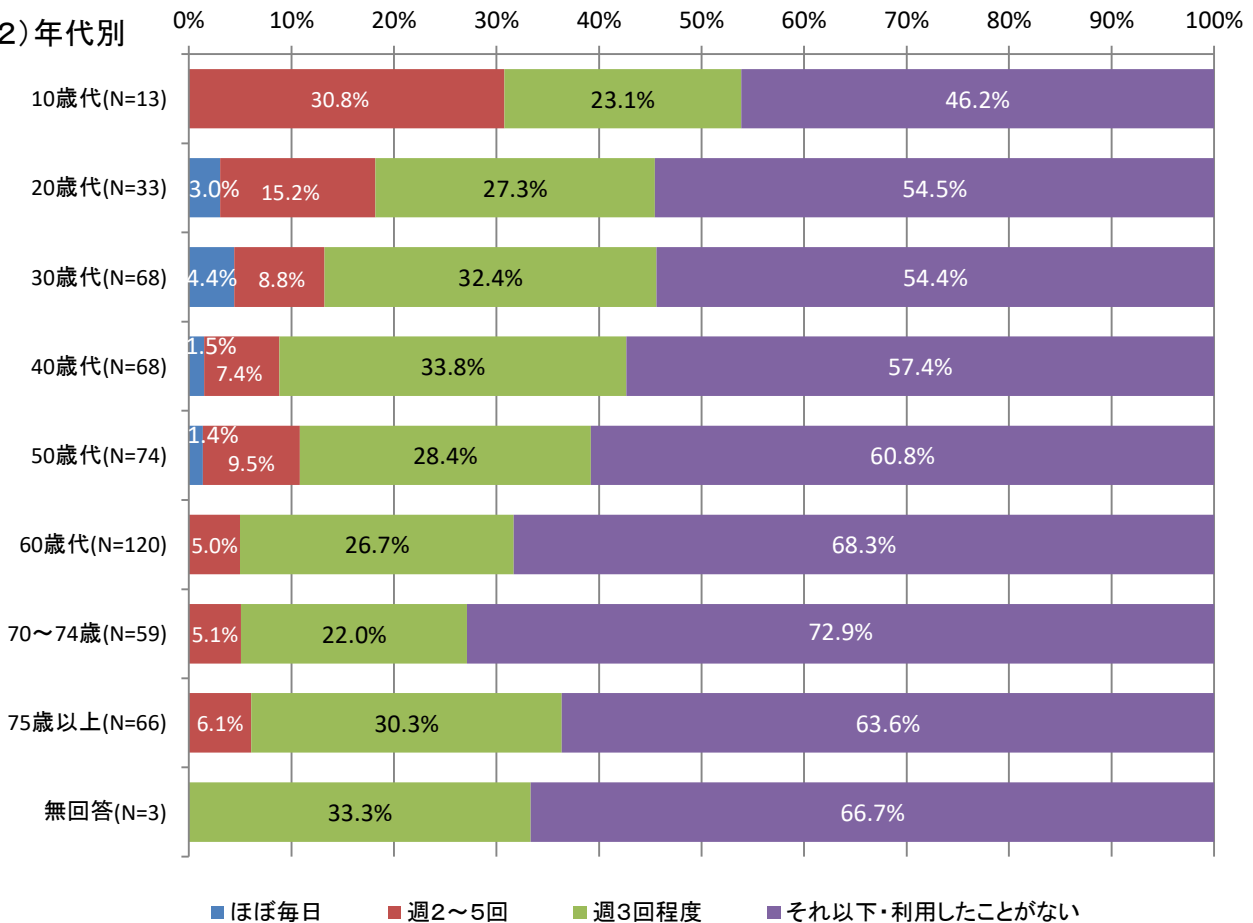
3.県内(町内・沼田市を除く)の商店・スーパー・コンビニなど

回答=504人、無回答・多重回答=313人

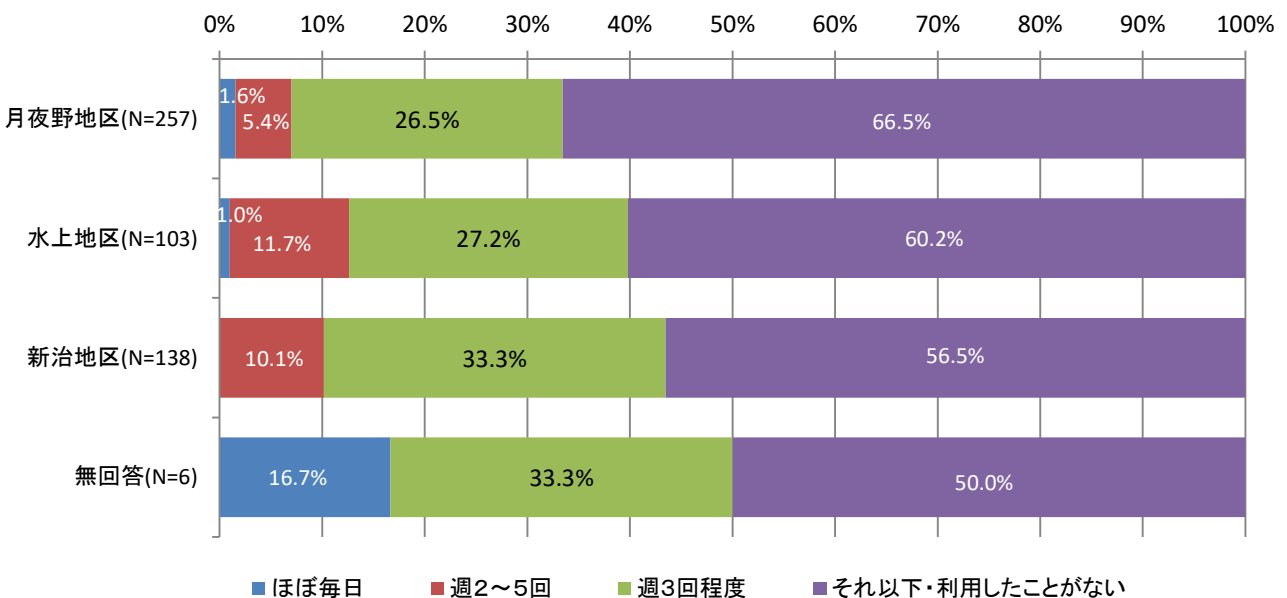
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別



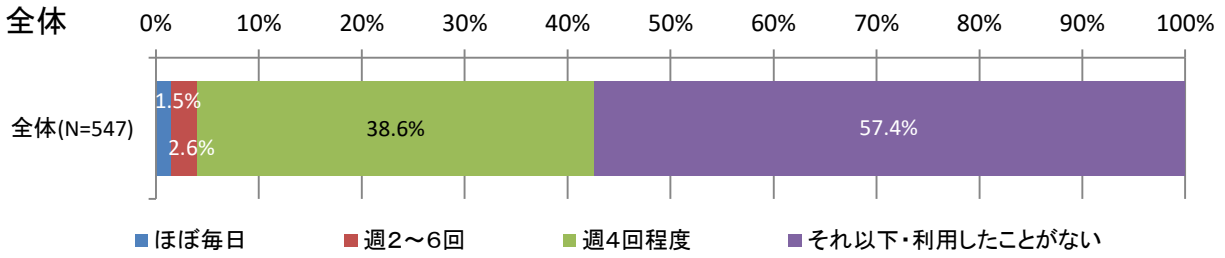
あなたは日頃、どこで食料品を購入していますか。

17-4

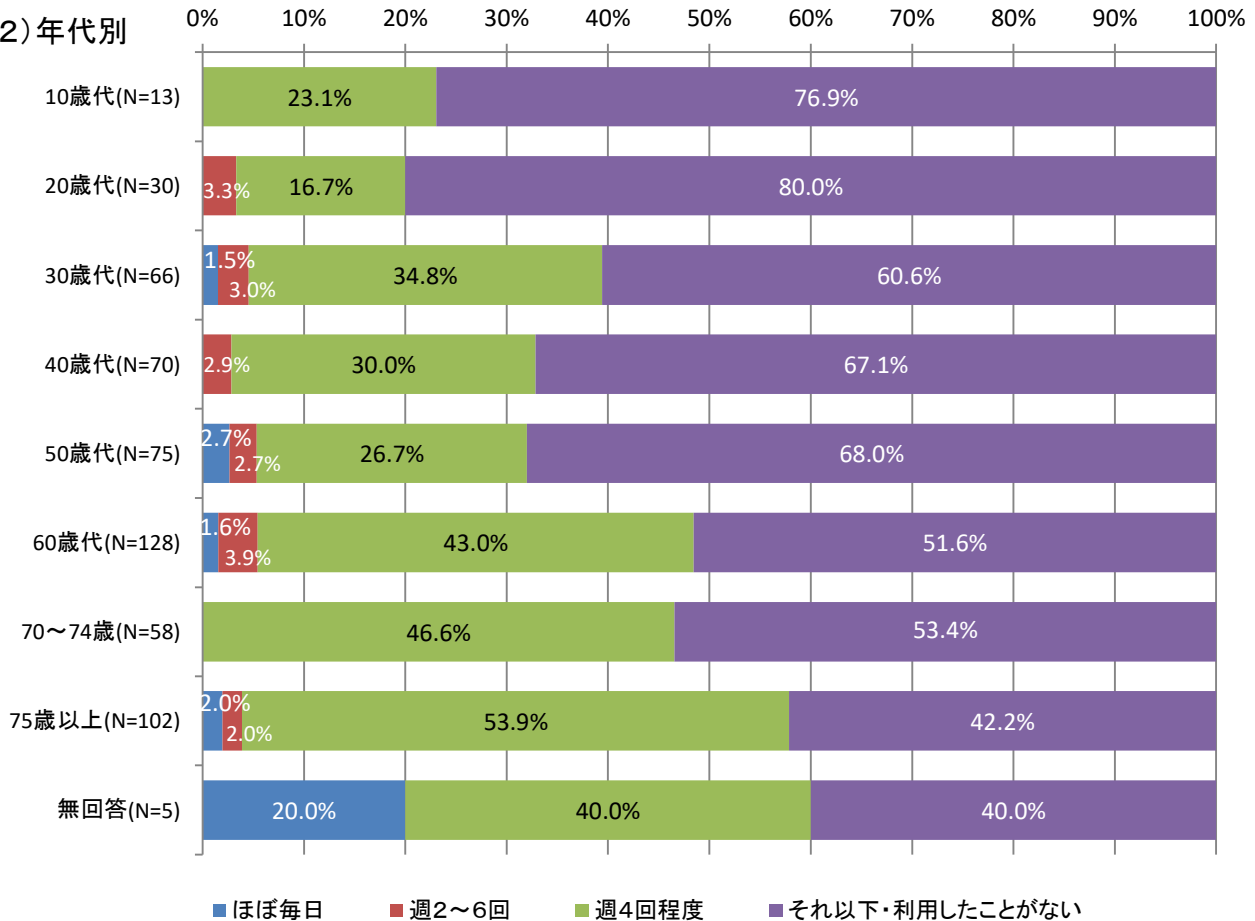
4. 宅配(生協など)・宅食

回答=547人、無回答・多重回答=270人

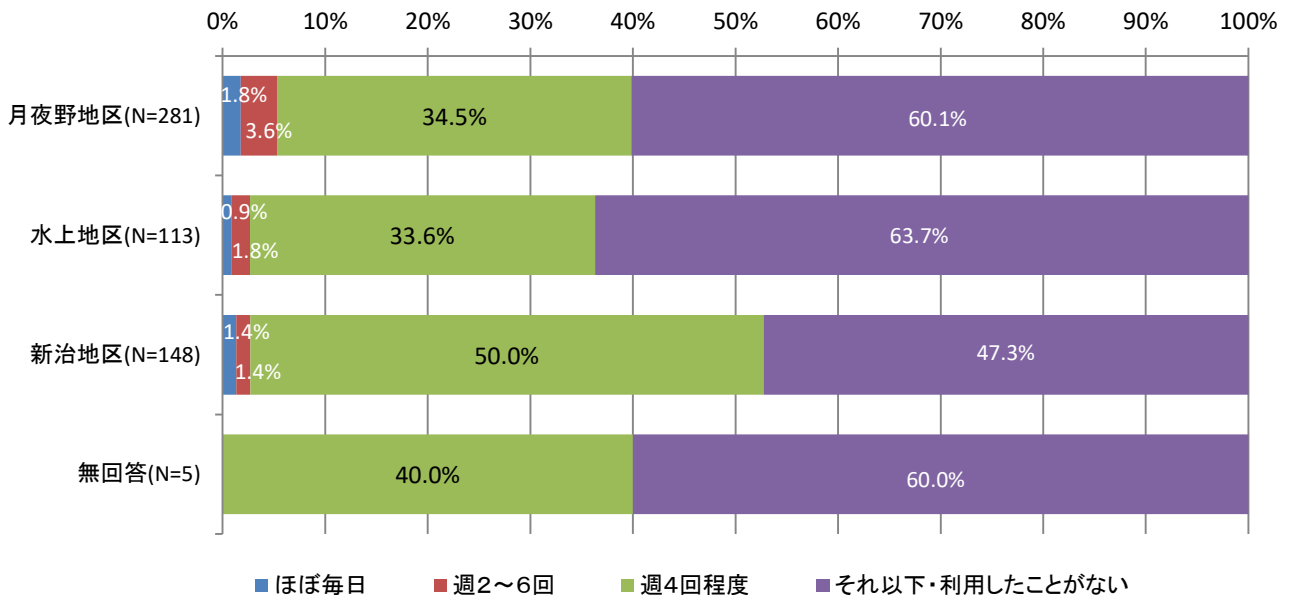
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別

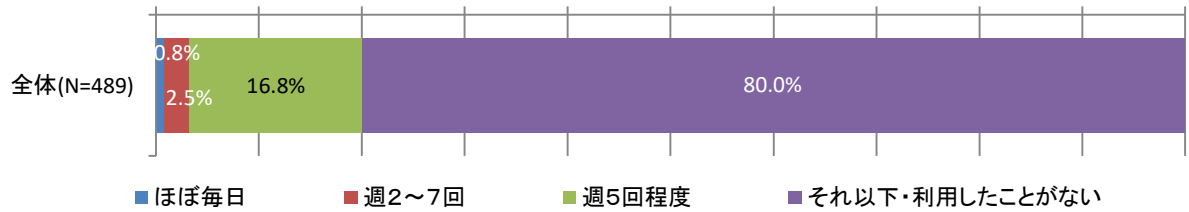


あなたは日頃、どこで食料品を購入していますか。

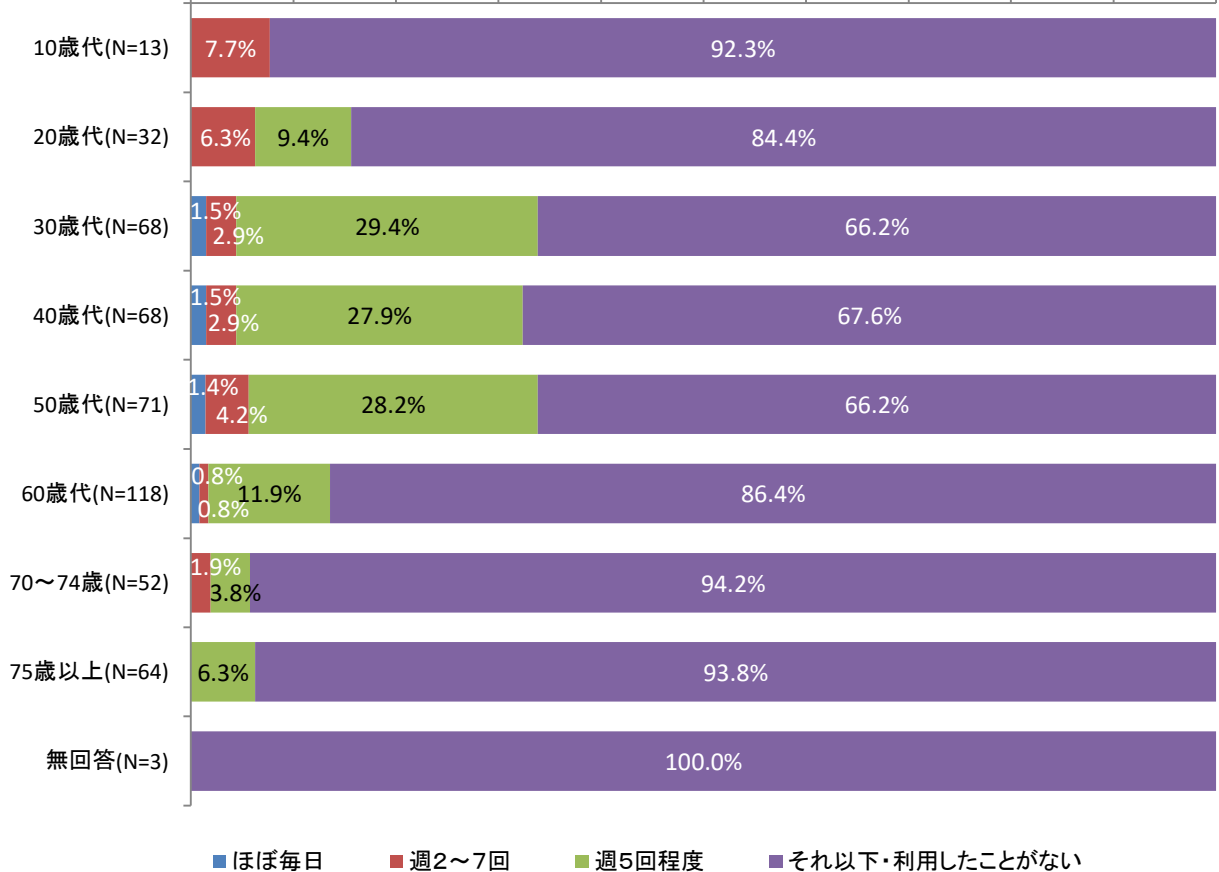
17-5 5. ネットショップ

回答=489人、無回答・多重回答=328人

(1) 全体 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

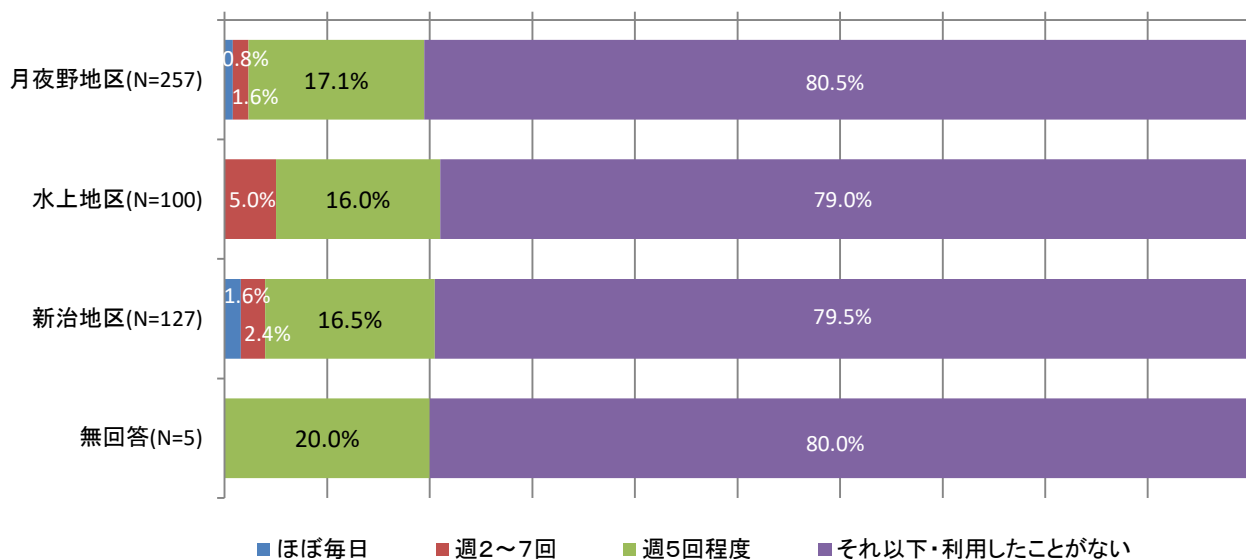


(2) 年代別 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



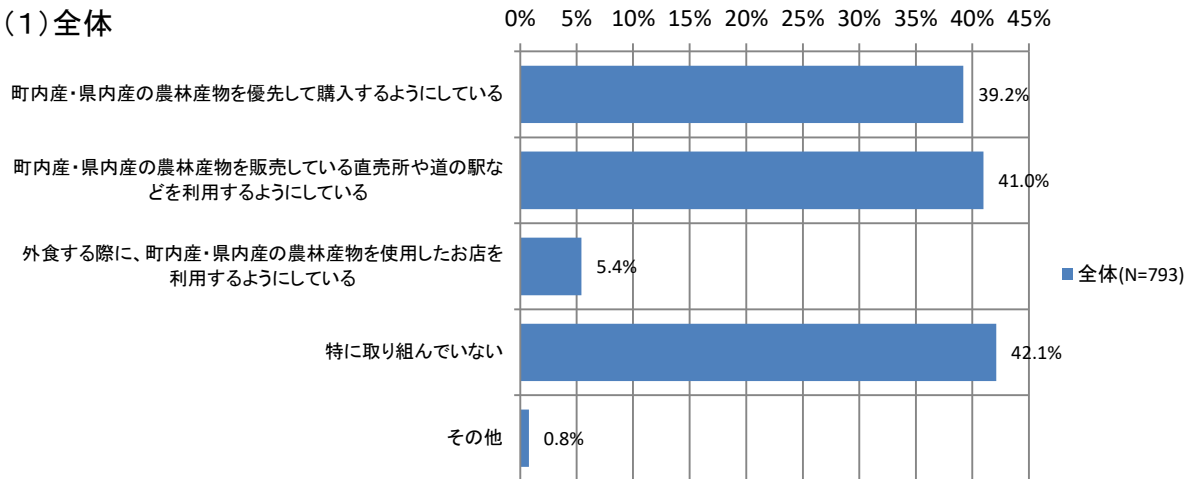
(3) 地区別

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

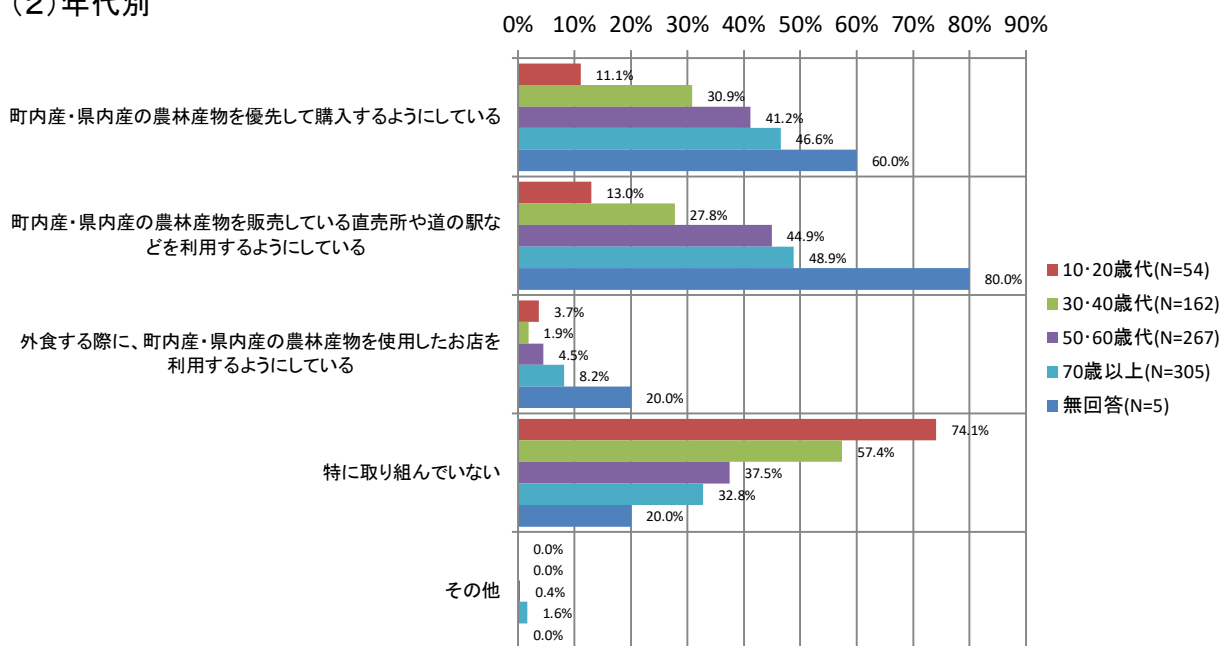


回答=793人、無回答=24人

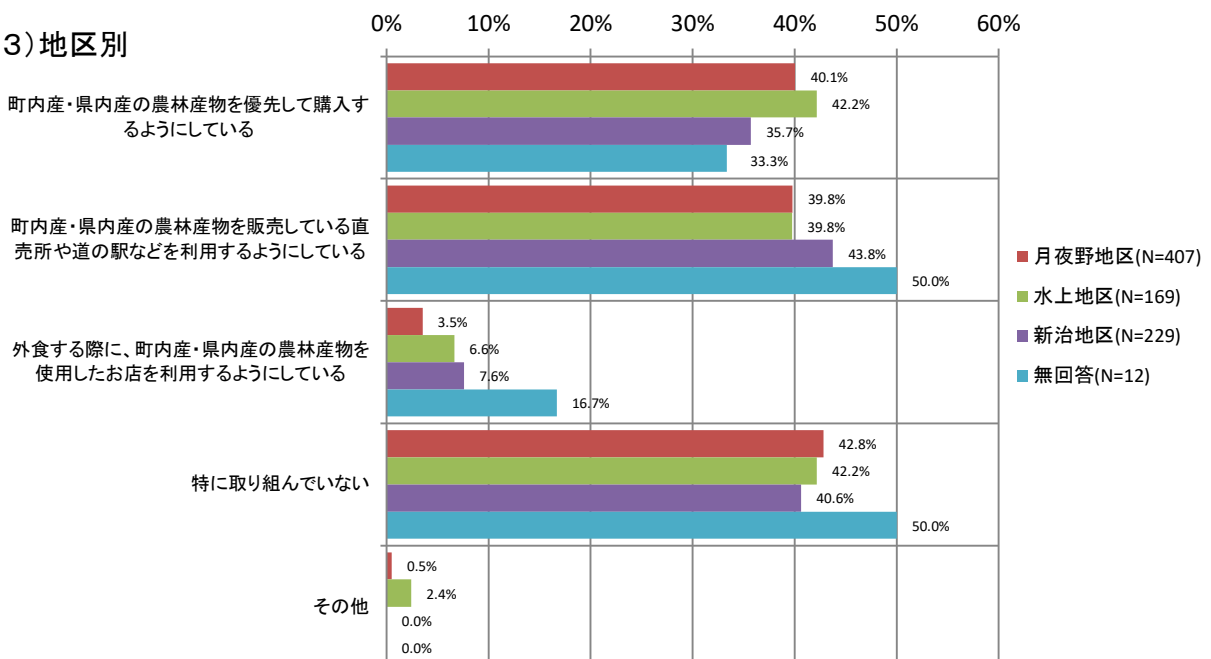
(1) 全体



(2) 年代別

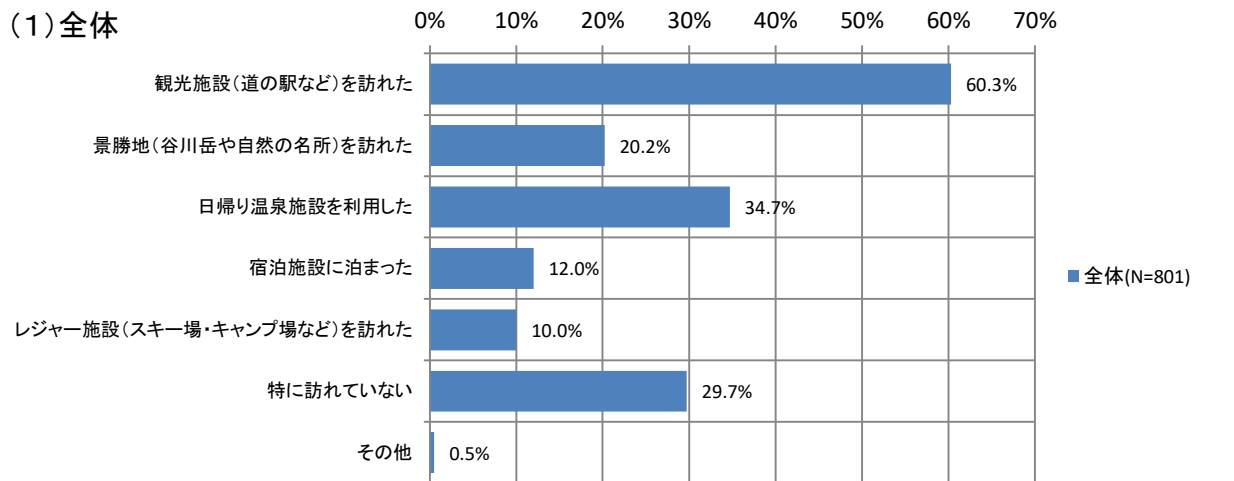


(3) 地区別

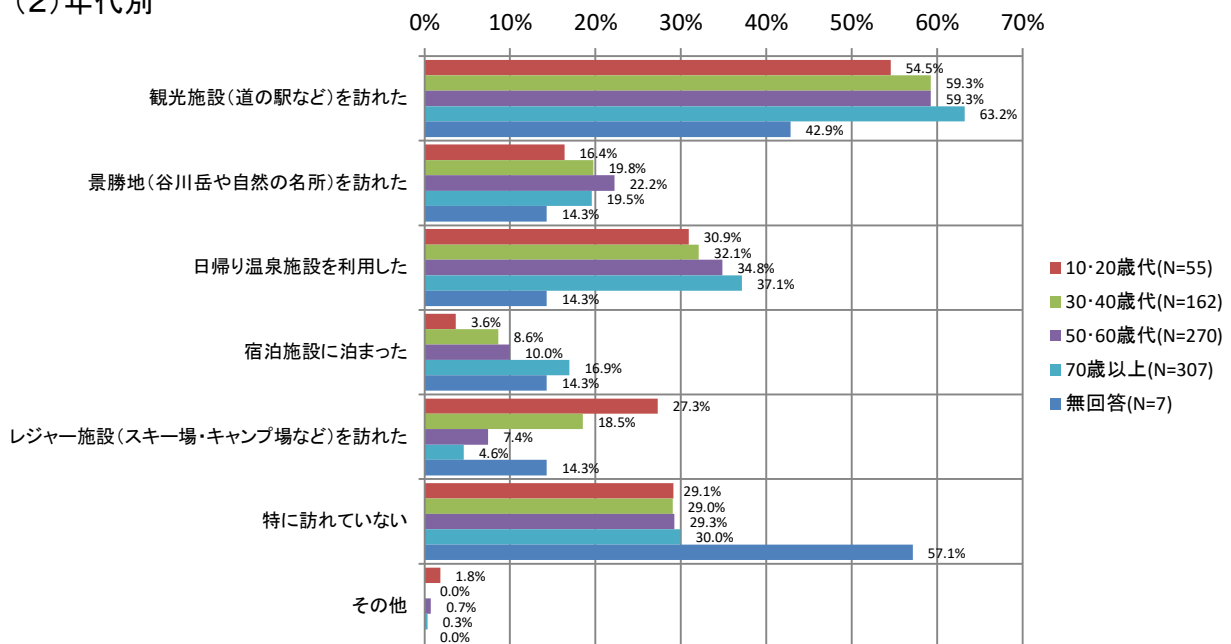


回答=801人、無回答=16人

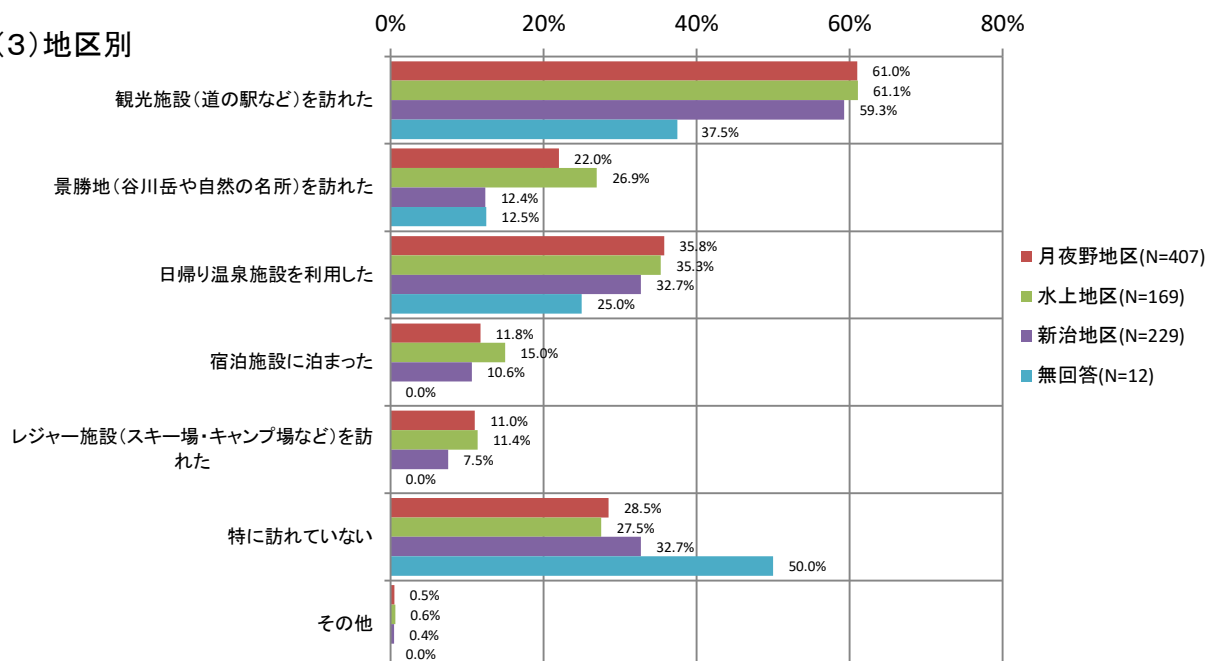
(1) 全体



(2) 年代別

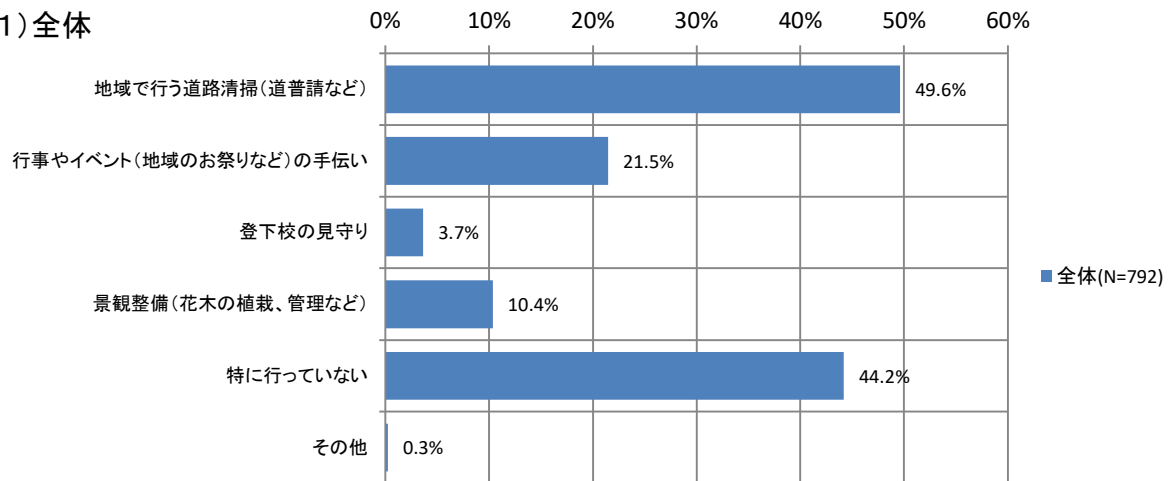


(3) 地区別

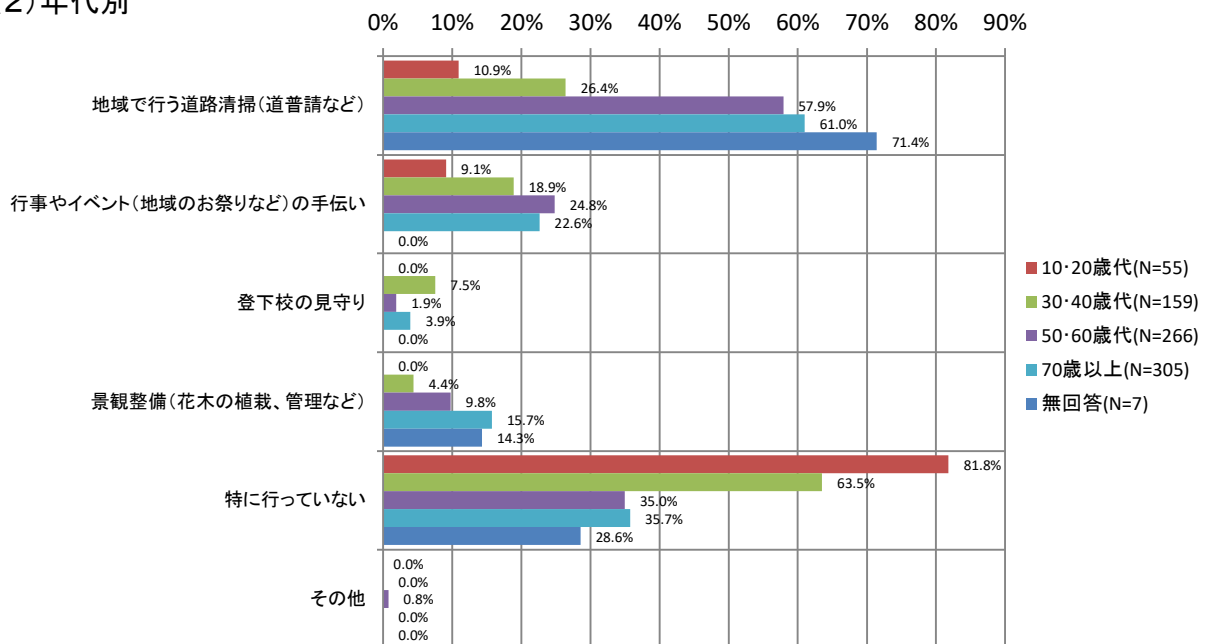


回答=792人、無回答=25人

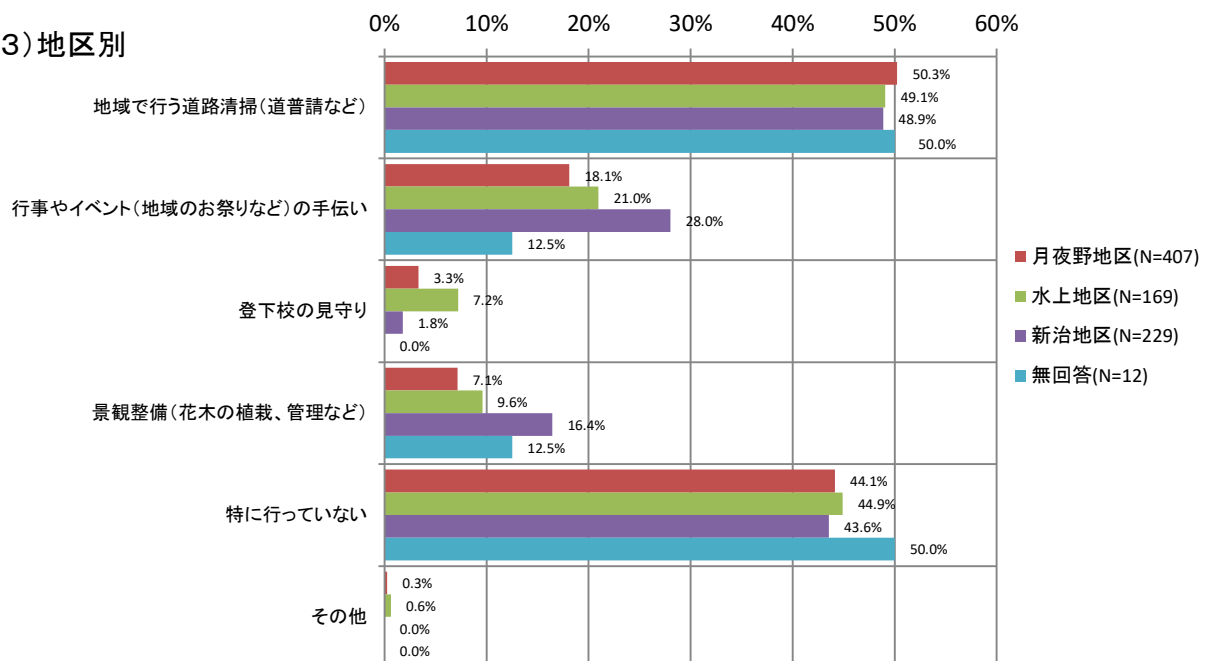
(1) 全体



(2) 年代別

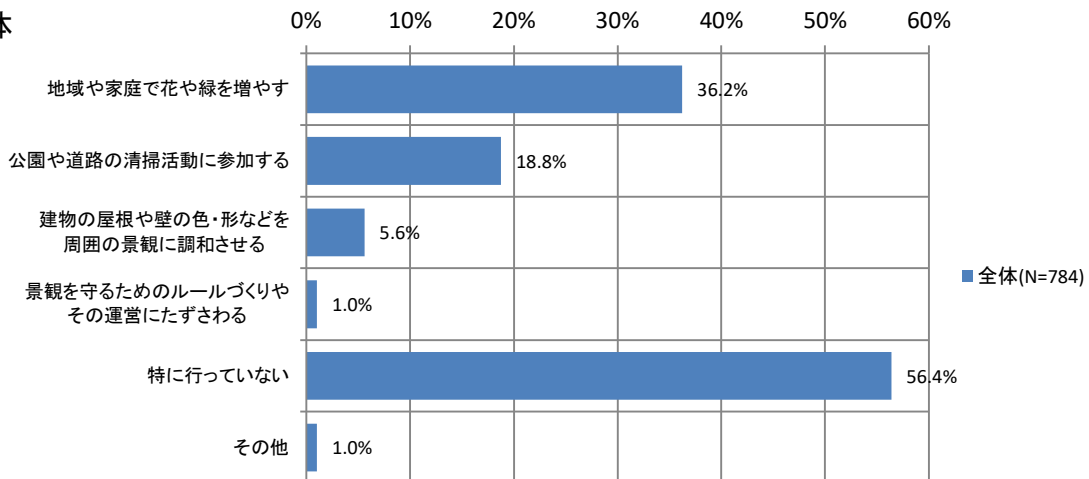


(3) 地区別

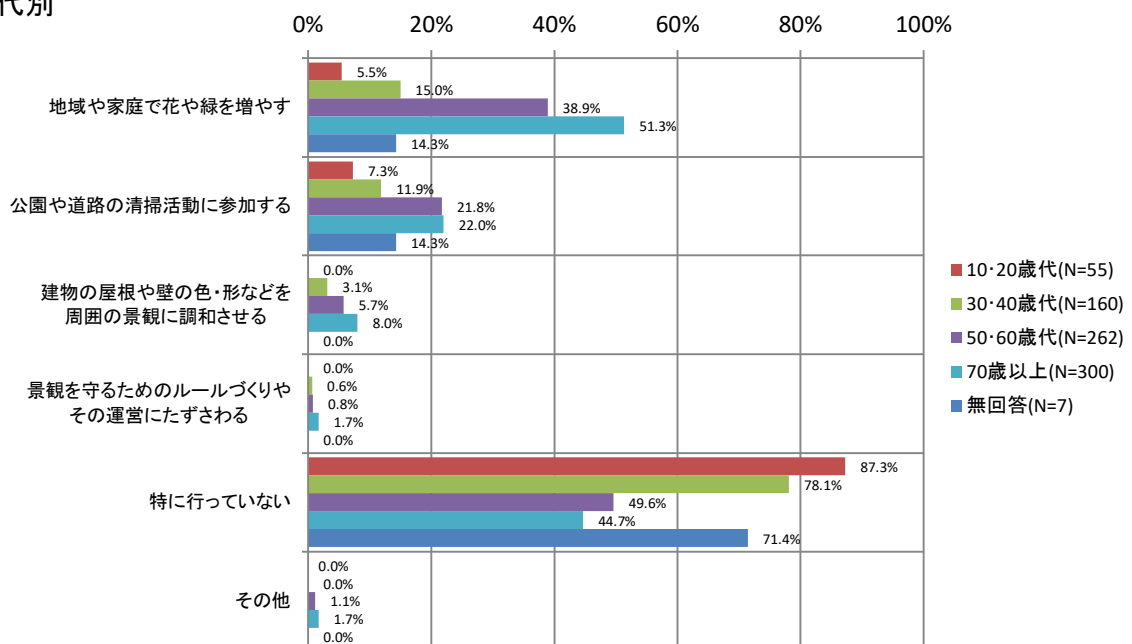


回答=784人、無回答=33人

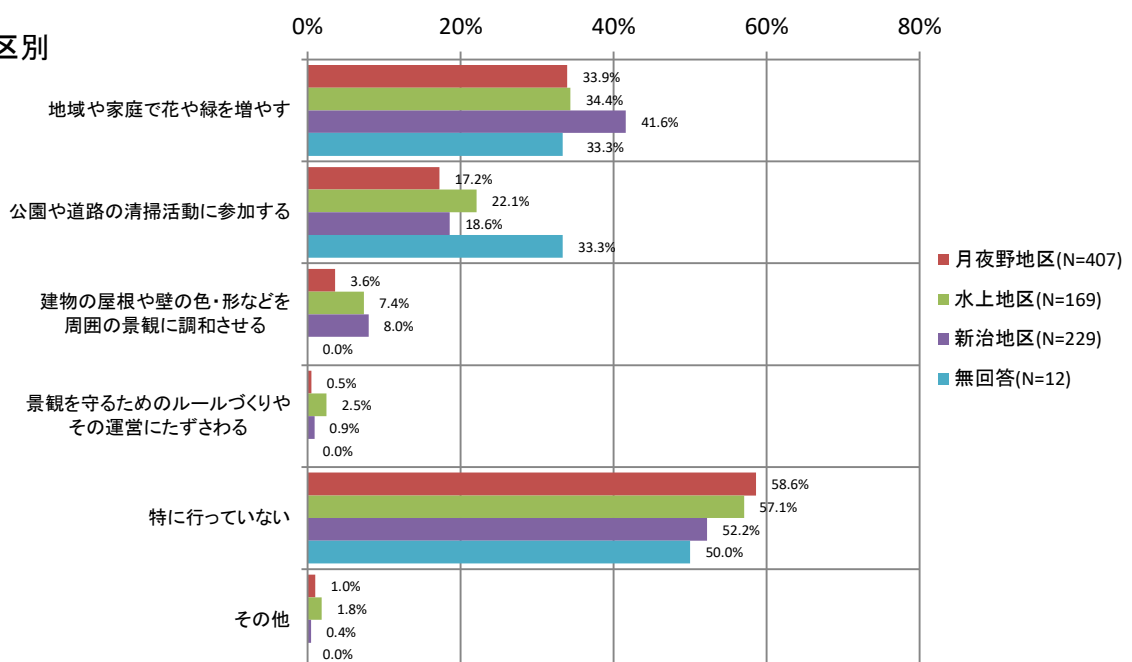
(1) 全体



(2) 年代別

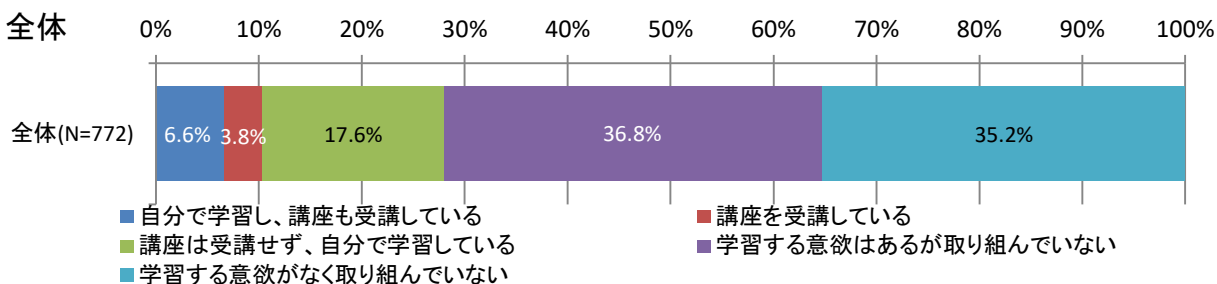


(3) 地区別

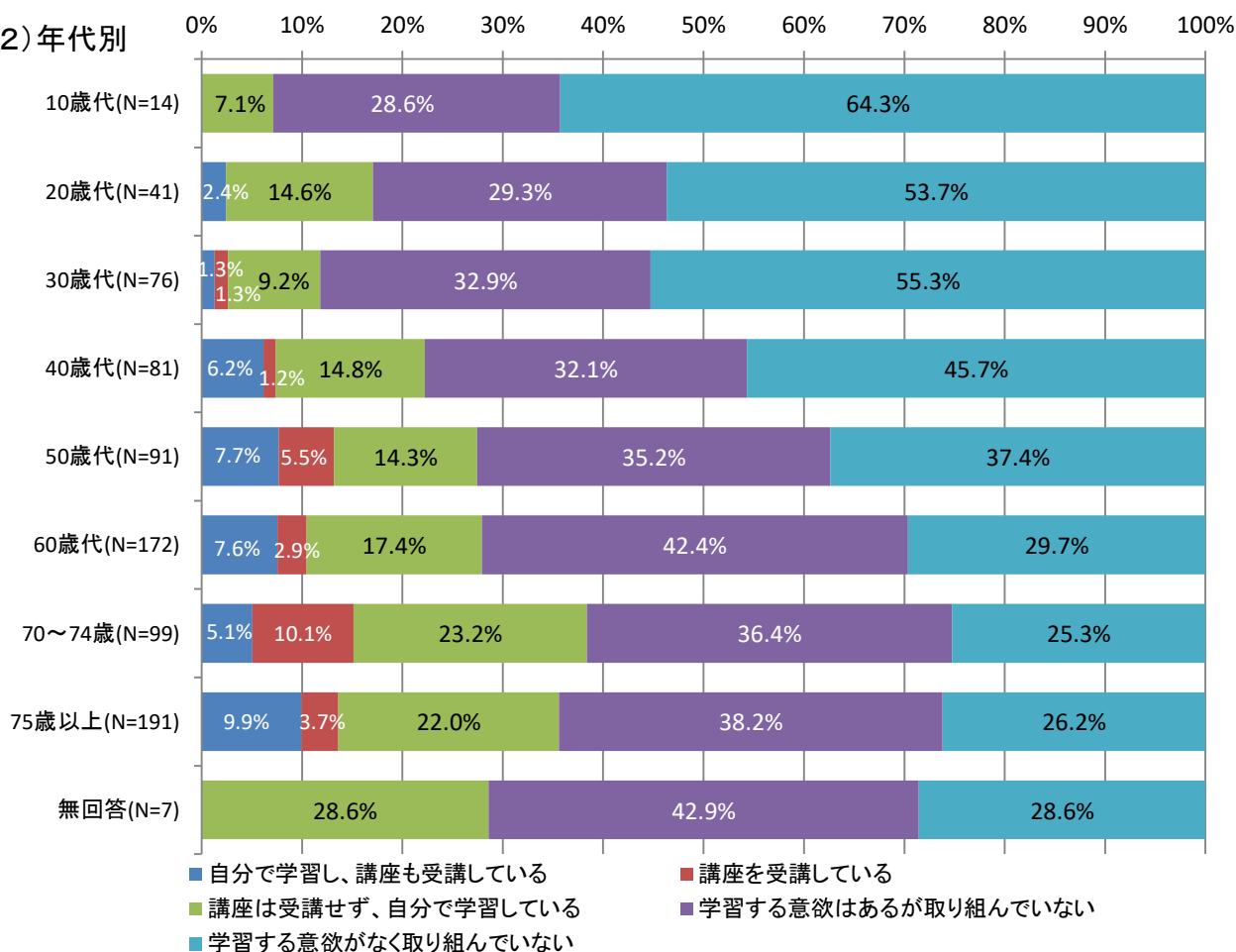


回答=772人、無回答・多重回答=45人

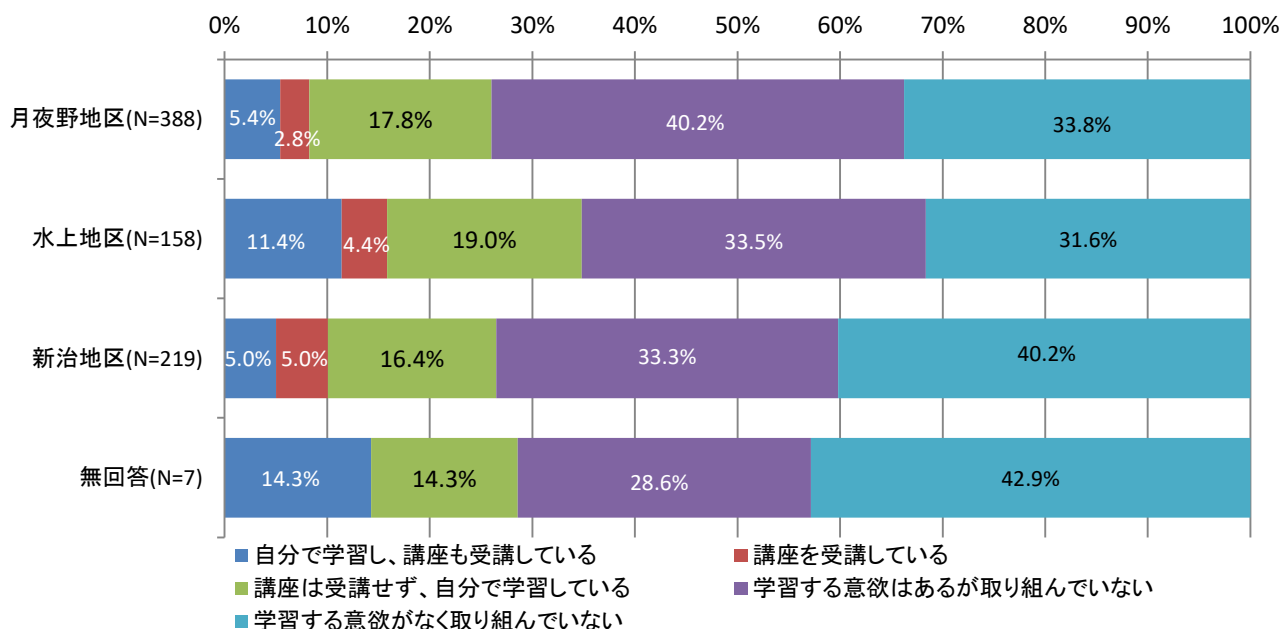
(1) 全体



(2) 年代別

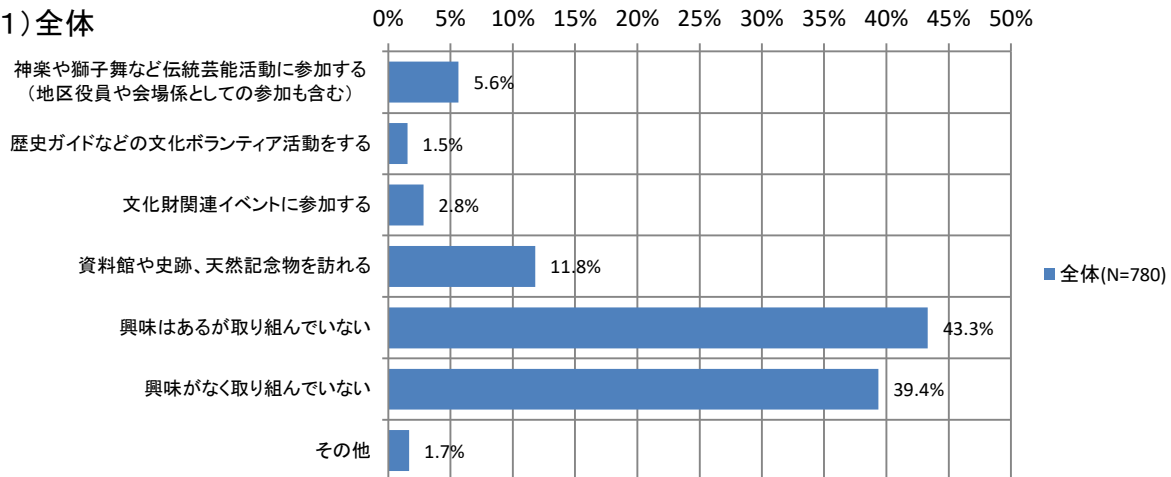


(3) 地区別

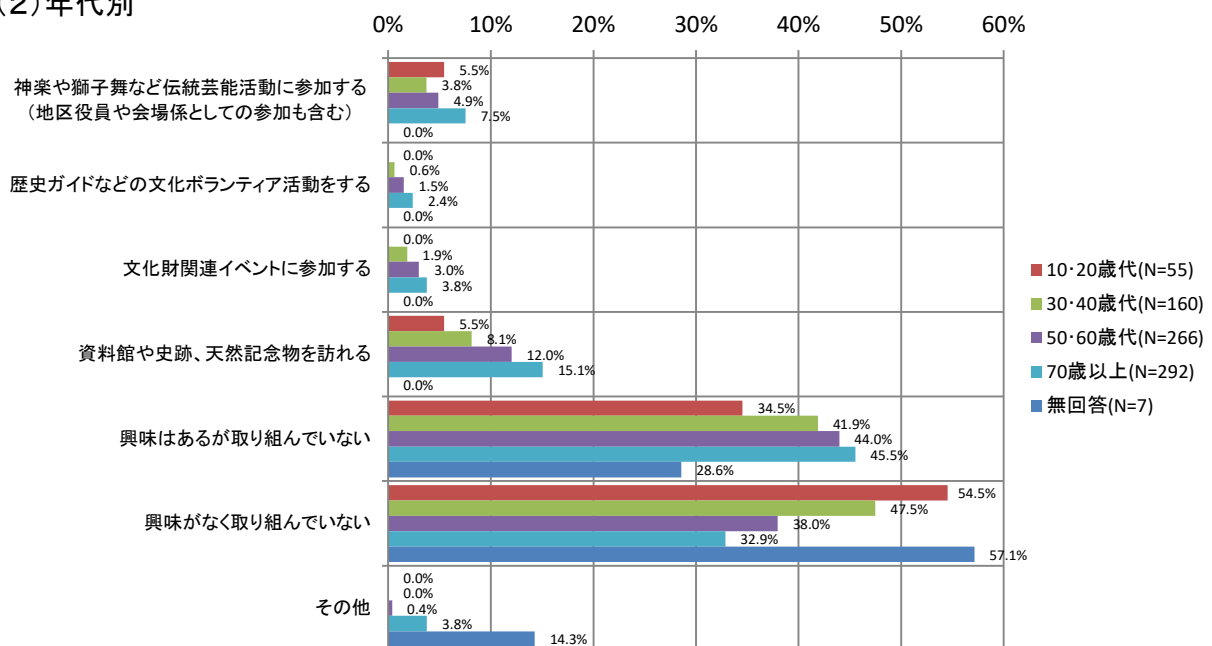


回答=780人、無回答=37人

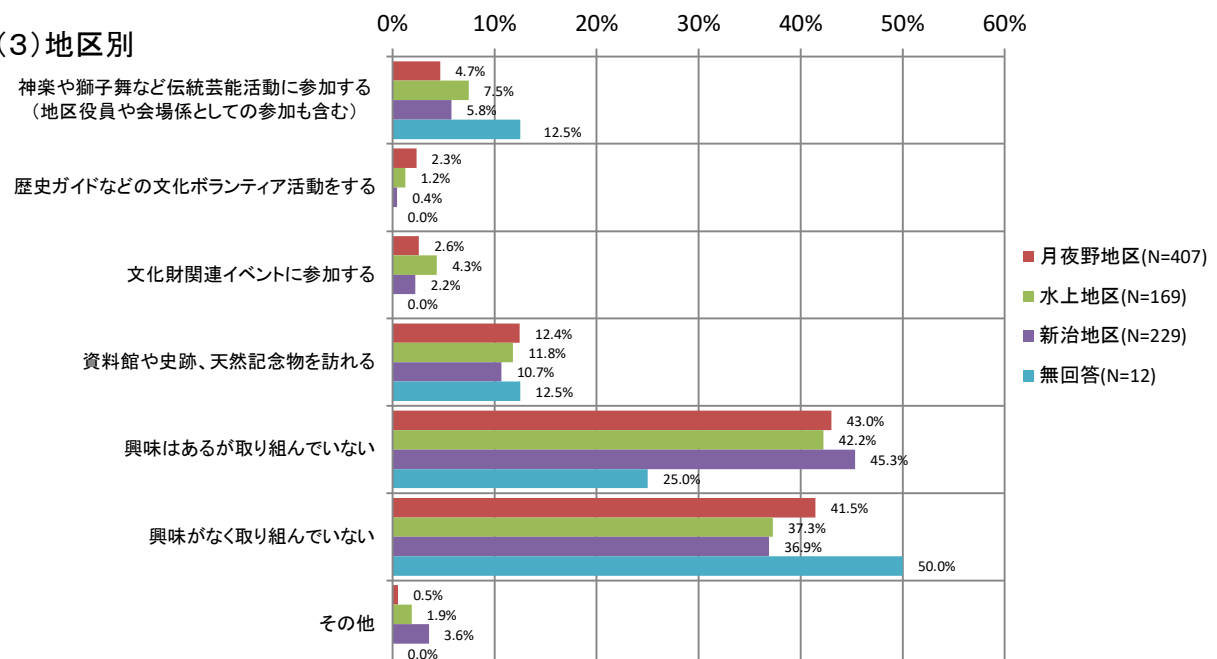
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別

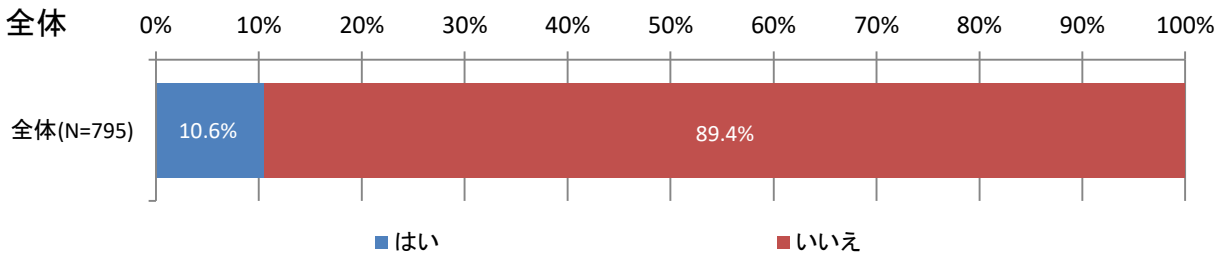


24-1

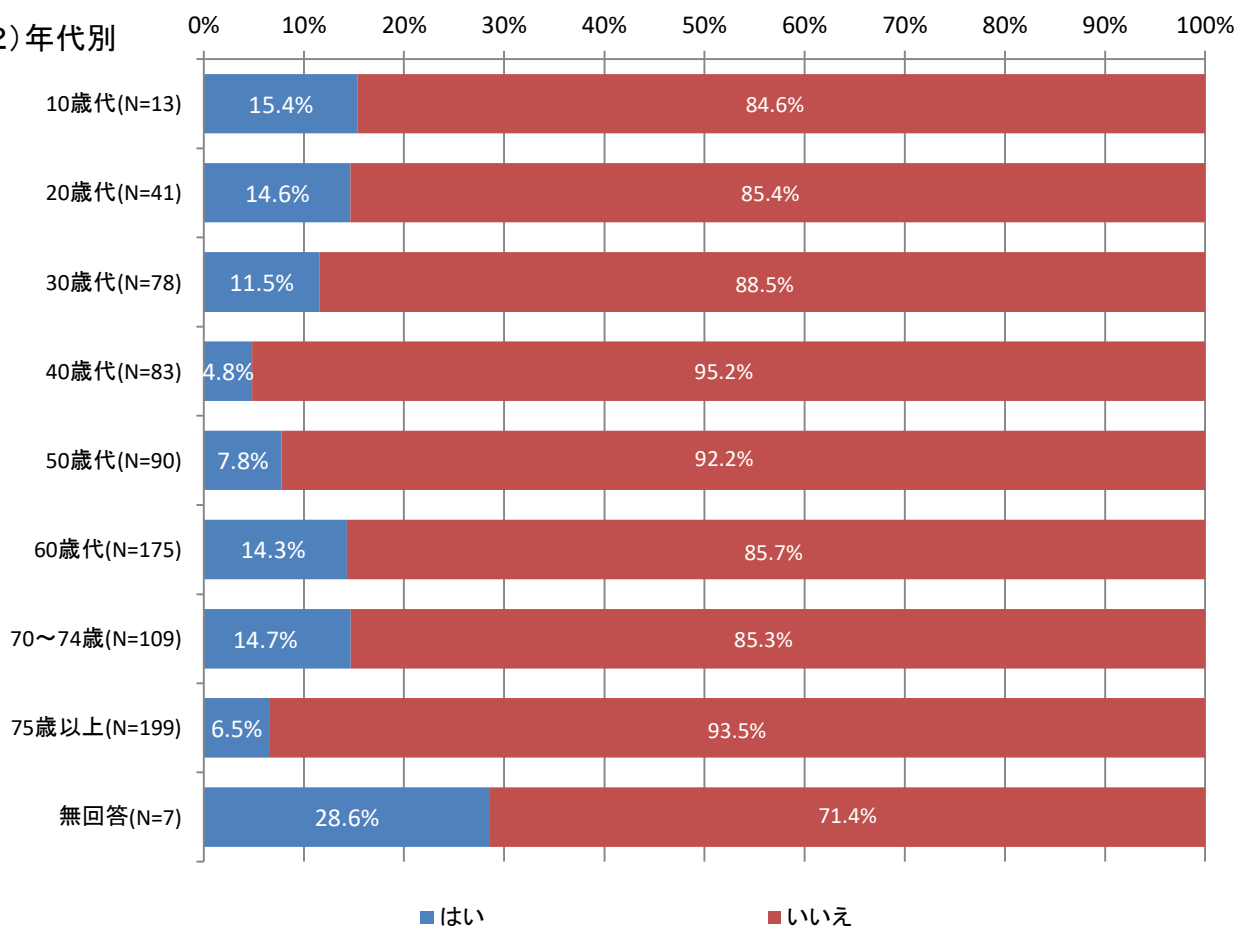
過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。

回答=795人、無回答・多重回答=22人

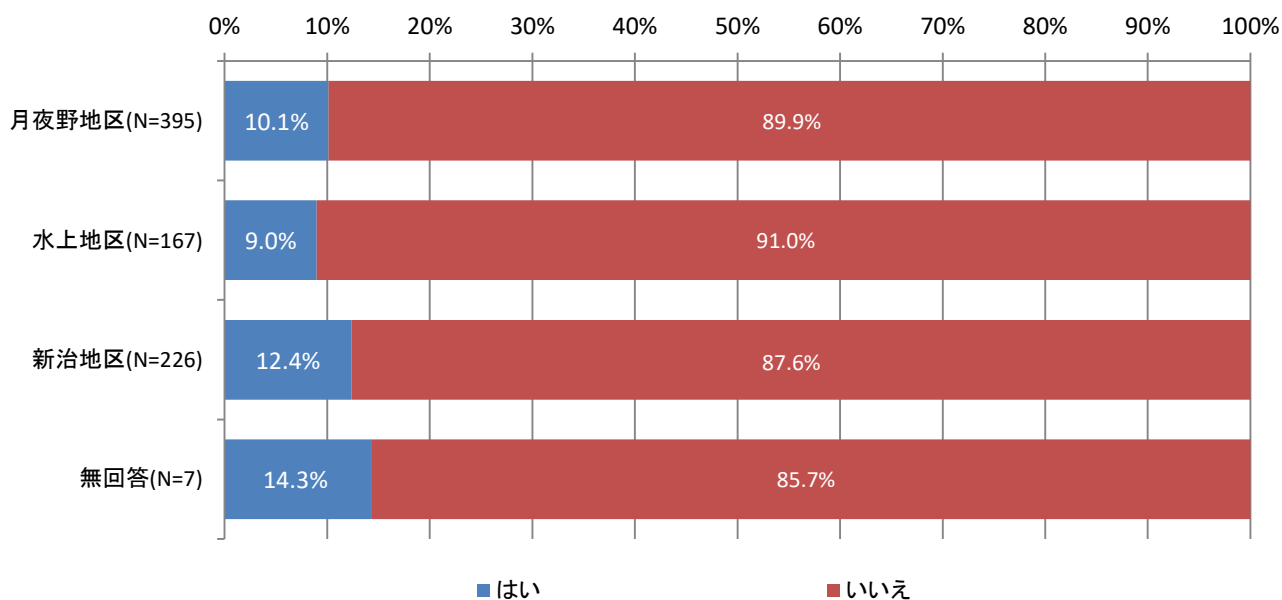
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別

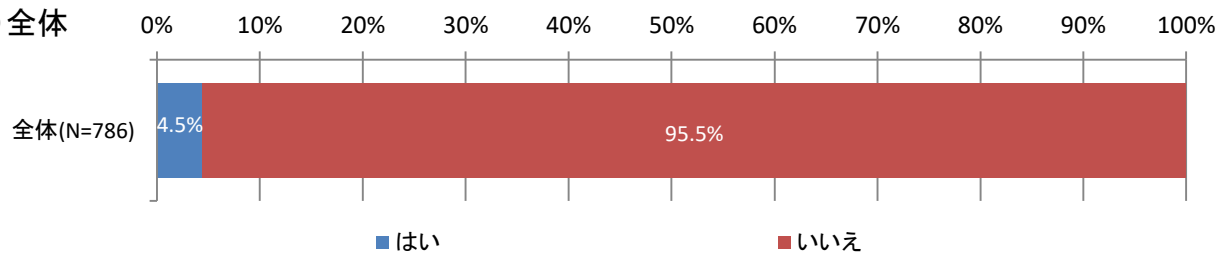


24-2

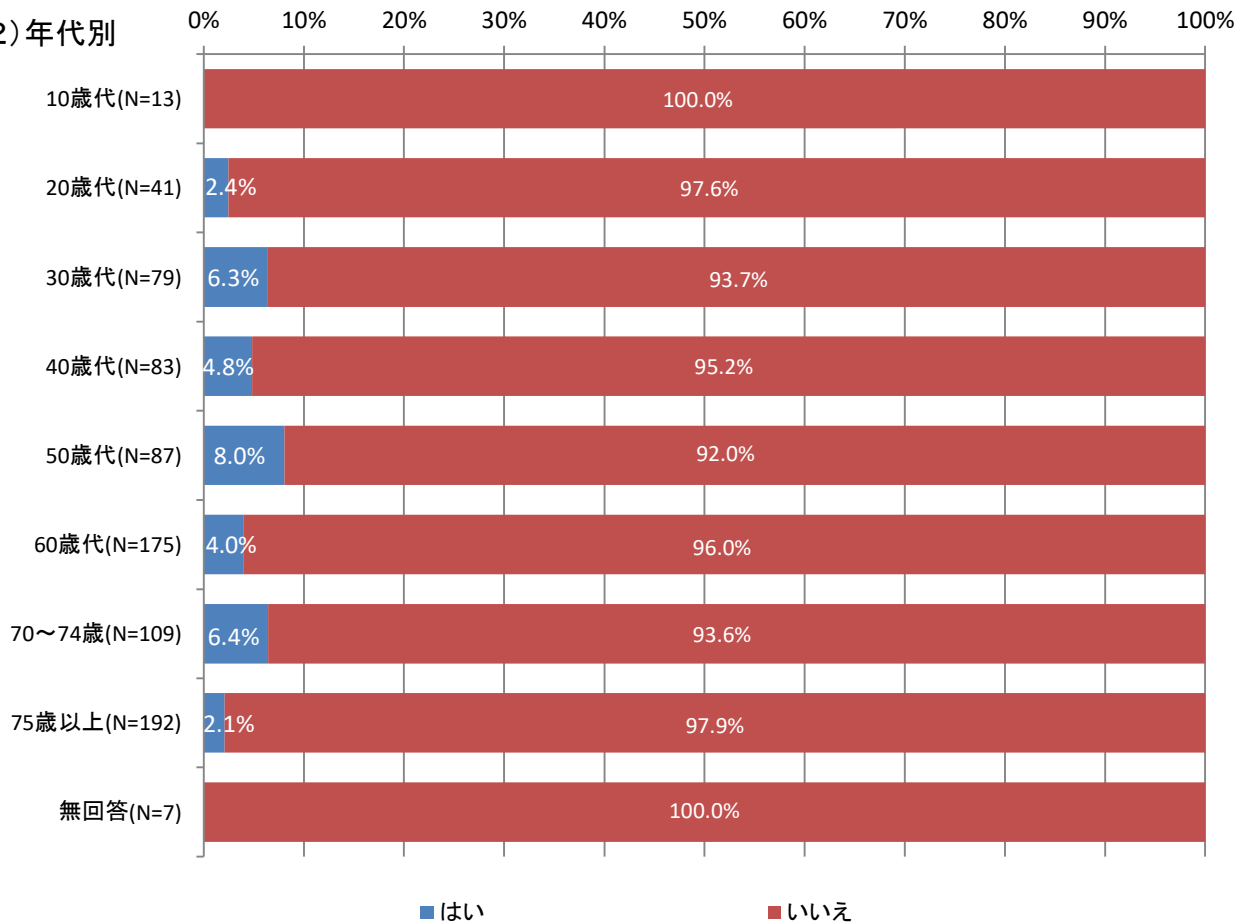
過去1年間に、差別や虐待、名誉毀損などの人権侵害を受けたことがありますか。

回答=786人、無回答・多重回答=31人

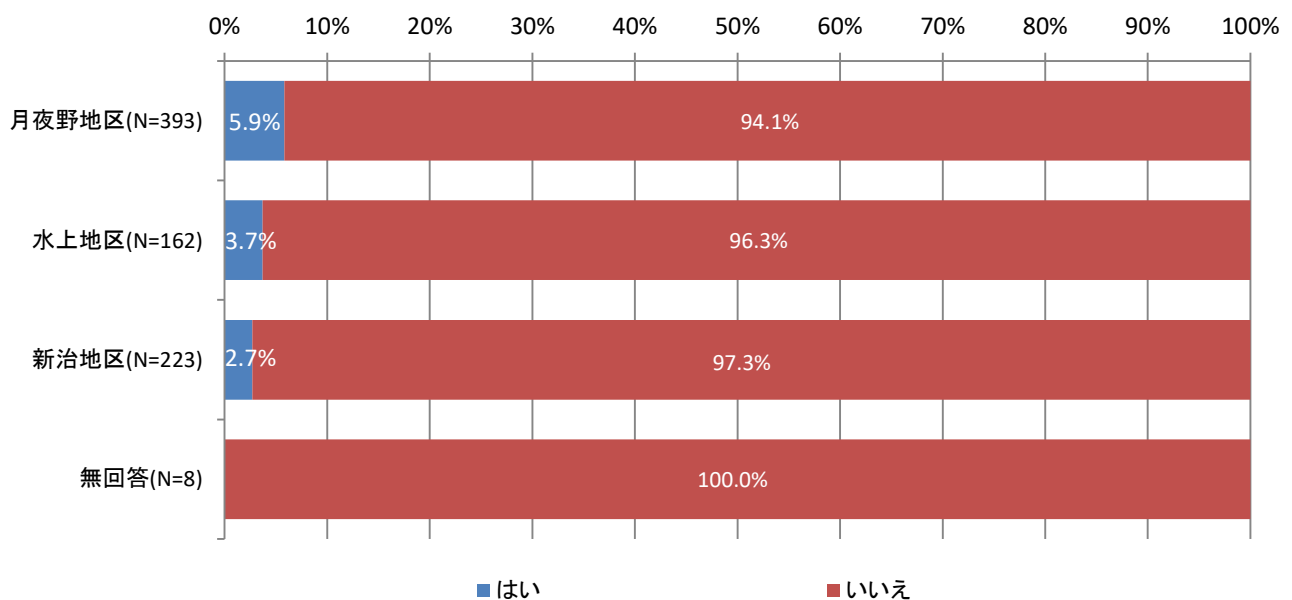
(1) 全体



(2) 年代別

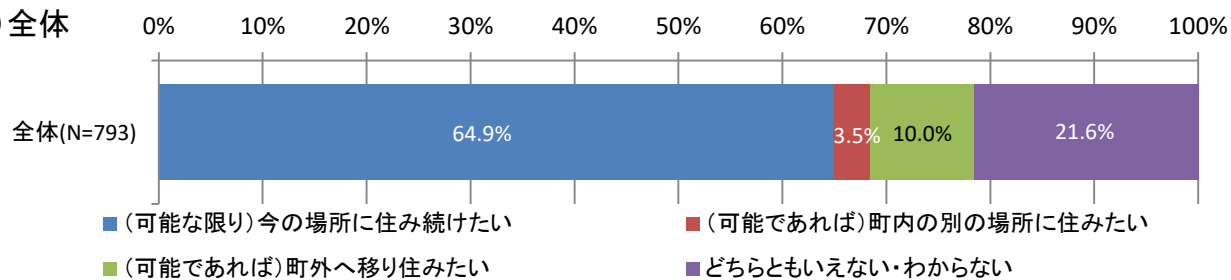


(3) 地区別

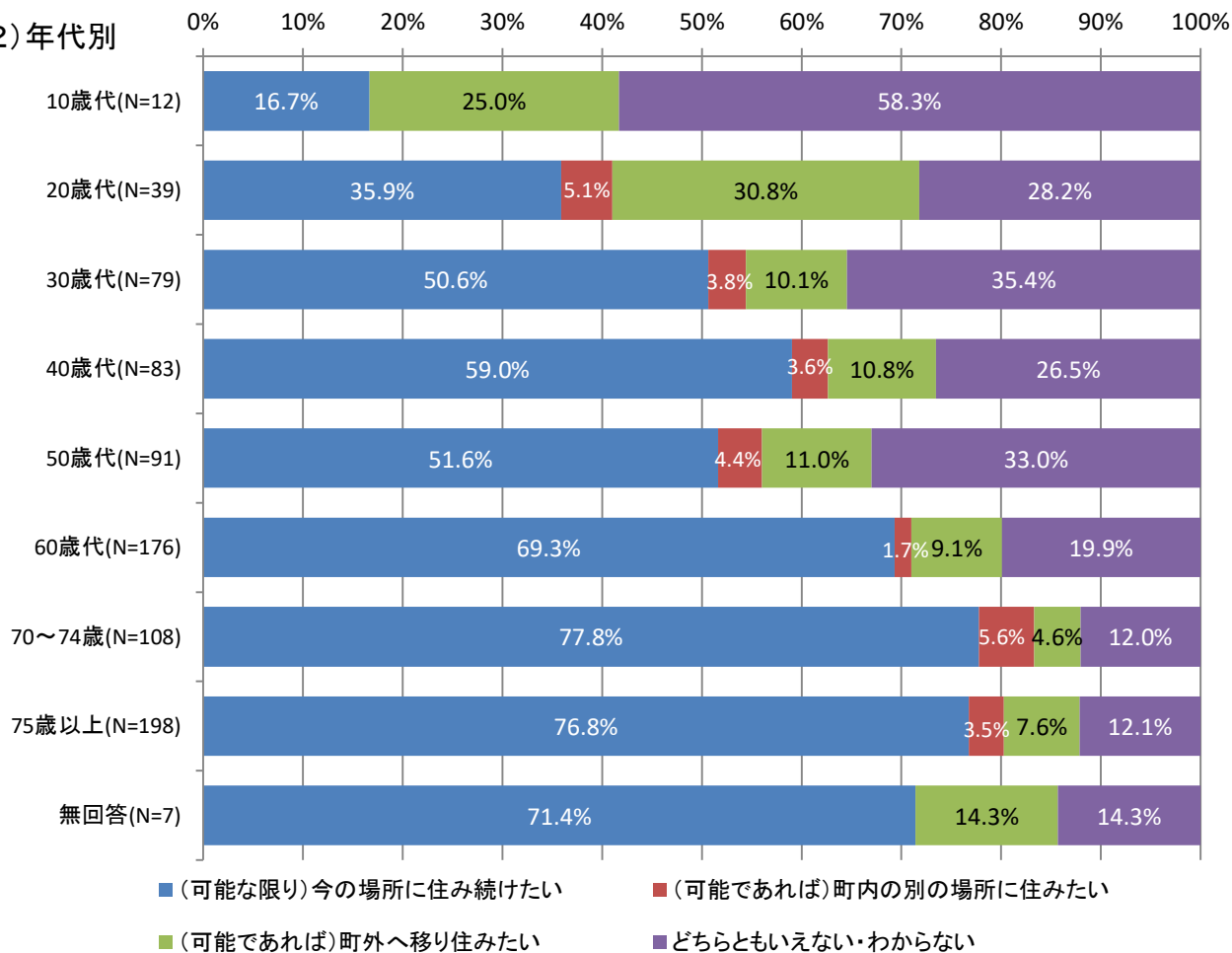


回答=793人、無回答・多重回答=24人

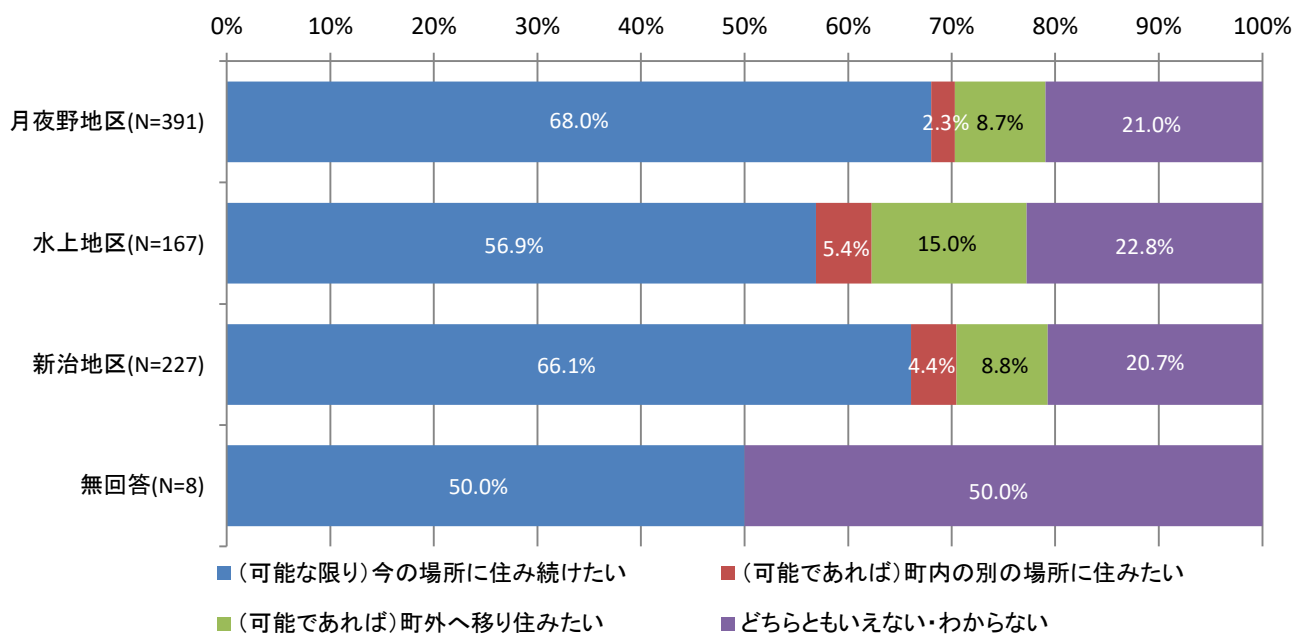
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別

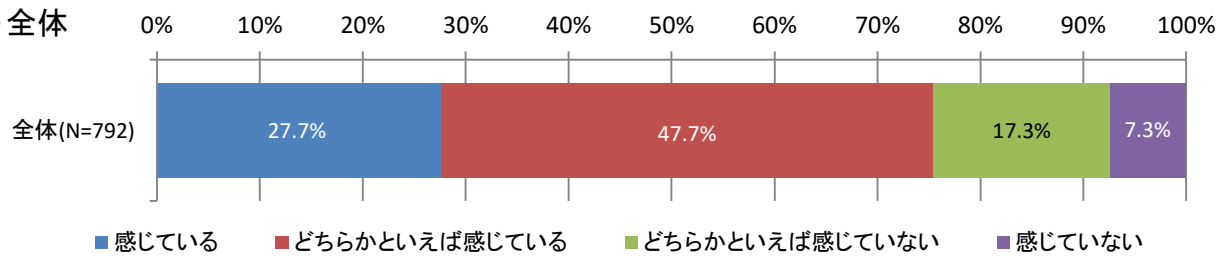


26-1

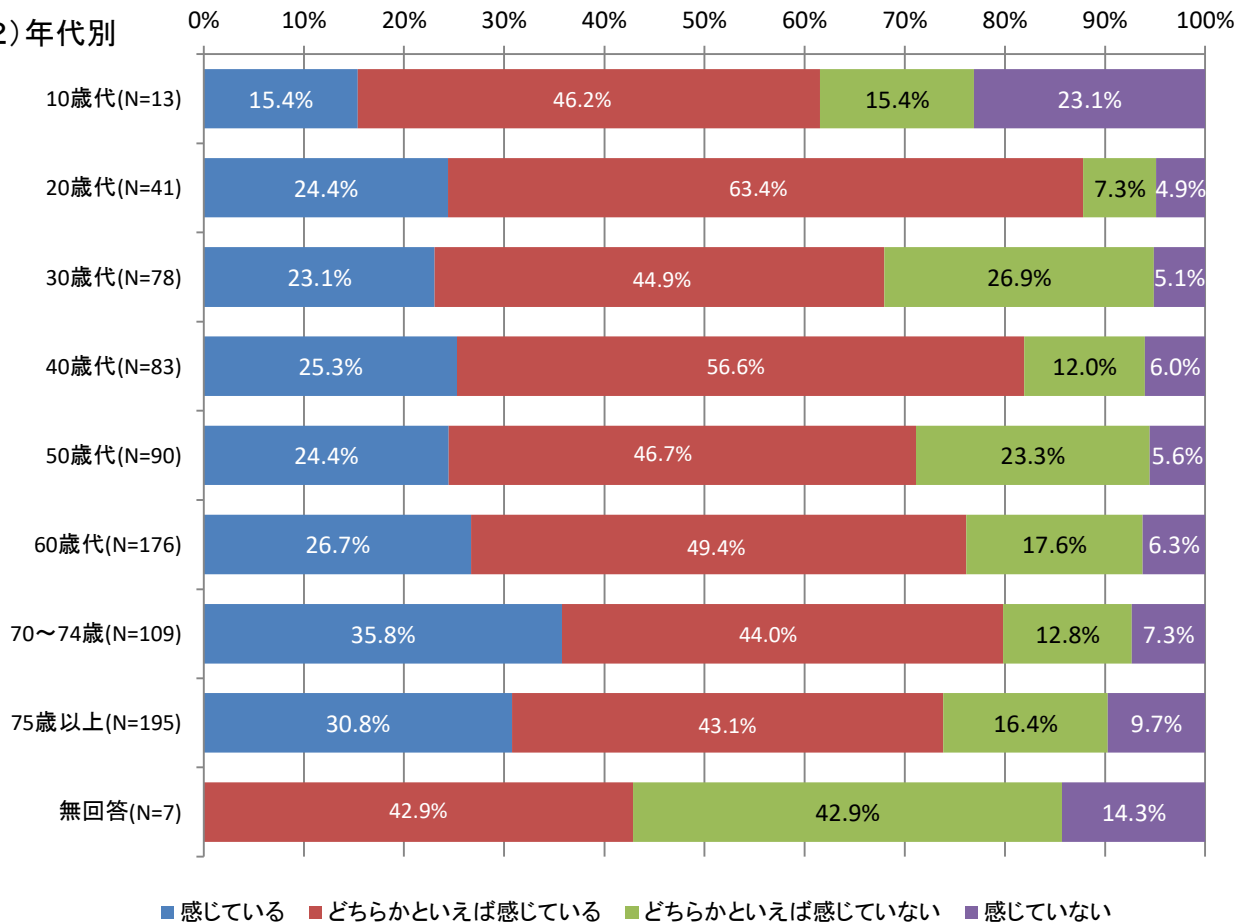
日常生活で生きがいを感じていますか。

回答=792人、無回答・多重回答=25人

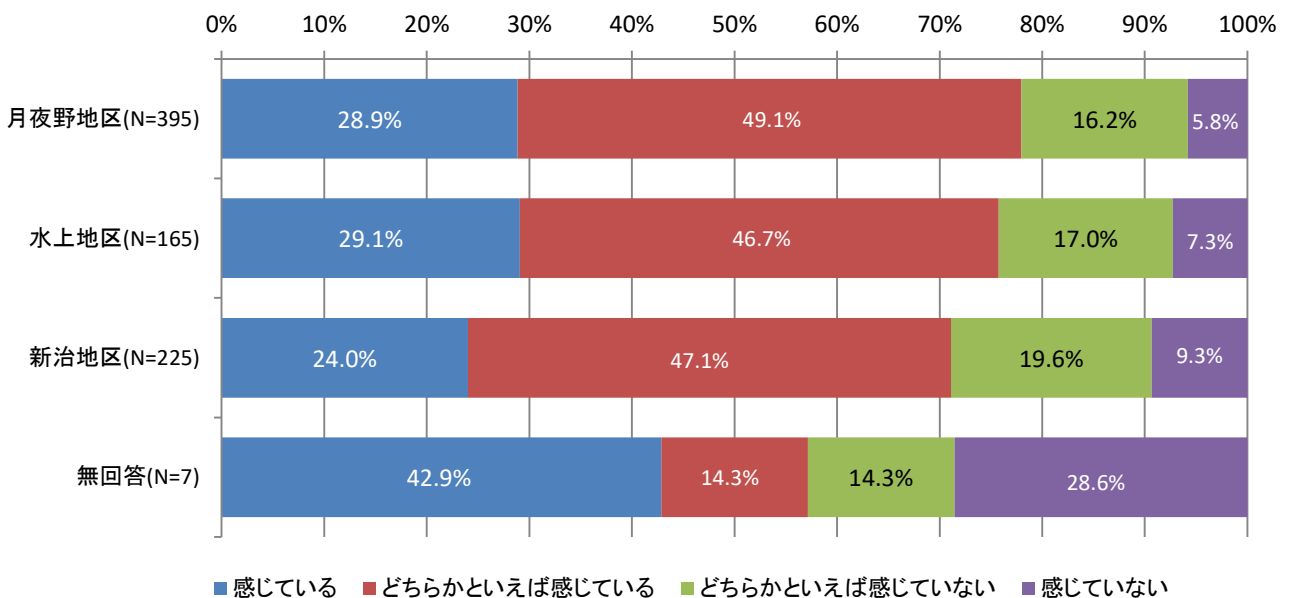
(1) 全体



(2) 年代別



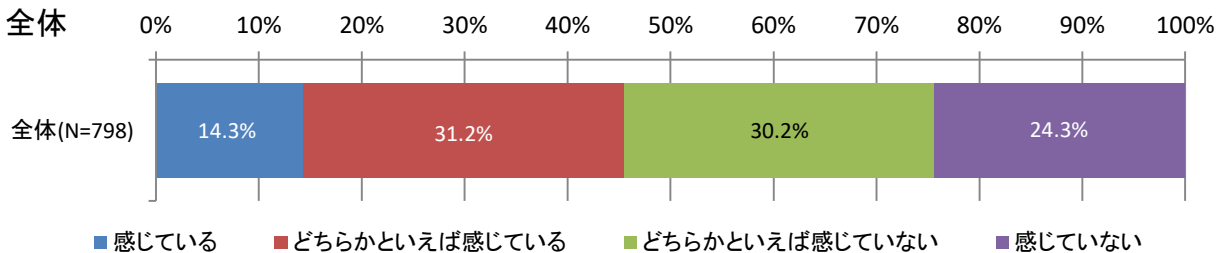
(3) 地区別



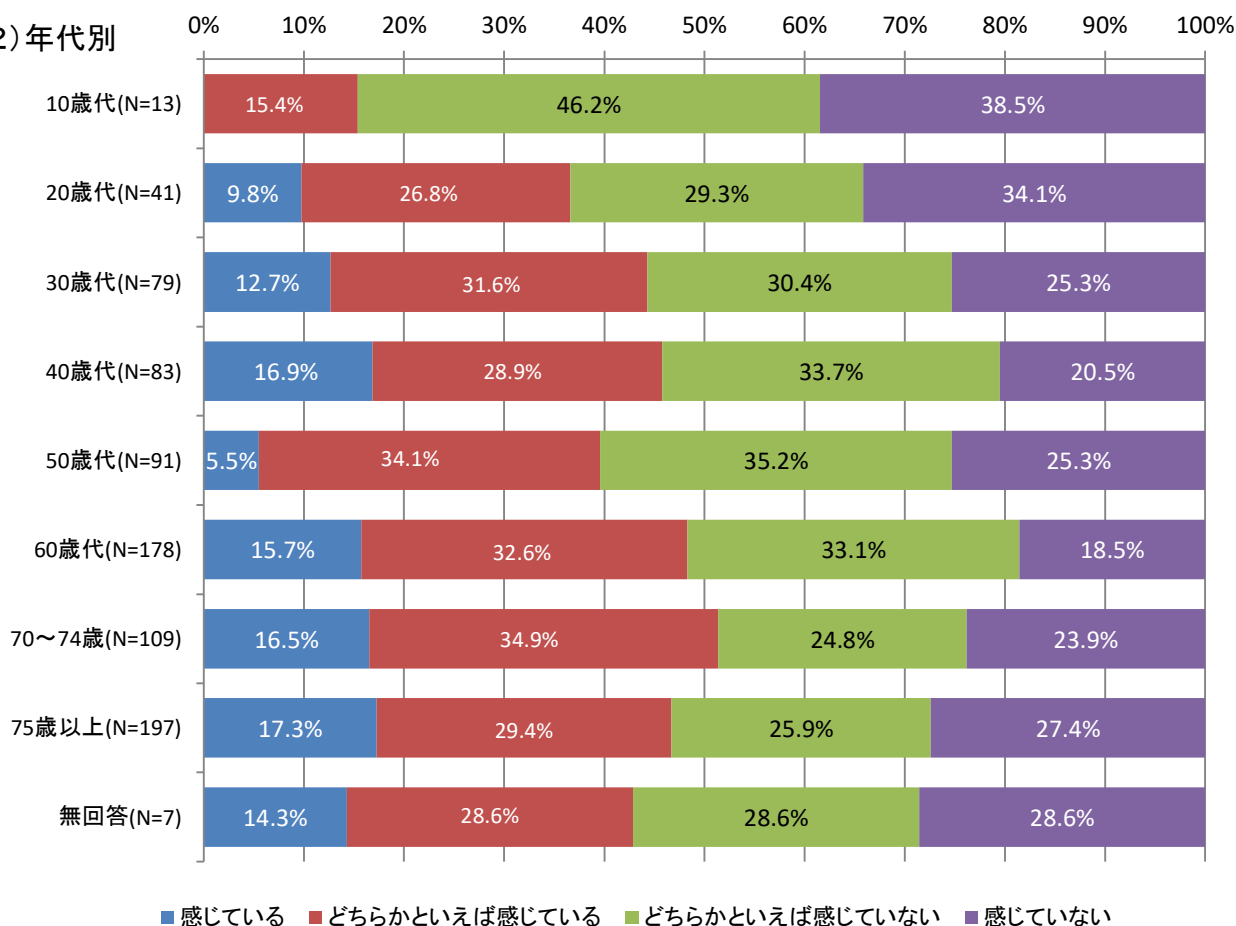
26-2 身近で犯罪にあう不安を感じていますか。

回答=798人、無回答・多重回答=19人

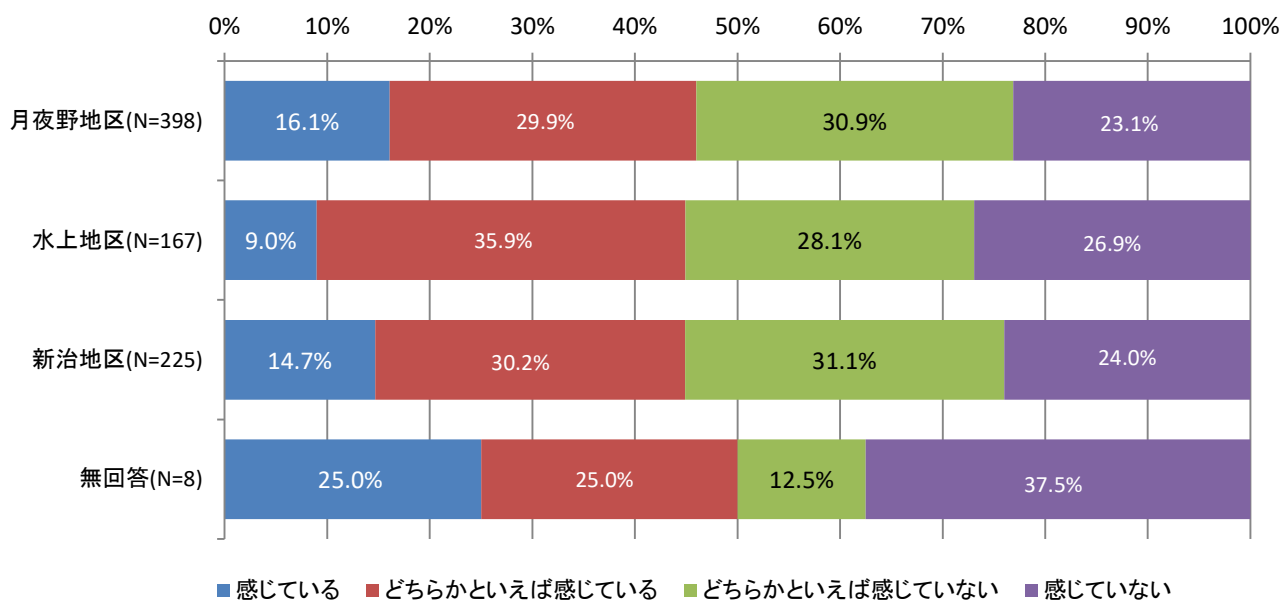
(1) 全体



(2) 年代別



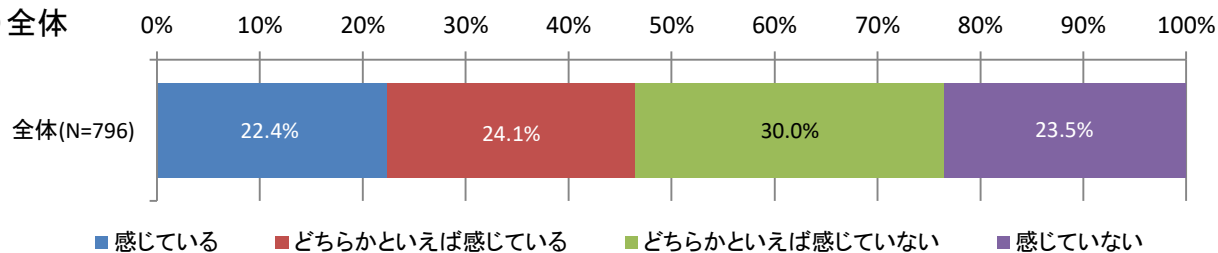
(3) 地区別



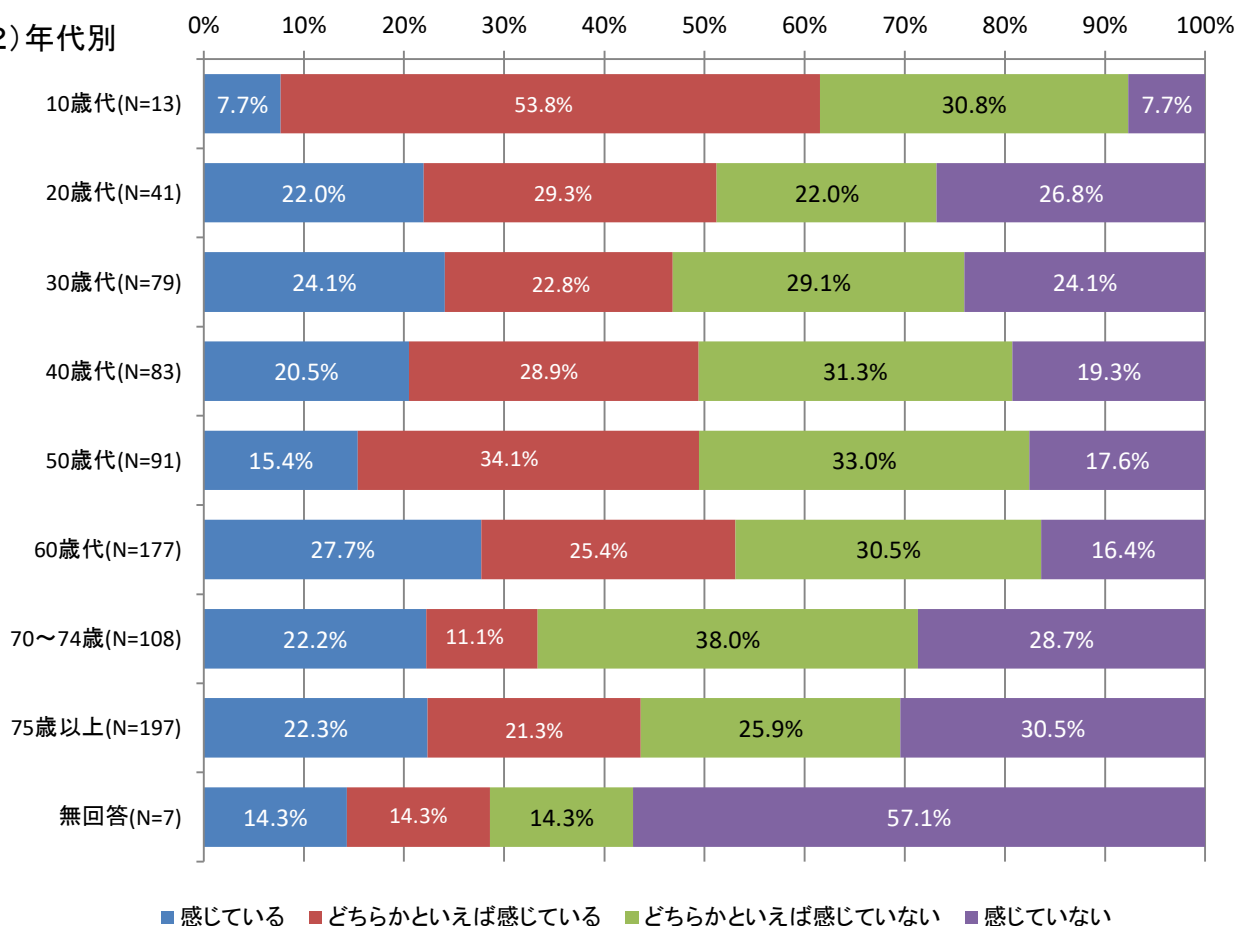
26-3 町内の道路に不便を感じていますか。

回答=796人、無回答・多重回答=21人

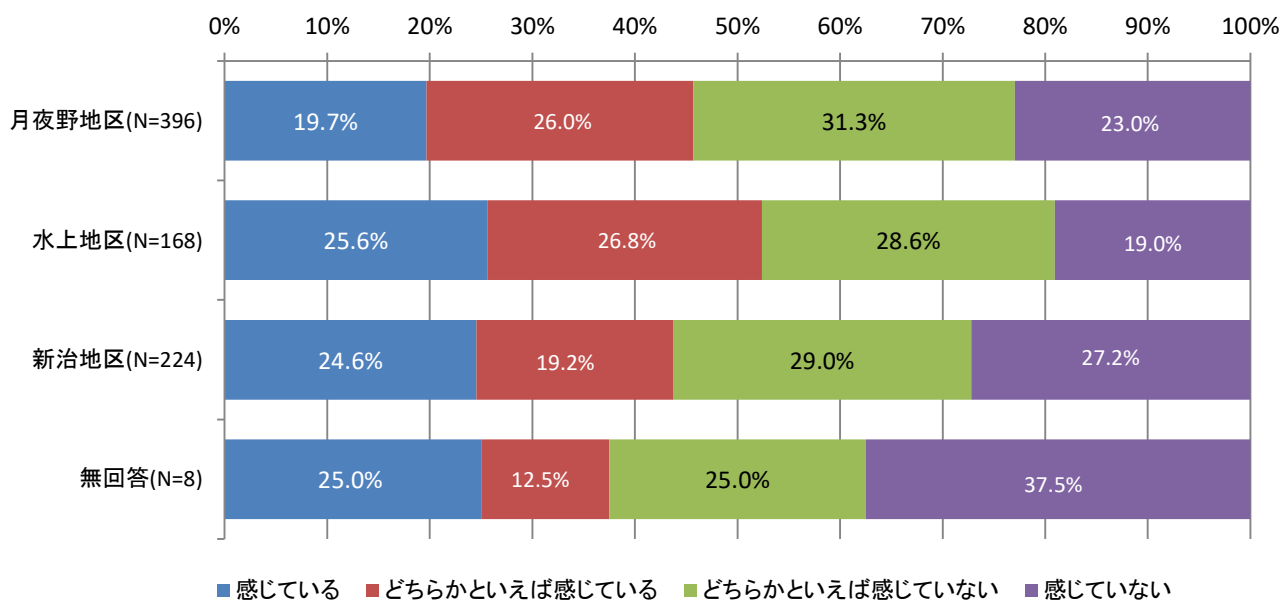
(1) 全体



(2) 年代別



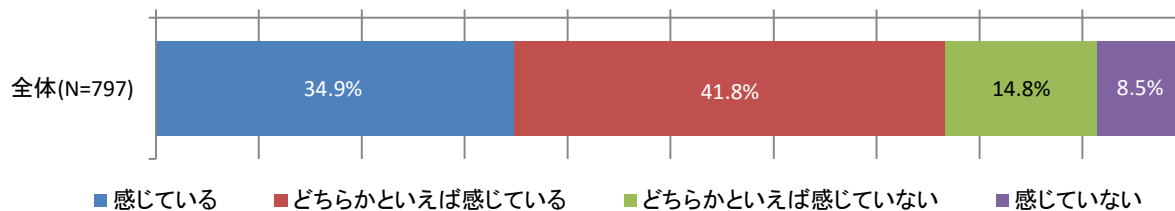
(3) 地区別



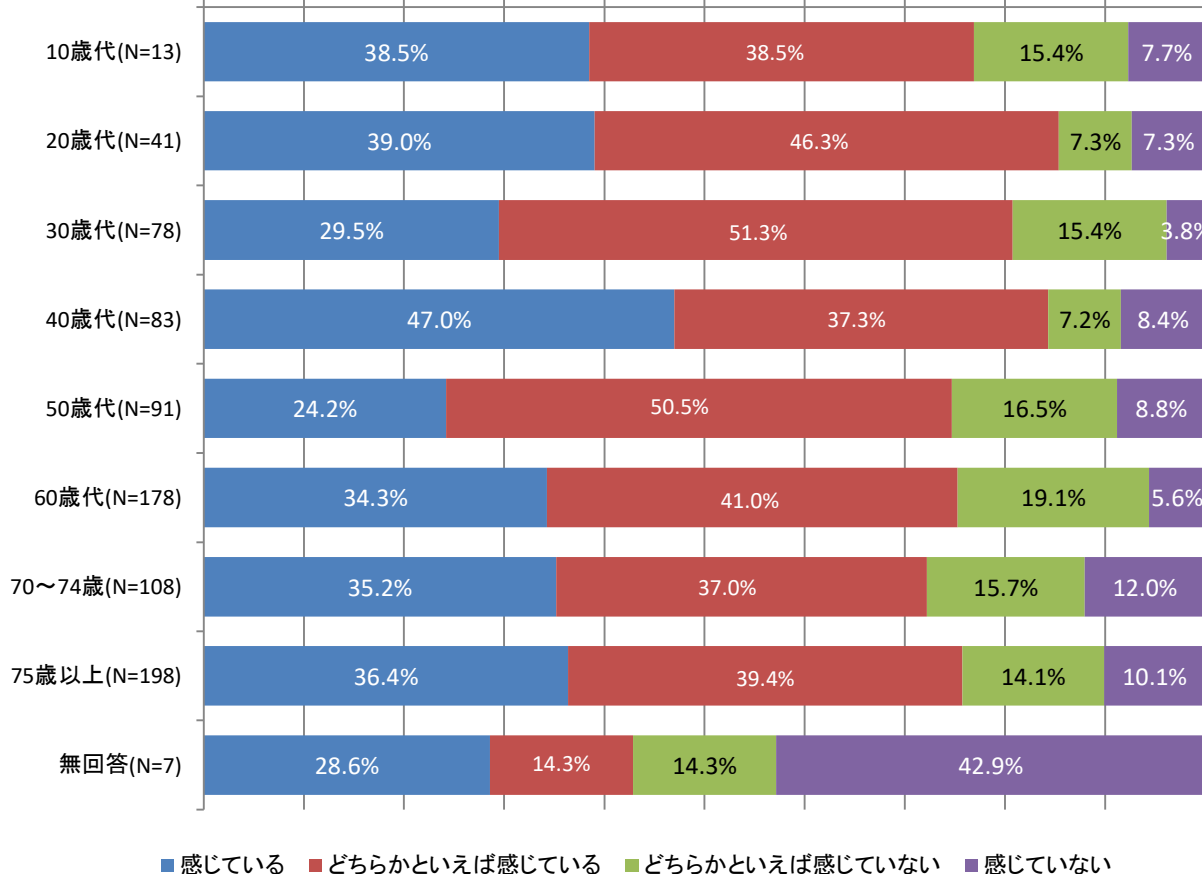
26-4 自分の住む地域が美しい景観であると感じていますか。

回答=797人、無回答・多重回答=20人

(1) 全体 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

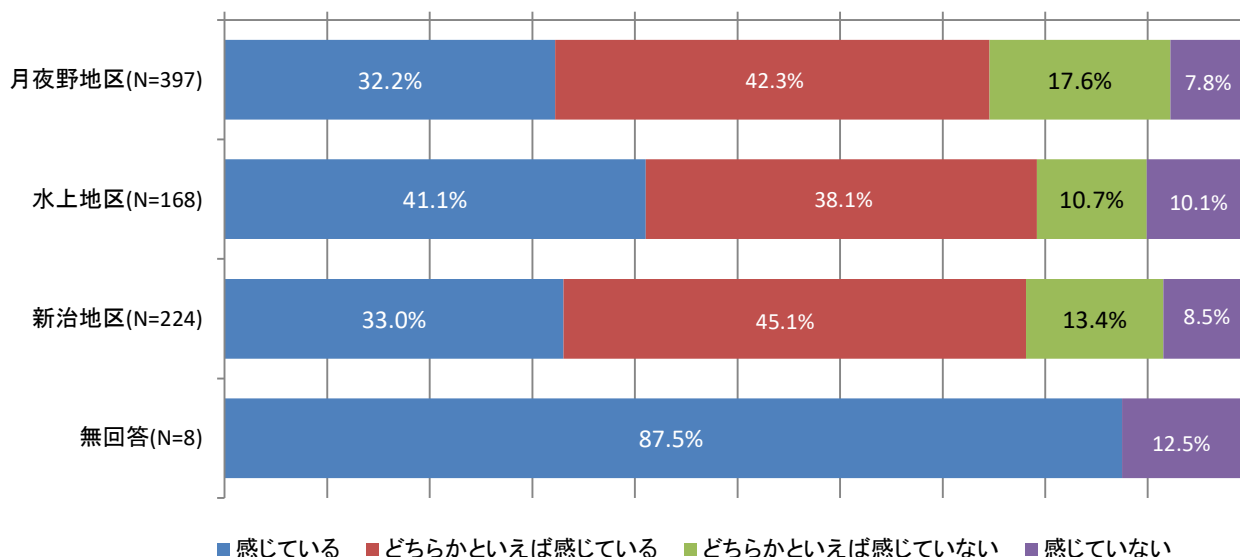


(2) 年代別 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(3) 地区別

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

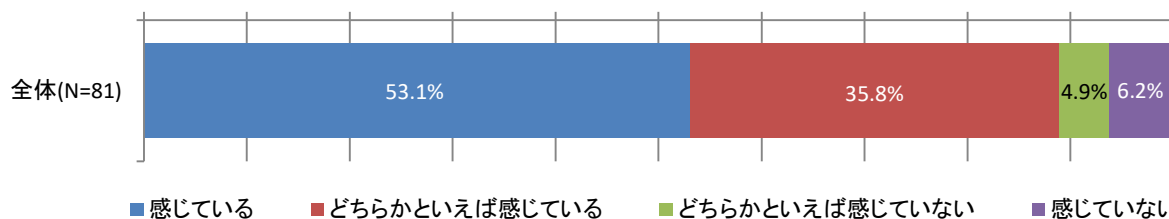


26-5

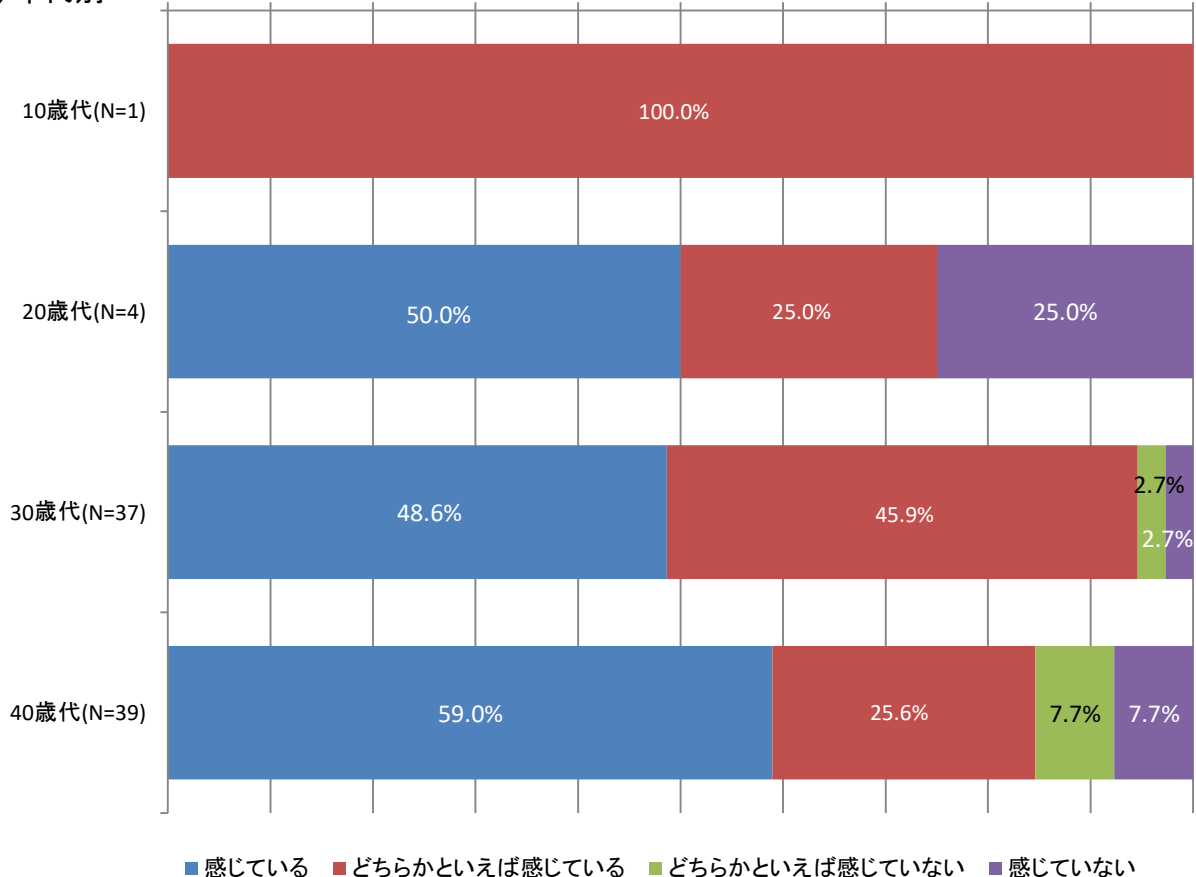
自分のこどもが心身ともに健やかに育っていると感じますか。

回答=81人、無回答・多重回答=136人

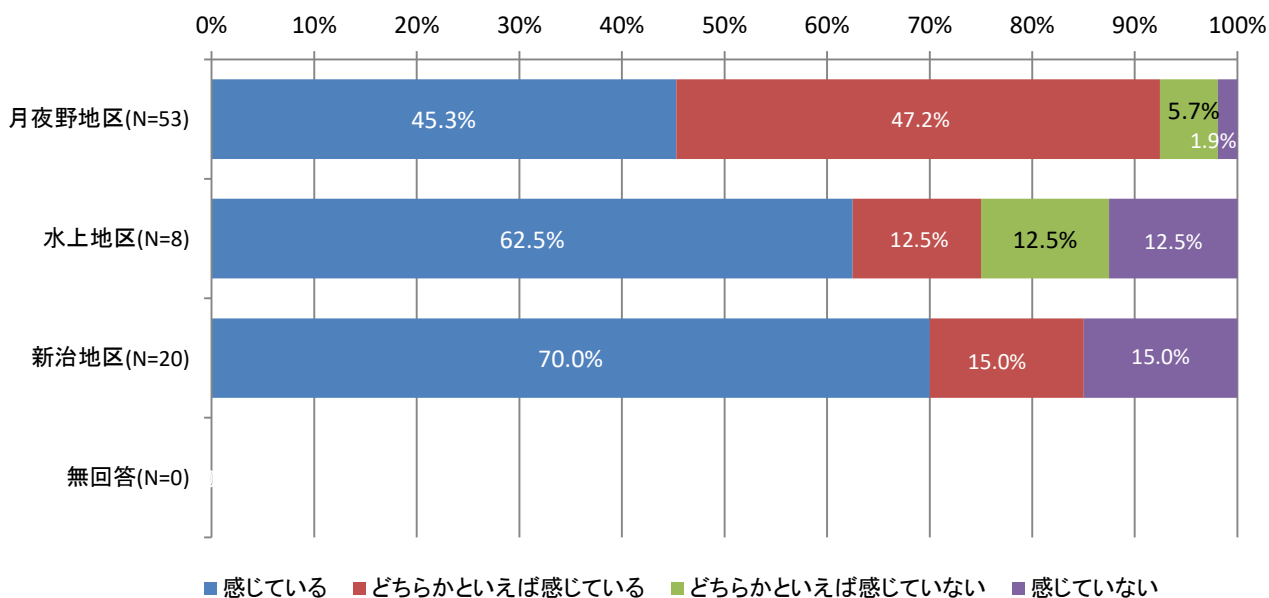
(1) 全体 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(2) 年代別 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

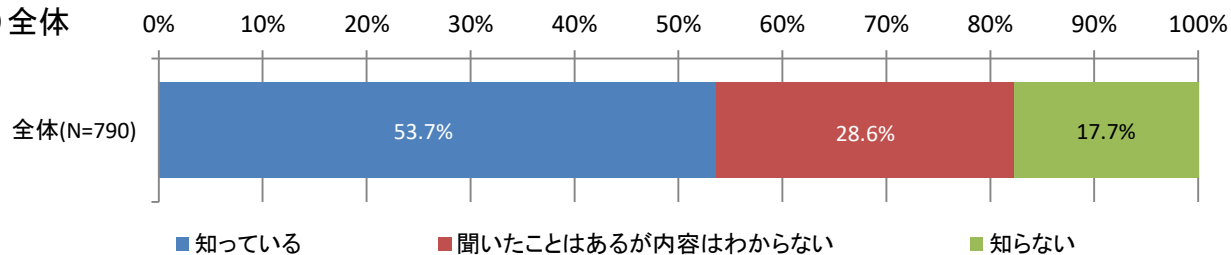


(3) 地区別

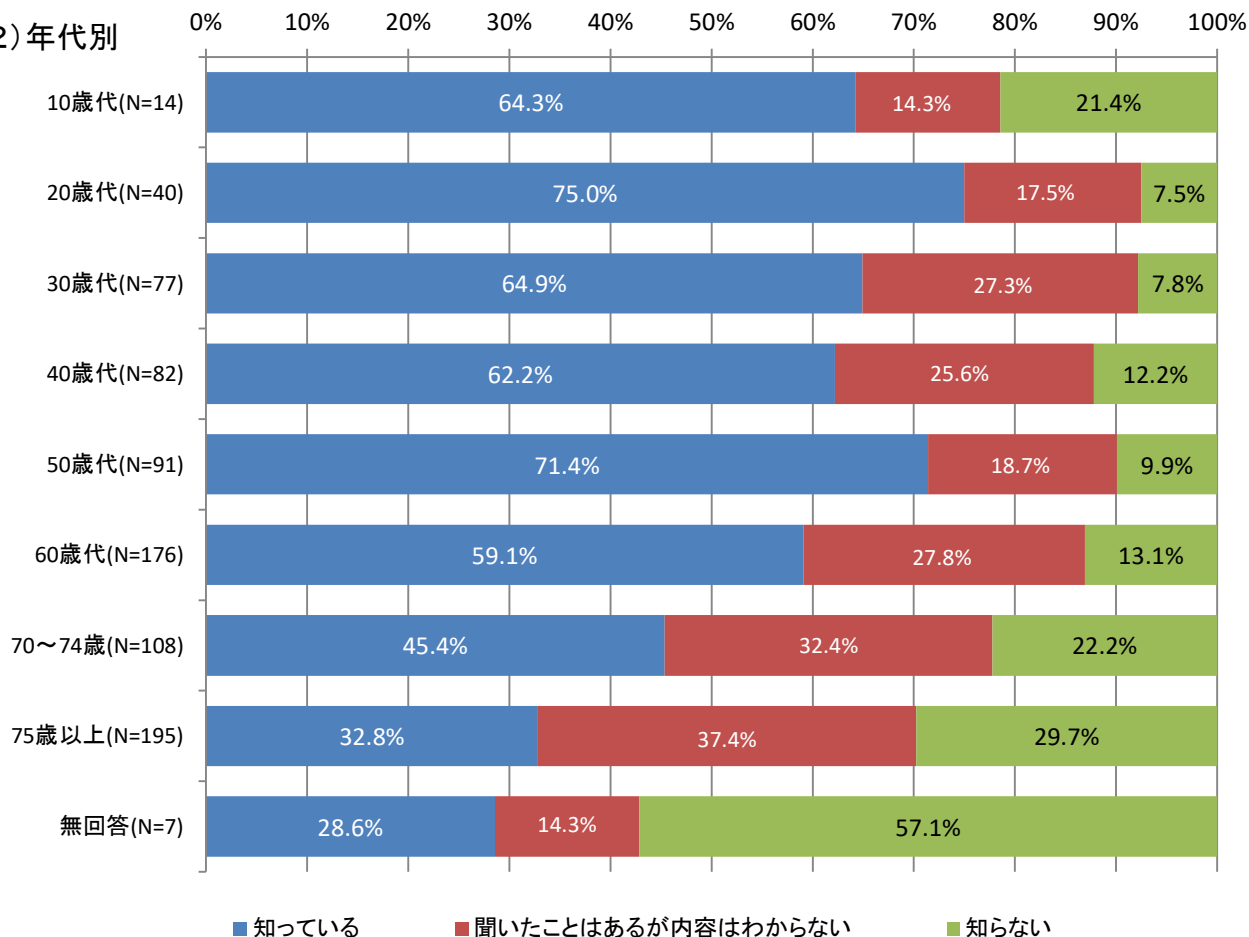


回答=790人、無回答・多重回答=27人

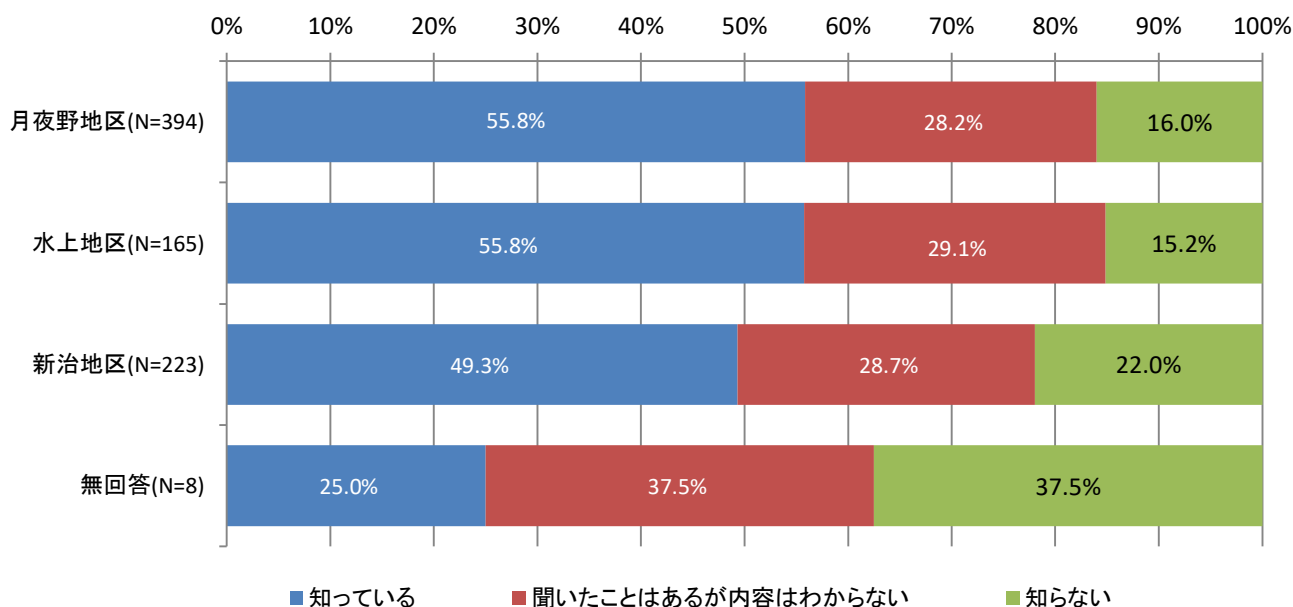
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別



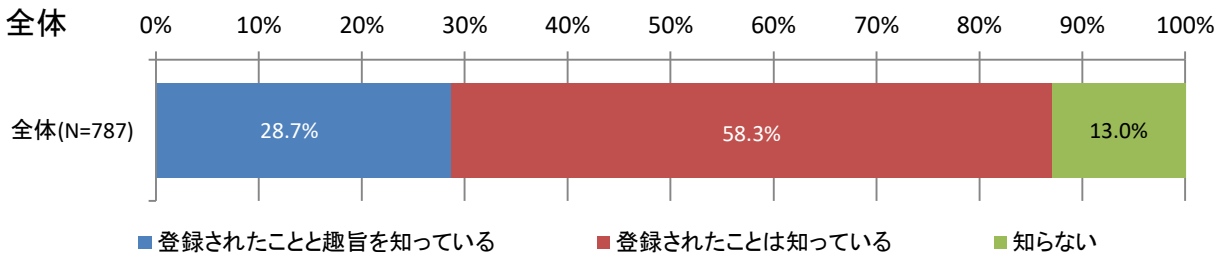
あなたは、町が「ユネスコエコパーク」へ登録されたことを知っていますか。

28

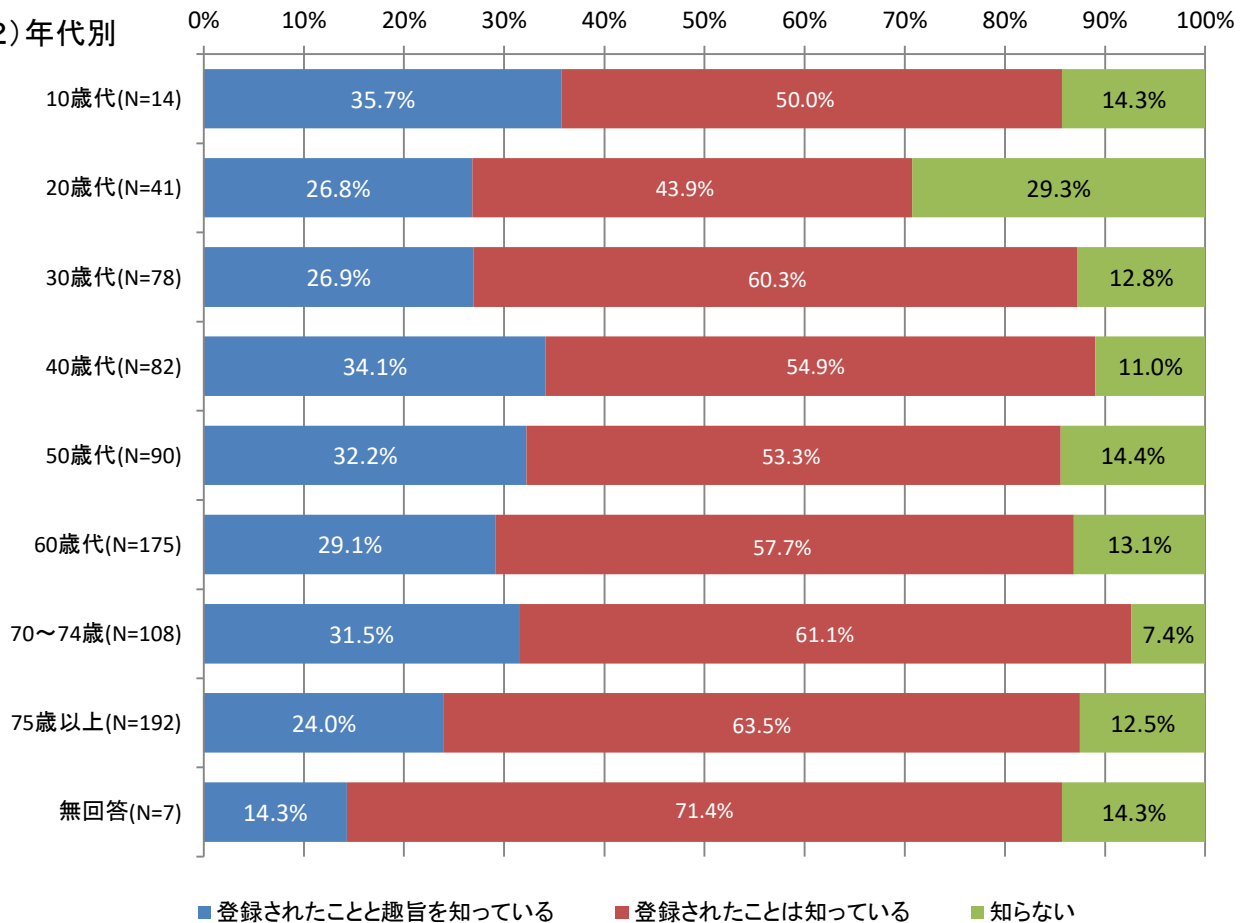
また、「ユネスコエコパーク」の趣旨（自然と人間社会が共生する持続可能なまちづくりに率先して取り組む地域をユネスコが認定する）についても知っていますか。

回答=787人、無回答・多重回答=30人

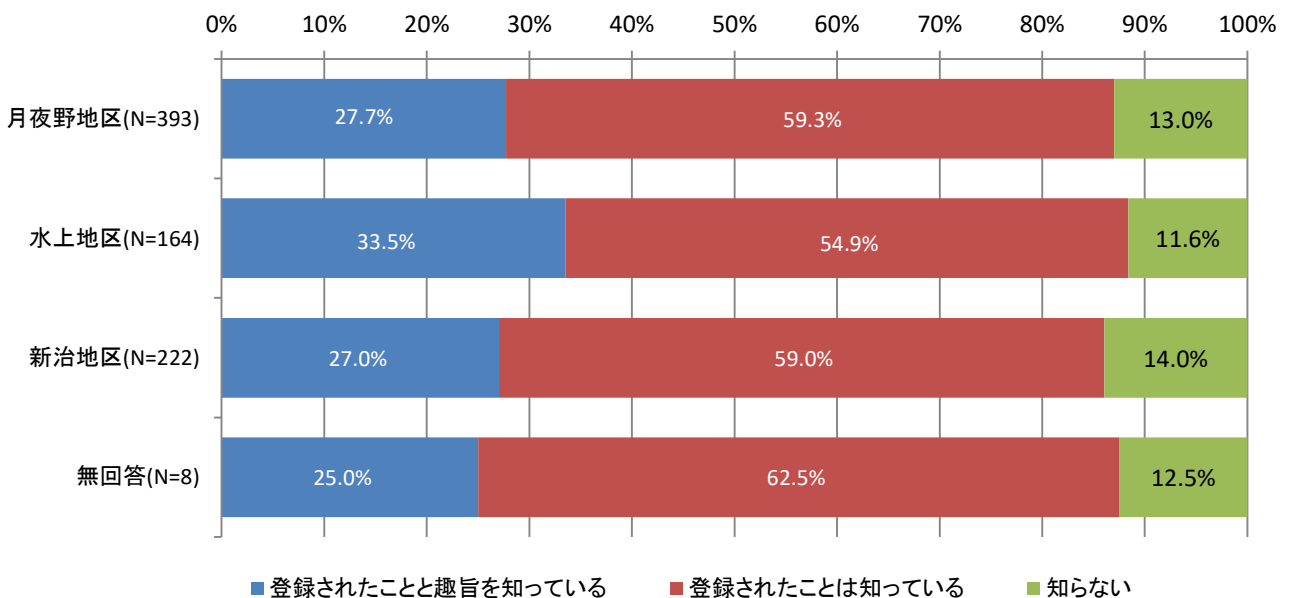
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別



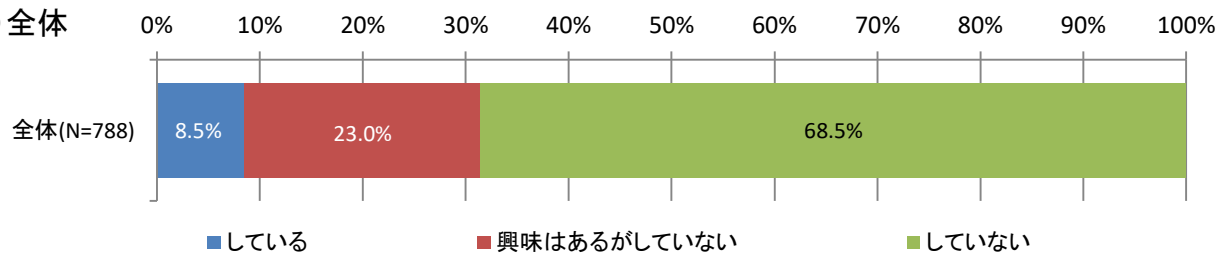
あなたは日頃、町内において自然と共生する取り組み(まもる・いかす・ひろめる)を行っていますか。

29-1

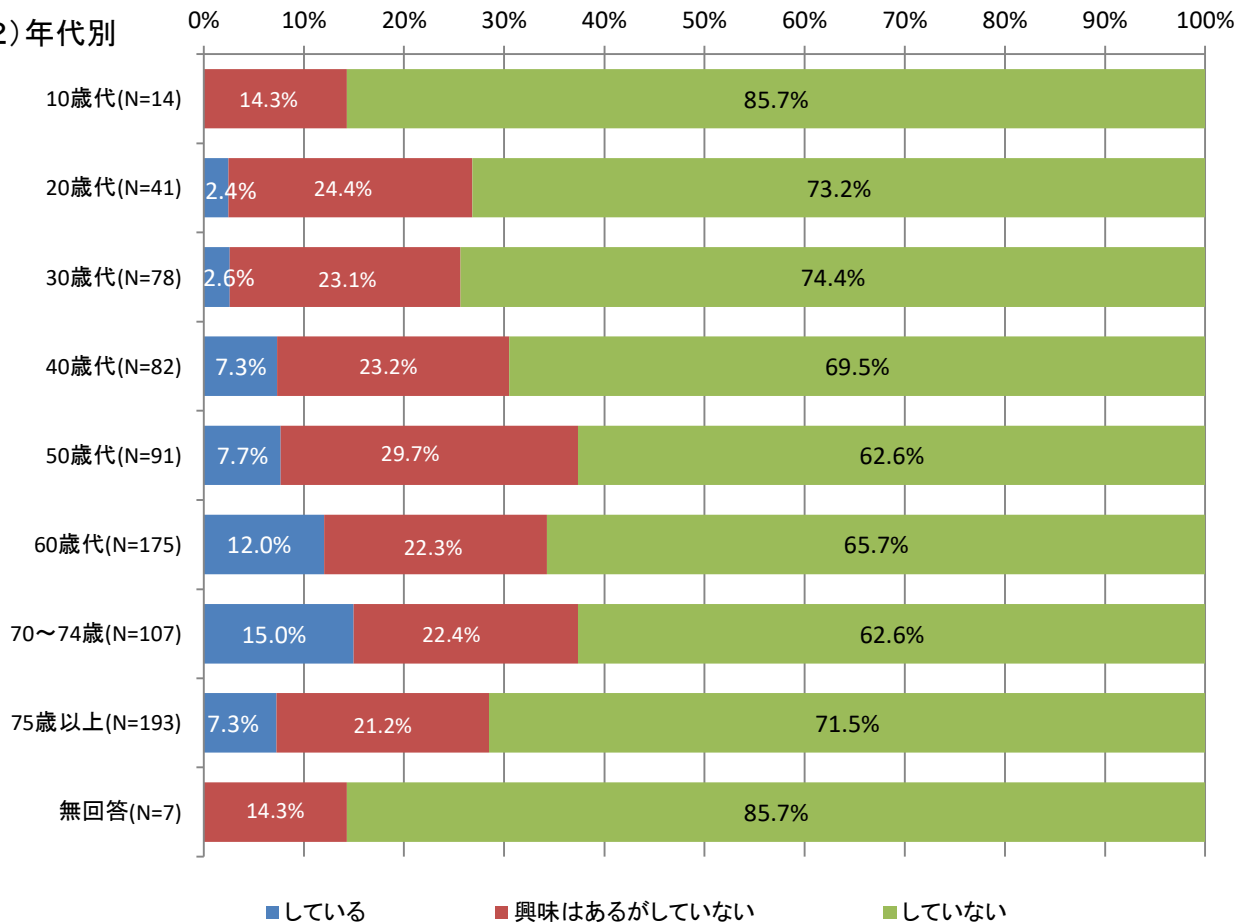
里山などの森林整備や野生動物・植物の保全活動をしている。

回答=788人、無回答・多重回答=29人

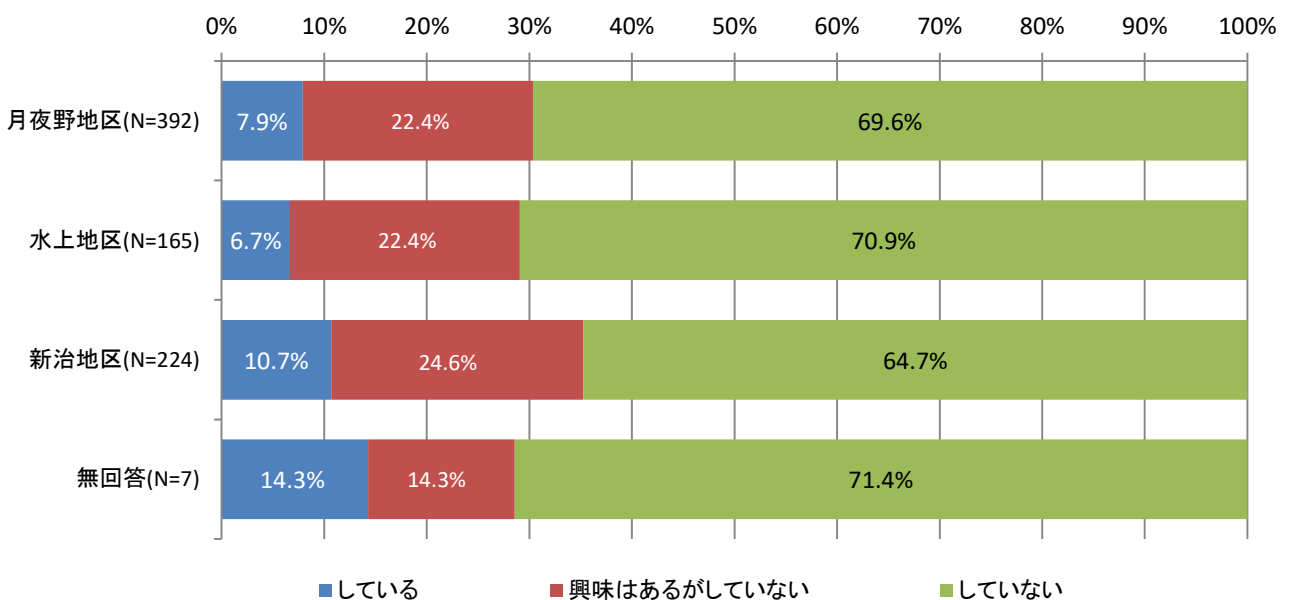
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別



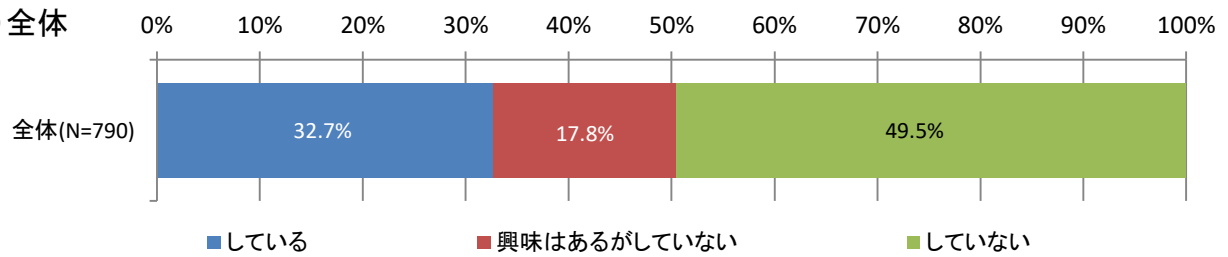
あなたは日頃、町内において自然と共生する取り組み(まもる・いかす・ひろめる)を行っていますか。

29-2

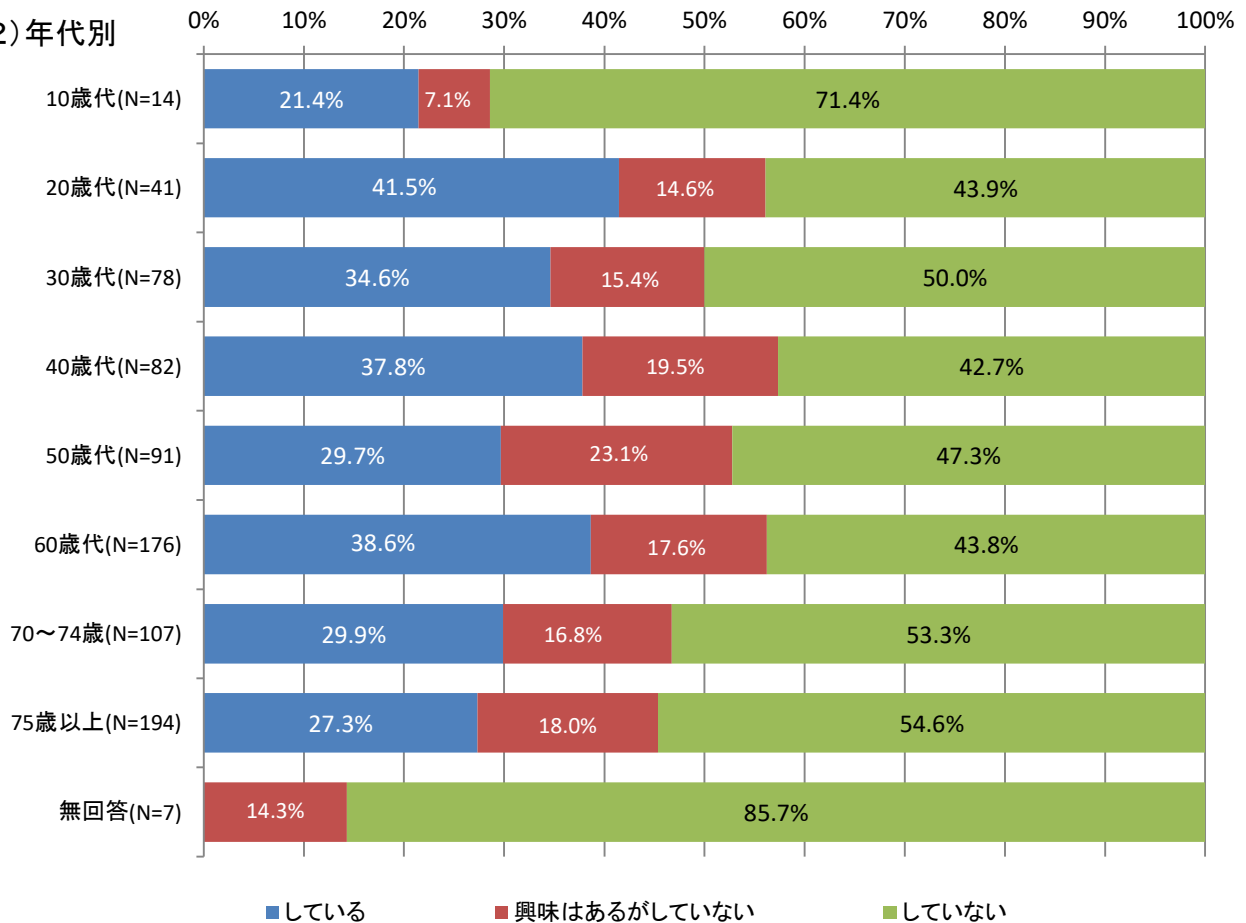
自然を活用したりふれあいを楽しんだりしている。

回答=790人、無回答・多重回答=27人

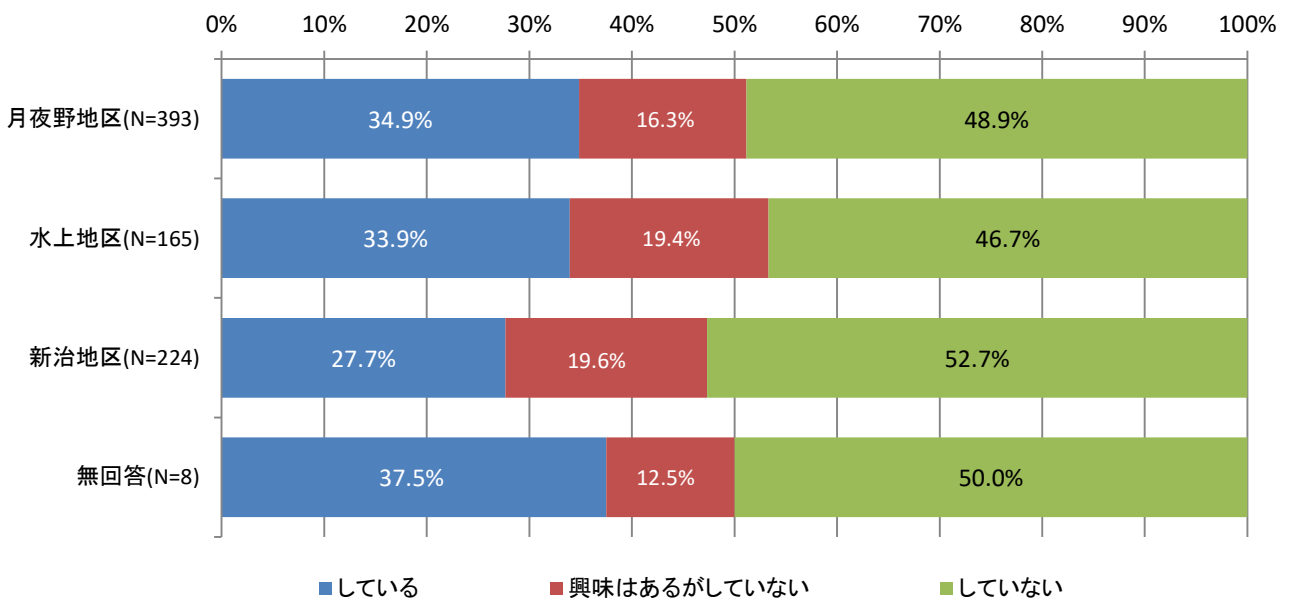
(1) 全体



(2) 年代別

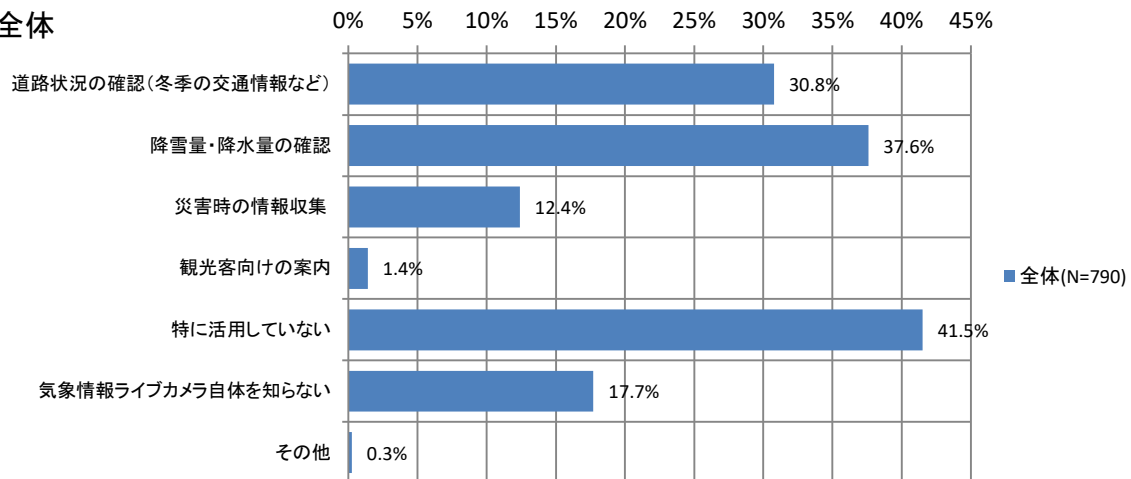


(3) 地区別

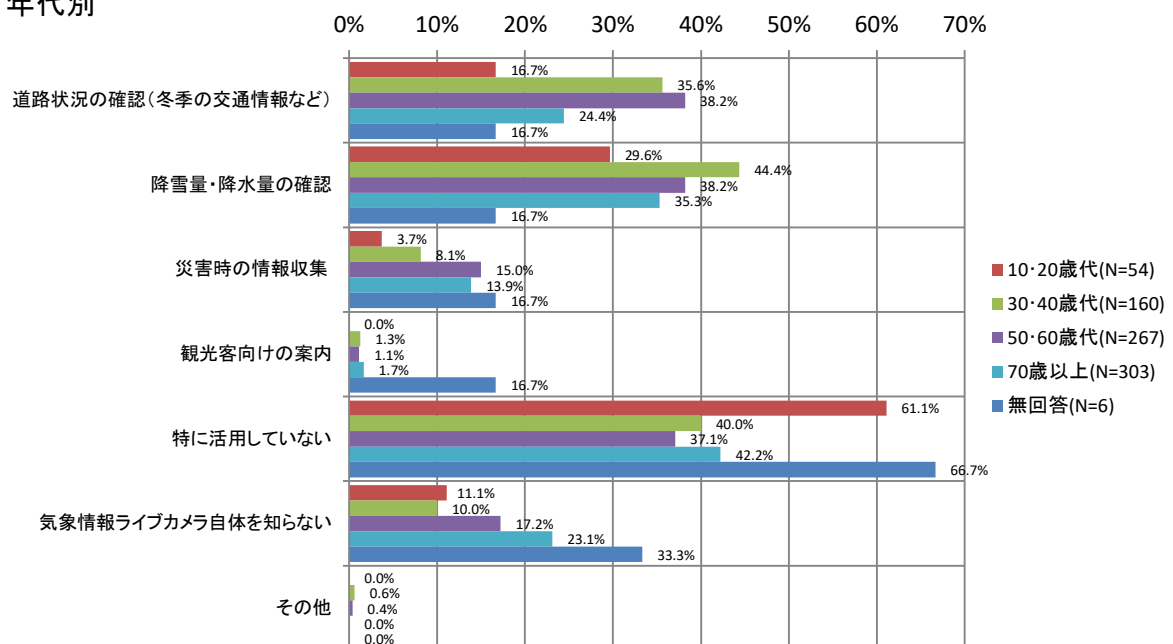


回答=790人、無回答=27人

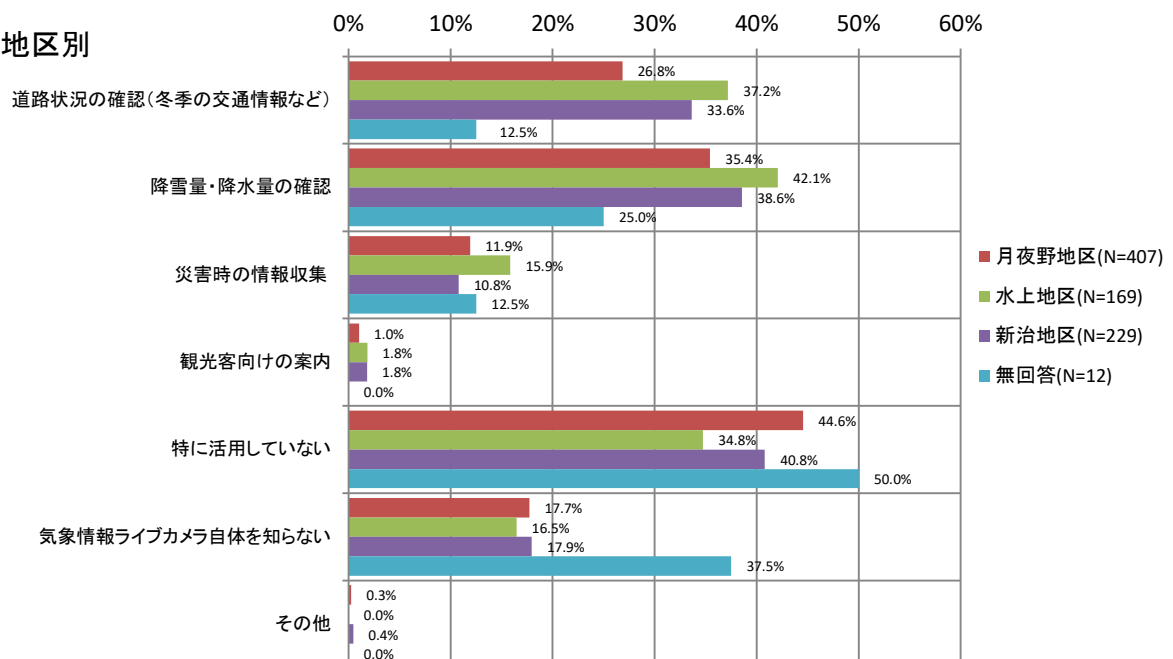
(1) 全体



(2) 年代別

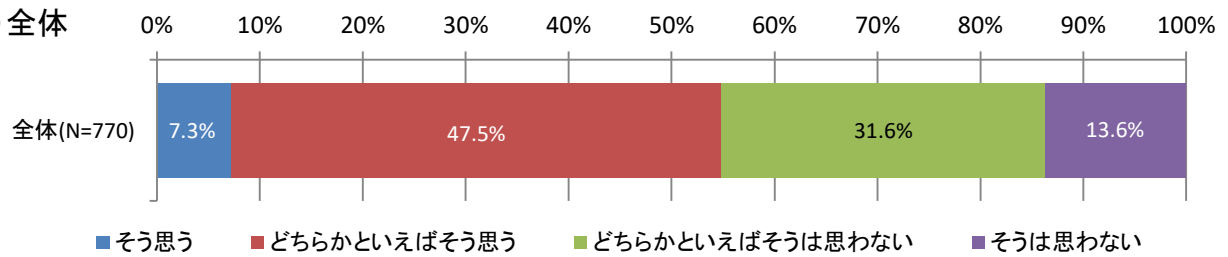


(3) 地区別

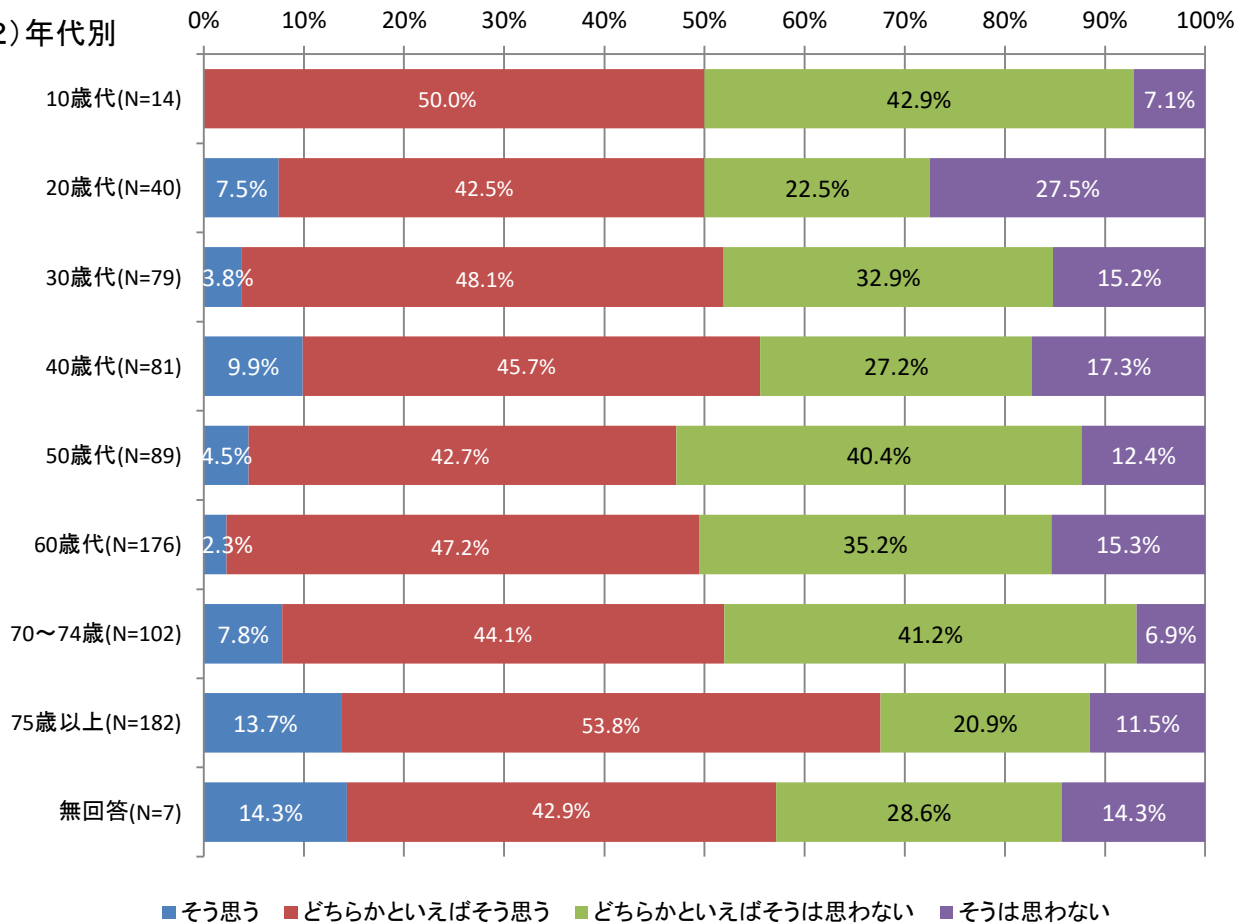


回答=770人、無回答・多重回答=47人

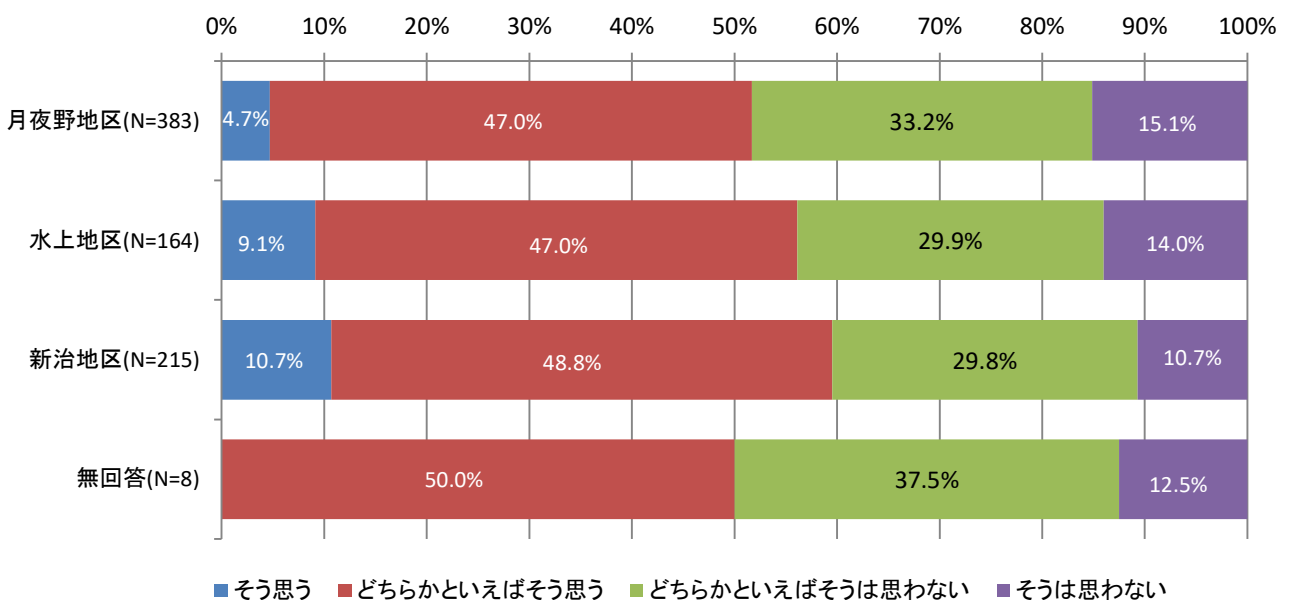
(1) 全体



(2) 年代別

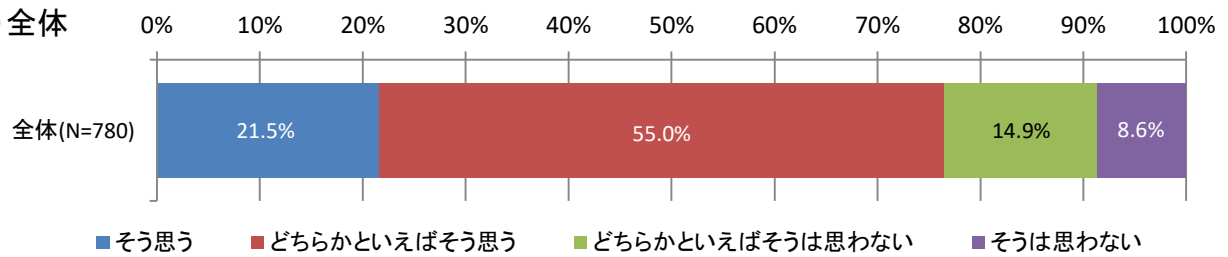


(3) 地区別

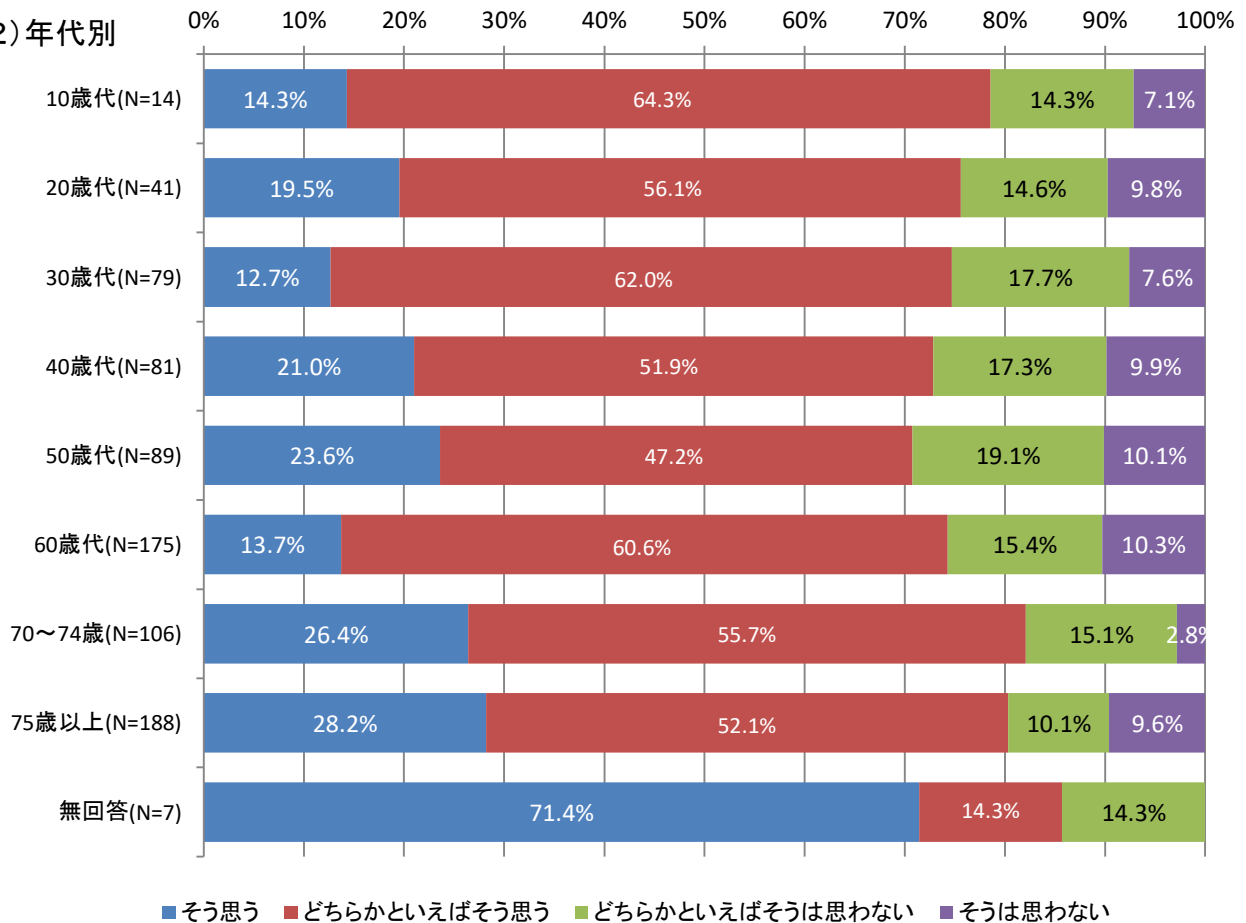


回答=780人、無回答・多重回答=37人

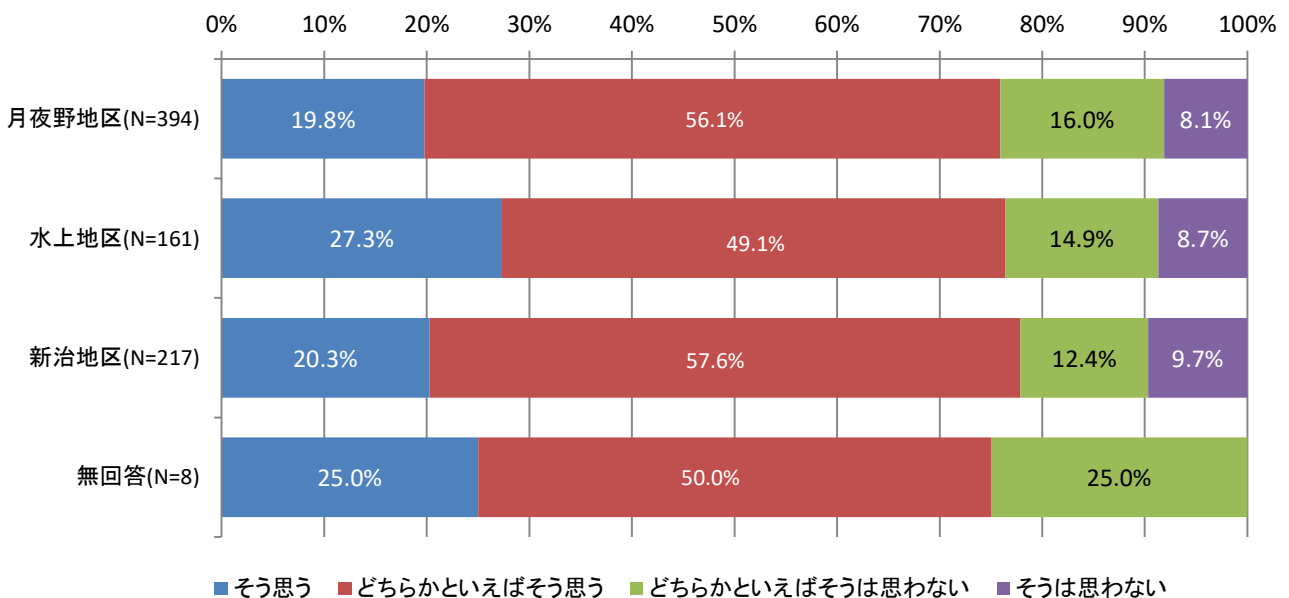
(1) 全体



(2) 年代別



(3) 地区別



まちづくりに対する提案や意見を自由に記述していただいたところ、143人の方々から回答が寄せられました。記述いただいた内容は多岐にわたりますが、項目ごとに整理したところ次の表のとおりとなりました。なお、1人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類しました。

紙面の都合上、すべての回答を掲載することはできませんが、意見の多い上位10項目については、一部抜粋して内容を掲載します。

(1) 自由回答の項目順位と主な内容

順位	項目	主な内容	件数
1	観光の振興	観光開発、温泉街の振興、イベントの企画 など	47
2	町政全般に関すること	人口減少対策、役場の営業時間、配布物の削減 など	23
3	商工業の振興	企業誘致、起業支援、MINAKAMI HEART Pay加盟店の拡大 など	22
4	公共交通の維持・確保	公共交通の利便性向上、二次交通の確保 など	17
〃	調和のとれたまちなみの形成	エコパークにふさわしい景観作り、休耕田の活用 など	17
6	道路の安全性と利便性の確保	道路整備、道路の拡幅 など	15
〃	学校教育の充実	給食費の無償化、スクールバスの利用 など	15
8	移住定住の促進	移住支援、空き家の活用 など	14
9	高齢者福祉の充実	高齢者が集まれる場所の設置、高齢者の移動手段の確保 など	13
〃	獣害対策の推進	動物を山に帰す対策、山と人里の境の草刈りや木の伐採 など	13
11	こども・子育て支援の充実	子育て支援の拡充、こどもの遊び場の整備 など	12
〃	駅前開発に関すること	上毛高原駅周辺の開発、駐車場の増設 など	12
13	農林業の振興	田畑森林の活用、森林整備 など	10
	上記以外の項目	子育て支援・助成金に関すること、運動施設の建設、交通安全に関すること、コミュニティ活動の推進、情報発信に関すること、アンケートに関すること、防災に関すること など	89

(2)自由回答の記述(上位10項目の一部抜粋)

■観光の振興

○水紀行館のスペースに観光客や親子連れ、又みなかみ近郊の人達の為の一年中泳げる温水プール流れるプールと、遊具の充実をお願いしたい。スポーツクライミング、これも観光の目玉とし、リピーターを多く取り込み県外からも来て楽しめる施設を一考望みます。(月夜野地区、60歳代、男性)

○サウナを推してみるのはどうだろうか。冷涼なみなかみの気候は、サウナ浴後の外気浴に適していると思う。イヌワシ木材という木材を生産していると聞く。天然木のサウナグッズや、バレルサウナなどはあるのでは。利根川水源の町で、水質もいいし、自然も多い。都市型サウナに対して、元来の自然派サウナを推せるのでは。(月夜野地区、30歳代、男性)

○犬を家族の一員として考える人が増えている中で、犬連れで利用できるドッグランや飲食店、宿泊施設の整備を提案します。これにより来訪者 増加や地域の活性化が期待でき、犬連れでも安心して楽しめるまちづくりにつながると考えます。税金を納めている町民にも利用しやすい特典などのメリットを設けることで、より満足度を高めると思います。(月夜野地区、30歳代、女性)

○新幹線で訪れることが可能な地域のため、駅構内に各地域の名物や工芸品の展示や店舗の誘致等を図ってほしい。(新治地区、20歳代、男性)

○温泉町ですので、日帰り温泉をなくさない様にしていきたいです。(水上地区、75歳以上、女性)

○矢瀬親水公園に飲食店などの店舗が増えたら集客率が上がり活気付くと思う
さなざわの湯から温泉を引き温泉施設を造るなど、矢瀬を生かして欲しいです。(月夜野地区、60歳代、男性)

○地域活性化集客対策として、毎年花火大会が開催されていますが、それぞれの規模はそれほど大きくない為、例えば沼田市と合同という形で、毎年開催会場を沼田とみなかみ交互にして、規模の大きな大会にする事で、更に魅力が高まるのでは？と思います。(月夜野地区、40歳代、男性)

○こどもとお年寄りが交流するイベントなどがあるといい。(月夜野地区、40歳代、女性)

○みなかみ町湯原地区の温泉街が観光客の減少に伴ってとても人通りが少なく寂しい状態だと感じます。観光客がより多く来て、みなかみ町の店などにお金を使ってくれる様に、季節毎に温泉街で既存の店やホテルを巻き込んだイベントを開催してみるのはいかがでしょうかと思います。(水上地区、20歳代、男性)

■町政全般に関すること

○現在のみなかみ町の最重要課題は、過疎化の問題だと思います。今現在、16,000人ちょっとの人口ですが、ここ5年間で3,000人の人口減少となっています。しかるに、町報などの議事録を見ても過疎対策の事は、殆ど取り上げられていません。町長さん始め、町議員の方々は、今後の過疎化に向けて、どのような考えをお持ちなのでしょうかね?(少々心もとない感じです)(水上地区、75歳以上、男性)

○20代30代の人が働ける会社や職場がふえると良いと思う。(月夜野地区、60歳代、女性)

○役場の土曜日でも職員の交代制で業務してほしい。平日の昼休みも業務してほしい。(月夜野地区、60歳代、男性)

○あらゆる自然回帰的な施策に敏感かつ先進的は町であってもらえたらと思います。(オーガニックをより軌道に乗せていって欲しいです) 文化的な素養が啓発される機会が提供され意識の活性化も育まれていくような取り組みもありがたいです。せつかくの自然と利便性や文化レベルがバランスされて若い世代の子達も 魅力を感じて離れずに残っていけるようなまちづくりが叶ったら希望的です。(新治地区、40歳代、女性)

○新幹線及び高速道路のインターチェンジがあるにもかかわらず全ったく、それをいかしていない。他の市町村はないにもかかわらず工夫している。なぜ、みなかみ町はいい条件、環境なのにこんなにダメなのか不思議でしかたない。(月夜野地区、50歳、男性)

○自治会の配布物が月2回は多すぎる。結局ゴミが増えたに過ぎない。ペーパーレスにする方向を考えて欲しい。(新治地区、50歳代、女性)

○地域や民間からのアイデアをもっと活かした町作りをしてほしい(新治地区、50歳代、女性)

■商工業の振興

○町民1人ずつに配られるお金(商品券など)世帯主にまとめて送られるのが非常に迷惑だ。自分のところに届かない。(新治地区、20歳代、男性)

○町内で生活が完結しないので、車利用をしなければいけないので国道17号のバイパスの整備や町内で中心的な街みたいのものがあ、生活が完結出来る場所があると助かると思います。特に新治地区にスーパーなどなく不便なので、誘致してもらおうと助かります。(新治地区、60歳代、男性)

○みなかみハートの利用でもっとスーパー(カワチ、ベイシア)の利用が出来れば良い。一つのスーパーでの利用にかぎられている。沼田、渋川についで出かける。(新治地区、75歳以上、男性)

○ゴルフ場なし、スーパーなし、ガソリンスタンド1ヶ所、住む環境としては、厳しいと思う。自分は、車があるからまだいいが足のない人口、大変だと思う。(新治地区)(新治地区、50歳代、男性)

○企業誘致を頑張って、働く場所を増やして欲しい(新治地区、60歳代、女性)

○買い物支援がサンモールだけだと、欲しい日用雑貨(薬も含む)が買えない(新治地区、60歳代、男性)

○娯楽施設がなさすぎる。若者をこの地域に残したい、増やしたいのであればもっと必要だと思う。特に服屋、飲食店などふらっと寄れるところがない。いつも遠い。(月夜野地区、20歳代、女性)

○今後は今回実施したような、物価高騰対策のように、住民に限ったポイント付与も定期的の実施して頂きたいです。町民へは1人一枚、専用のみなかみハートペイのカードが送付されています。新たにカードを発行せずに、費用も抑えて実施可能かと思います。(月夜野地区、40歳代、男性)

■公共交通の維持・確保

○鉄道を利用する時、水上駅までのバスの時刻がちょうどよいのがなく、水上駅で30分以上待たなくてはなりません。自分で車を利用して駅まで 行こうとしても駅前長時間利用できる駐車場がないのが不便です。(水上地区、60歳代、女性)

○私はバスで買い物に行くのですが上毛高原駅止まりではなく、せめて 沼田の駅までは行ってほしいと思います。(水上地区、75歳以上、女性)

○車を持たない人の 移動手助けの充実ー買い物・病院・役所・銀行郵便局、健診・保健センター・図書館などに日常行くため。(月夜野地区、70~74歳、女性)

○路線バス(猿ヶ京線)いつも乗客はあまりいない。猿ヶ京発~沼田行きは私の子供の時から変わっていない。※新幹線が上毛高原駅に停車するからバスも入るのが変わったぐらい。1日何便でも良いから17号バイパスを走行してみたらバス利用者の変化が有るかも?(月夜野地区、75歳以上、男性)

○ 車を持っていない身として住みづらい、なんとかしていただきたい(水上地区、40歳代、女性)

○交通に不便な所に住んでいるので車がない者は、自身ではどこへも行けません。格安タクシーのようなのがあればとてもありがたいと思っています。(月夜野地区、50歳代、女性)

○路線バスについて、水上方面~沼田方面(又は反対でも)直通のバスが欲しいです。上毛高原駅が発、終着では観光客重視で町民の為には、すぐく利用しづらい、車がない者には、不便な町と感じます。(月夜野地区、75歳以上、女性)

○住んでいる所にバスが走っていないので、老後の交通手段を考えてほしい。また、将来1人になったときに生活しやすい環境にしてほしい。(月夜野地区、30歳代、女性)

■調和のとれたまちなみの形成

○現在全国で問題となっている桜の古木の整理、若木の植樹、町道、国道沿いの古木整理 現在、山々の木が枯れているが、早く整備した方が良いのではないかと。自然環境が少なくなっている(太陽光、全ての開発によって)そうした帯への必要な制限。(水上地区、75歳以上、男性)

○休耕田の活用 雑草をおさえるきれいな花(タピアン等)を植え観光客に見て楽しんでもらう。(水上地区、40歳代、女性)

○観光施設周辺の荒廃した宿泊施設や建物、看板など撤去してユネスコエコパークに相応しい景観を作りたい(例:土合駅出口左右の廃墟は観光客をがっかりさせる、他、空屋解体を) 法師と旧赤沢スキー場をキャンプ場にするなど、自然を楽しみ、安全に通行できるリニューアルしたエリアで活生化。(新治地区、60歳代、男性)

○小さな事で申し訳ありませんが、押出信号の赤谷大橋脇のヤブを出来れば片付けてほしいです。せっかくきれいな花壇を作っていただいているのにもったいないですし見通しも悪いと感じます。(月夜野地区、70～74歳、女性)

○散歩や登山をよくしますが、不法投棄などゴミが非常に多いと思う。安全対策のゲートや観光案内なども古いものは放置されゴミと化している。そう感じている自分も積極的に拾うわけでもなく、ダメだと思う。昔は地域でゴミ拾いもしていたと思うが、今は？それさえ知らない。そんな活動があれば参加したい。(新治地区、50歳代、女性)

○施設を作るのも良いですが、前から有る施設の清掃?もしっかりして欲しい、蜘蛛の巣だらけや、トイレ清掃(月夜野地区、60歳代、女性)

■道路の安全性と利便性の確保

○舗装道路の穴も見えて欲しい。(新治地区、75歳以上、男性)

○道路にかかる木々を伐採してほしいです(特に倒木の恐れについては、危険を感じています。)(水上地区、70～74歳、女性)

○旧桃小付近の歩道の側溝のフタが劣化しており、小さい子供の足がとられて危ない箇所がある。(月夜野地区、30歳代、女性)

○道路の白線をしっかり引いてほしい。(月夜野地区、50歳代、男性)

○中学校から名胡桃に登る坂は急カーブもあり、狭くて通学路なのに大型トラックなども走るので、考えて欲しいです。(月夜野地区、75歳以上、女性)

○17号で道路が狭いところがあり危ないので広くして欲しい(新治地区、10歳代、男性)

■学校教育の充実

○小学生のスクールバス利用一駅違うだけで乗せてもらえない低学年生の不便さを感じています。乗り切れない程の人数でしたら仕方ないですが、親として安心して送り出せる様、ゆうずうをきかせていただければ、有難いです。(水上地区、75歳以上、女性)

○町内小中学校給食費無料化(月夜野地区、60歳代、男性)

○他県で行われている、ラーケーションを取り入れて欲しいです。子供との時間を確保したいです。(月夜野地区、40歳代、女性)

○子供の通学が今までスクールバスでしたが、三年生から徒歩になりました。登校は集団ですが、周りに同じ学年もおらず下校は1人になってしまいます。先日の行方不明事件や、熊被害などもありとても心配です。1人になる子はスクールバスに乗せて頂きたいです。親も見守るには限度があります。(月夜野地区、40歳代、女性)

○自然豊かなみなかみ町に誇りを持っています。

子育て世代として、町の様々なことに感謝しています。矢瀬公園では、広々とした環境で過ごせたり、トイレもきれいで使うことにためらうことはありません。ご尽力に感謝しています。

一点、お願いがあります。給食費の無償化に反対です。みなかみ町の給食は美味しく、品数も多く、彩りも良いと思います。(比較するのは大変失礼ですが)沼田市の給食は、早くに無償化されて、給食の質が…と聞きました。子どもたちにとって給食はこれからも楽しみであってほしいと思っています。どうか、給食の質が維持されますように強く願っています。(月夜野地区、30歳代、女性)

○小学校の統合でバス通学が始まったが説明会等色々なことをもう少し早くから行って欲しい。

仕事をしている家庭がほとんどの中急な休みや変更をするのが本当に大変です。また、バス通学の練習も初めてのことからこもって細かく打ち合わせをして当日を迎えて欲しかった。初めてバスに乗せることも不安なのにバスが来るギリギリに簡単な説明を子供にただけでバスに乗せることも付き添うこともしないのは少しどうなのかなと思った。実際バスには初めての練習なのに付き添いの先生もいませんでした。

また、帰ってくる時間になってもバスが到着せず、20分ほど待ちましたがそれも連絡をしてもらえていたら不安にならずに済んだのになと思った。小学校との連携もしっかり取れているのか心配。

バス停にいたのに乗り損ねてしまった場合は？違うバス停で降りてしまっていたら？そんな時子供たちはどうしたらいいのでしょうか？仕事上毎日送迎できない親からしたら心配です。そこまで考えての練習をしてほしかったです。統合で分からないことだらけなのはこちらも重々承知していますが、だからこそもう少し細かいところまで考えて打ち合わせをして望んで欲しかったです。今後もバスに限らず色んな面で早めの通達、入念な打ち合わせをお願いしたいです。(月夜野地区、30歳代、女性)

■移住定住の促進

○通勤のための新幹線補助金を移住者のみに出すのではなく、地元民にどうして出さないのでしょうか。新幹線代を出すことにより、みなかみ育ちの若い方々の流出を少しおさえることができ、みなかみ町が活気づくのではないのでしょうか。(新治地区、40歳代、女性)

○18歳以下の人には交通費・通学費の助成が半額出るのに、大学生には少ししか出ない。新幹線があり、通学出来るのに、助成が少ないので、引越する人がほとんどです。過疎が進んでいる中、若い人を町内に残せる様な取りくみをして欲しい(月夜野地区、10歳代、男性)

○みなかみ町の空き家バンクをスマホで見てみたが、内容が乏しくて、買いたくはないと思う。もっと、その空き家の情報を載せた方がいいのでは？(間取りとか、スーパーや駅まで車で何分とか、近くにこんな施設があるとか)これから空き家が増えるから、空き家をもっとアピールして欲しい(みなかみ町に住んでいる外国人で安く空き家を買って自分でリフォームしたい人がいるかも)(新治地区、60歳代、男性)

○自然豊かな町で交通アクセスもよい、という基本的な魅力に付加して、地震や津波リスクの少ない町として公共施設や観光施設を防災拠点として認定、整備して移住者や企業を誘致することが持続的な町の発展につながると思っています。(新治地区、40歳代、男性)

○町を活性化する為に積極的に若い世代の移住政策を促進する。医療費、幼稚園、保育園、小学校、中学校の費用を負担する。家を提供し、家賃2万円程度で住んでもらい、25年住んで町に税金を納め続けたら土地と家屋を無償で提供するという政策を行う。これは他の自治体でも既に行われていて、とても良い政策だと思います。こうした政策を積極的にネットで展開してアピールし、若い世代の移住に繋げて行く。(水上地区、60歳代、男性)

○うらの郷のような分譲住宅地を増やす(月夜野地区、10歳代、男性)

■高齢者福祉の充実

○高れい者に雪が多くふった時は無料で雪をかいてもらいたい。体調のわるい人は特におねがいします。(新治地区、70歳～74歳、女性)

○私も70代となり、人との接触が少なくなります。以前のように、(コロナ前)老人の集まり(少数の)があればいいなと思います。自然が豊かで美しい町ですが、生がいをもって住むには、少しさびしい町並です。自我が強くなりますが、老人が生活しやすい、孤立しない環境が、あればと思います。温泉施設、サロンの集会場などと希望したいなあと思います。年を取ると受動的行動になりがちです。提出が遅くなりすいませんでした。(水上地区、70～74歳、女性)

○70代 80代 の方々でも働いてみたい。働きたいという方はけっこういるのではないのでしょうか。町民サービスの補助的な仕事 などどうでしょうか?たとえば、町の図書室(中央公民館の)は12時～1時まで休みになっています。びっくりしました。そんなことってあるんだ！ だから利用者も減るんだ、そういう仕事など高齢者の方にやっていただいたらどうでしょうか。(月夜野地区、70歳～74歳、女性)

○超高齢化が目前に迫り、独居者を減らすべく 高齢者の合宿ホームのようは施設はいかがでしょうか?何もせず住んでいるのではなく、各自が生活を自分の力で行うような場所 土地が必要でしたら、無償でご提供します！(月夜野地区、50歳代、女性)

■獣害対策の推進

○去年は日本全国でクマの被害がありました。水上では数少なかつた様に思いますが、これからはあると思います。山に食料がないので里に現われるのですからちょっと大変だと思いますが、なるべく山の奥にドングリや柿の木を植えることを望みます。我が家も甘柿があったのですが、家で食べる前にまずサルにとられてしまい、やむなく切りました。(水上地区、75歳以上、女性)

○クマ出没情報 00橋の近くに出たというのは、その近所の人しか分からず、他所の人は分からない。(地図を見ても分からない)ので、もっと分かり易く工夫してもらいたい。(月夜野地区、70歳～74歳、男性)

○自然動物(獣)が増えすぎている。獣の必要最小限にする。(クマ、サル、イノシシ、タヌキ、等々)日本中の動物にいる数で十分だと思う。生活環境の悪化を防ぐために。すでに現在では手遅れとなっているが・・・(水上地区、75歳以上、男性)

○獣害センターがしっかり機能していない。相当な数の檻の設置を町で行なって猿 猪 熊 鳥などは捕獲処分下さい。(新治地区、60歳代、男性)

○クマやイノシシなどの被害が怖いので山と人里の境の草刈りや木の伐採などを行なって欲しいです。(月夜野地区、40歳代、女性)

■上記以外の項目

○保育園利用料金の補助にもう少し力を入れてほしい。(月夜野地区、30歳代、女性)

○無痛分娩の助成だけでなく、普通分娩でも助成して欲しいです。国から50万出ますが賄えないことがほとんどです。子育て支援で様々なことが良くなっていますが、産休中など収入がないにも関わらず出産費用は高額になっています。(月夜野地区、30歳代、女性)

○後閑駅の月間駐車場を利用しているのですが、学生なので長期休みもあり利用しない月もあります。利用しない月は料金が発生しないようにしてほしいです(月夜野地区、10歳代、女性)

○上毛高原駅の周りに何も無いので、開発して欲しい(新治地区、40歳代、女性)

○全国的な時代の流れですが、地方の少子高齢化が進んでいて、みなかみ町のそれも急速に進んでいて将来を心配しております。後継者がいない農業では、町内の田畑森林の荒廃が目に見えるようです。田畑森林の活用の方策が見つかるとういのですが。(月夜野地区、60歳代、男性)

○エコパークではありますが 野生生物は守られているのでしょうか。一の倉沢までの車道を歩いていて数十年前はサンショウウオなどの姿が見られましたが 今はいません。ビオトープ管理士(日本生態系協会)などの資格者を雇い谷川岳やみなかみ町の生態系を守る取り組みを行なっていただきたい。例えば花などの植物では外来種ではなく見かけは悪いが在来種にする(水上地区、50歳代、女性)

○ミナカミタウンエクゼのおかげでバスケットが普及してきているので、屋外に数ヶ所リングを作って子供がプレーできる環境を作って欲しい。そして、作ったコートで 大会やイベントをして、盛り上げられと思います。(月夜野地区、40歳代、女性)

○温泉施設を活用したジムを強く希望します。トレーニングマシンやスタジオプログラムの後に、すぐ隣や同じ建物内で温泉に入ると、運動後の血行促進や疲労回復に効果的で、忙しい現代人にとってとても魅力的な施設になると思います。(月夜野地区、20歳代、男性)

○公民館の有効活用 コミュニティの場として、地域の居場所づくり、町の行事は場所が遠い。(月夜野地区、50歳代、女性)

○以前上毛高原駅の駅名変更の陳情があったと思うが、署名したのは観光業を生業としている人や観光客だと思う。一般町民は陳情採択されるまで知らされていない。一般町民の意見を聞かずに進めるのはおかしいと思う。(議員が住民の代表だとは思いますが、結果が出てから知られるのはおかしい。)1億8000万円程かかるのと事だったと思うが、署名した観光業を生業としている人に負担させるべき!一般財源の使用には反対です。一般財源は社会福祉等に使うべきだと思う。駅名変更はする必要性は低いと思う。(月夜野地区、60歳代、男性)

○予算がないとか言わないで、計画的に計上し、砂利道、土水路の整備を積極的にして欲しい。(月夜野地区、60歳代、男性)

○夜道に街灯が少ないなあと感じます。(水上地区、40歳代、女性)

○火災情報や大事な事を元の方法にもどしてほしい!どんどん簡素化して老人には、わからない事ばかり。もつと住み良い町にして下さい!外見だけのみなかみ町でなくて、中身のしっかりしたみなかみ町にしてほしいです。(新治地区、70〜74歳、女性)

○高齢者が増加している中、災害時の避難経路や避難場所を把握していない方が多いと感じます。回覧板で通知していますが文章を読んでいてもいざという時には読んだ記憶さえ無くなるのが高齢者です。定期的な避難訓練を各地域で開催し身体で覚えてもらう事を望みます。また、みなかみ町はペットの飼育頭数が多いと感じます。ペット同伴避難の可否やペット用避難グッズの確保などは町では負担できない事、各自が準備しておく事を浸透させる必要があるのではないのでしょうか?(月夜野地区、60歳代、女性)

○中央図書室の蔵書を増やしていただきたいと思う、いつも沼田や中之条の図書館へ通っている。学びは何歳になっても大事だから。(月夜野地区、30歳代、男性)

○町報の配布が無駄だと思う。ほしい人は、役場にもらいに行けば良いのでは。(月夜野地区、60歳代、女性)

○空き家や空き校舎などを活用して事業に参入したい企業などもあるので、今ある資源や町の財産が無駄にならないように積極的な(SNSなどでの)発信も必要かと思う。(月夜野地区、40歳代、女性)

○インターネット・ホームページで確認しろとか申し込めとあってもそこまでどり着けない。もう少し年配者にもわかるようにしてもらいたい。カタカナや英文字が多すぎる。何のためのアンケートか理解できない。(月夜野地区、70〜74歳、女性)

IV 調査票

調査票ご記入にあたって

1

アンケートには無記名でお答えいただき、結果はすべて統計的に処理しますので、個人を特定することや目的以外に使用することは一切ありません。

2

質問には、封筒の宛名となっているご本人がお答えください。ただし、事情によってご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。

3

アンケート用紙は全部で9ページです。回答には黒の鉛筆やボールペン等を使用して、当てはまる項目をチェックするか、記述欄に回答を記入してください。

あなた自身についておたずねします。

Q1. あなたの性別をお答えください。(該当する1つに✓)

☐ 男性

☐ 女性

☐ 答えたくない

Q2. あなたの年齢は、次のどの区分に該当しますか。(該当する1つに✓)

☐ 10歳代

☐ 20歳代

☐ 30歳代

☐ 40歳代

☐ 50歳代

☐ 60歳代

☐ 70歳～74歳

☐ 75歳以上

Q3. あなたのお住まいの地区は、次のうちどれに該当しますか。(該当する1つに✓)

☐ 月夜野地区

☐ 水上地区

☐ 新治地区

☐ お住まいの地区が分からない⇒(行政区:)

Q4. あなたの職業は、次のうちどれに該当しますか。(該当する1つに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| ☐ 会社員・公務員 | ☐ パート・アルバイト | ☐ 経営者・役員 |
| ☐ 派遣・嘱託・契約社員 | ☐ 自営業・家族従事者 | ☐ 家事専業 |
| ☐ 学生 | ☐ 無職 | ☐ その他() |

Q5. **【就学・就労している人に伺います。】**
あなたの就学先・勤務先は、次のうちどれに該当しますか。(該当する1つに✓)

- | | |
|---|---|
| ☐ みなかみ町内 | ☐ 利根郡(町内を除く)・沼田市 |
| ☐ 群馬県内(利根郡・沼田市を除く) | ☐ その他の地域() |

Q6. あなたのみなかみ町(合併前の旧町村を含む)での通算居住年数は、何年になりますか。(該当する1つに✓)

- | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| ☐ 1年未満 | ☐ 1～3年 | ☐ 4～9年 |
| ☐ 10～19年 | ☐ 20年以上 | |

Q7. あなたは現在結婚していますか。(該当する1つに✓)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 既婚 | ☐ 独身(未婚・離別・死別) |
|-----------------------------|---------------------------------------|

Q8. あなたの家族構成(同居)は、次のうちどれに該当しますか。(該当する1つに✓)

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 単身世帯 | ☐ 一世代世帯(夫婦のみ) | ☐ 二世代世帯(親と子) |
| ☐ 三世代世帯(親と子と孫) | ☐ その他() | |

Q9. あなたは次の方と同居されていますか。(該当する全てに✓)

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|
| ☐ 未就学児(7歳未満) | ☐ 小学生 | ☐ 中学生 |
| ☐ 高校生 | ☐ 高齢者(65歳以上) | |

あなたの生活習慣についておたずねします。

Q10. あなたは日頃、地域で支え合う福祉活動を行っていますか。(該当する**全て**に✓)

- | | |
|--|---|
| ☐ 見守りや安否確認の声かけをする | ☐ 困り事などの相談相手・話し相手になる |
| ☐ 買い物や通院など、外出を手伝う | ☐ 家事や介護、雪かきなどを手伝う |
| ☐ こどもを短時間預かる | ☐ ボランティア活動へ参加する |
| ☐ 行政区の活動へ参加する | ☐ 特に行っていない |
| ☐ その他() | |

あなたは日頃、運動やスポーツなど、身体を動かすことに取り組んでいますか。

Q11. (該当する**1つ**に✓)

※「運動やスポーツなど、身体を動かすこと」には、散歩や体操、レクリエーションスポーツなど、軽度の運動を含みます。

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--|
| ☐ ほぼ毎日 | ☐ 週に2～3回程度 | ☐ 週に1回程度 |
| ☐ 月に1回程度 | ☐ 年に数回程度 | ☐ 以前はしていたが、現在はしていない |
| ☐ 以前も現在もしていない | | |

Q12. あなたは日頃、意識的に健康づくりに取り組んでいますか。(該当する**全て**に✓)

- | | | |
|---|---------------------------------------|------------------------------------|
| ☐ 食事や栄養に気を付ける | ☐ 規則正しい生活を送る | ☐ 適度に運動をする |
| ☐ 酒やたばこを控える | ☐ 定期的に健康診断を受ける | ☐ ストレスを解消する |
| ☐ 特に取り組んでいない ☐ その他() | | |

Q13. あなたは日頃、町内の公共交通(バス・新幹線・在来線・タクシーなど)を利用していますか。(該当する**1つ**に✓)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ ほぼ毎日 | ☐ 週に1回程度 |
| ☐ 月に1回程度 | ☐ ほとんど利用していない |

Q14. あなたは日頃、災害に対する備えをしていますか。(該当する全てに✓)

- | | |
|--|--|
| ☐ 消火器を設置する | ☐ 火災警報器を設置する |
| ☐ 家具などの転倒防止対策を行う | ☐ 水や食糧を備蓄する |
| ☐ 非常持ち出し用品を準備する | ☐ 身内との連絡方法を確認する |
| ☐ 避難経路や避難場所を確認する | ☐ 防災訓練などへ参加する |
| ☐ 以前はしていたが、現在特に備えはしていない | |
| ☐ 以前も現在もしていない | ☐ その他() |

**Q15. あなたは日頃、省エネ・地球温暖化対策に取り組んでいますか。
(該当する全てに✓)**

- | | |
|--|---|
| ☐ 節電や節水を心掛ける | |
| ☐ 自家用車の利用を控えたり、エコドライブを心がけたりする | |
| ☐ 環境に配慮した商品を選んで購入する | ☐ 太陽光発電など、自然エネルギーを活用する |
| ☐ 特に取り組んでいない | ☐ その他() |

**Q16. あなたは日頃、意識的にごみの減量に取り組んでいますか。
(該当する全てに✓)**

- | | |
|---|--|
| ☐ マイバックを利用するなどして、包装やレジ袋の利用を控える | |
| ☐ 不用品をリサイクル店に出すなど、再使用を進める | |
| ☐ 雑がみ(不要なチラシなど)を分別し、資源収集に出す | |
| ☐ プラスチック資源を分別し、資源ごみとして出す | ☐ 使い捨て商品の利用を控える |
| ☐ 飲料用パックや食品トレイなどを店頭回収に出す | ☐ 生ごみを堆肥化する |
| ☐ 特に取り組んでいない | ☐ その他() |

Q17. あなたは日頃、どこで食料品を購入していますか。(該当する1つに✓)

下記の各項目ごとに 該当する1つを✓	ほぼ毎日	週2～3回	週1回程度	それ以下 (利用したことがない)
1. 町内の商店・スーパー コンビニなど	☐	☐	☐	☐
2. 沼田市の商店・スーパー コンビニなど	☐	☐	☐	☐
3. 県内(町内・沼田市を除く)の 商店・スーパー・コンビニなど	☐	☐	☐	☐
4. 宅配(生協など)・宅食	☐	☐	☐	☐
5. ネットショップ	☐	☐	☐	☐

あなたは日頃、農林産物を購入する際に地産地消に取り組んでいます

Q18. か。(該当する全てに✓)

※地産地消とは、農林水産物を生産された地域内において消費する取り組みです。

- ☐ 町内産・県内産の農林産物を優先して購入するようにしている
- ☐ 町内産・県内産の農林産物を販売している直売所や道の駅などを利用するようにしている
- ☐ 外食する際に、町内産・県内産の農林産物を使用したお店を利用するようにしている
- ☐ 特に取り組んでいない ☐ その他()

Q19. あなたは過去1年間に、町内の観光スポットを訪れましたか。

(該当する全てに✓)

- ☐ 観光施設(道の駅など)を訪れた ☐ 景勝地(谷川岳や自然の名所)を訪れた
- ☐ 日帰り温泉施設を利用した ☐ 宿泊施設に泊まった
- ☐ レジャー施設(スキー場・キャンプ場など)を訪れた ☐ 特に訪れていない
- ☐ その他()

Q20. あなたは過去1年間に、地域づくり活動を行ったことがありますか。
(該当する**全て**に✓)

- | | |
|---|--|
| ☐ 地域で行う道路清掃(道普請など) | ☐ 行事やイベント(地域のお祭りなど)の手伝い |
| ☐ 登下校の見守り | ☐ 景観整備(花木の植栽、管理など) |
| ☐ 特に行っていない | ☐ その他() |

Q21. あなたは日頃、美しい景観の保全・形成へ向けた取り組みを行っていますか。
(該当する**全て**に✓)

- | | |
|--|--|
| ☐ 地域や家庭で花や緑を増やす | ☐ 公園や道路の清掃活動に参加する |
| ☐ 建物の屋根や壁の色・形などを周囲の景観に調和させる | |
| ☐ 景観を守るためのルールづくりやその運営にたずさわる | |
| ☐ 特に行っていない | ☐ その他() |

Q22. あなたは心の豊かさや自他の向上のために、講座(自治体や団体、民間会社
が主催する教養講座)などを受講したり、自分で学習したりしていますか。
(該当する**1つ**に✓)

- | | |
|--|---|
| ☐ 自分で学習し、講座も受講している | ☐ 講座を受講している |
| ☐ 講座は受講せず、自分で学習している | ☐ 学習する意欲はあるが取り組んでいない |
| ☐ 学習する意欲がなく取り組んでいない | |

Q23. あなたは、地域の歴史や伝統芸能に触れたり、関わったりしていますか。
(該当する**全て**に✓)

- | | |
|---|---|
| ☐ 神楽や獅子舞など伝統芸能活動に参加する(地区役員や会場係としての参加も含む) | |
| ☐ 歴史ガイドなどの文化ボランティア活動をする | ☐ 文化財関連イベントに参加する |
| ☐ 資料館や史跡、天然記念物を訪れる | ☐ 興味はあるが取り組んでいない |
| ☐ 興味がなく取り組んでいない | ☐ その他() |

日常生活であなたの感じていることについておたずねします。

Q24. 以下の項目について、あなたの状況に最も近いものを選んでください。
(該当する1つに✓)

1	過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。	はい ☐	いいえ ☐
2	過去1年間に、差別や虐待、名誉毀損などの人権侵害を受けたことがありますか。	はい ☐	いいえ ☐

Q25. あなたは今住んでいる場所に、これからも住み続けたいと思いますか。
(該当する1つに✓)

- ☐ (可能な限り)今の場所に住み続けたい ☐ (可能であれば)町内の別の場所に住みたい
- ☐ (可能であれば)町外へ移り住みたい ☐ どちらともいえない・わからない

Q26. あなたは以下の各項目について、どのように感じていますか。(該当する1つに✓)

下記の各項目ごとに 該当する1つを✓	感じている	どちらかといえ ば感じている	どちらかといえ ば感じていない	感じていない
1. 日常生活で生きがいを感じていますか。	☐	☐	☐	☐
2. 身近で犯罪にあう不安を感じていますか。	☐	☐	☐	☐
3. 町内の道路に不便を感じていますか。	☐	☐	☐	☐
4. 自分の住む地域が美しい景観であると感じていますか。	☐	☐	☐	☐
<u>50歳未満の方で かつ 18歳未満のお子さんがいる方に伺います</u>				
5. 自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じますか。	☐	☐	☐	☐

町や町政についておたずねします。

Q27. あなたはSDGs(持続可能な開発目標)という名前や内容を知っていますか。
(該当する1つに✓)

- ☐ 知っている ☐ 聞いたことはあるが内容はわからない ☐ 知らない

あなたは町が「ユネスコエコパーク」に登録されたことを知っていますか。

Q28. また、「ユネスコエコパーク」の趣旨(自然と人間社会が共生する持続可能なまちづくりに率先して取り組む地域をユネスコが認定する)についても知っていますか。(該当する1つに✓)

- ☐ 登録されたことと趣旨を知っている ☐ 登録されたことは知っている ☐ 知らない

Q29. あなたは日頃、町内において自然と共生する取り組み(まもる・いかす・ひろめる)を行っていますか。(該当する1つに✓)

下記の各項目ごとに 該当する1つを✓	している	興味はあるが していない	していない
1. 里山などの森林整備や野生動物・植物の保全活動をしている。 例：竹林の手入れをした。自伐型林業をした。 自然観察会に参加した。	☐	☐	☐
2. 自然を活用したりふれあいを楽しんだりしている。 例：温泉につかった。登山をした。 自然散策会やエコツアーに参加した。	☐	☐	☐

あなたは日頃、「みなかみ町気象情報ライブカメラ(※)」をどのような目的で
Q30. 活用していますか。(該当する全てに✓)

※天気・道路状況や降雪量・降水量・気温をリアルタイムで確認できる定点カメラ

- ☐ 道路状況の確認(冬季の交通情報など) ☐ 降雪量・降水量の確認 ☐ 災害時の情報収集
- ☐ 観光客向けの案内 ☐ 特に活用していない
- ☐ 気象情報ライブカメラ自体を知らない ☐ その他()

Q31. 以下の各項目について、あなたの考えを選んでください。(該当する1つに✓)

下記の各項目ごとに 該当する1つを✓	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそうは思わない	そうは思わない
1. 納めた税金が、行政サービスとして十分に提供されていますか。	☐	☐	☐	☐
2. 町役場職員の対応や接遇に好感が持てますか。	☐	☐	☐	☐

Q32. 今後のまちづくりに対する提案(アイデア)や意見をお持ちでしたら、どんなことでも結構ですので記入してください。

以上で、アンケートは全て終了です。

調査票は同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
令和8年4月13日(月)までに、ポストに投函するか、
 みなかみ町役場本庁舎または水上・新治各支所の窓口にご持参ください。

資料名称	令和 8 年度町民アンケート報告書
発行年月	令和 8 年 7 月
発 行 者	みなかみ町企画課
住 所	群馬県利根郡みなかみ町後閑 318 番地
電 話	0278(62)2111 (代表)
	0278(25)5030 (ダイヤルイン)